RhythmTrak RT-323

オペレーションマニュアル

安全上のご注意／使用上のご注意

安全上の注意

この取り扱い説明書では、誤った取り扱いによる事故を未然に防ぐための注意事項を、マークを付けて表示しています。
マークの意味はつぎの通りです。

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が傷害を負う可能性、または物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。

本製品を安全にご使用いただくために、つぎの事項にご注意ください。

電源について

本製品は、消費電流が大きいため、ACアダプターのご使用をお薦めしますが、電池でお使いになる場合は、アルカリ電池の使用をお薦めします。

ACアダプターによる駆動

- ACアダプターは、必ずDC9Vセンターマイナス300mA（ズームAD-0006）をご使用ください。指定外のACアダプターをお使いになりますと、故障や誤動作の原因となり危険です。
- ACアダプターの定格入力AC電圧と接続するコンセントのAC電圧は必ず一致させてください。
- ACアダプターをコンセントから抜く時は、必ずACアダプター本体を持って行ってください。
- 長時間ご使用にならない場合は、ACアダプターをコンセントから抜いてください。

乾電池による駆動

- 市販の1.5V単3乾電池×6本（アルカリ／マンガン）をお使いください。
- RT-323は充電機能を持っていません。
  乾電池の注意表示をよくみてご使用ください。
- 長時間ご使用にならない場合は、乾電池をRT-323から取り出してください。
- 万一、乾電池の液もれが発生した場合は、電池ケース内や電池端子に付いた液をよく拭き取ってください。
- ご使用の際は、必ず電池ブタを閉めてください。

使用環境について

注意

RT-323をつぎのような場所でご使用になりますと、故障の原因となります。必ずお避けください。

- 温度が極端に高くなる所や低くなる所
- 湿度が極端に高い所
- 砂やほこりの多い所
- 振動や衝撃の多い所

取り扱いについて

注意

- RT-323は精密機器ですのでスイッチ類は足で踏むなど無理な力を加えないようにしてください。
- RT-323に異物（硬貨や針金など）または液体（水，ジュースやアルコールなど）を入れないように注意してください。
- ケーブルを接続する際は、各機器の電源を必ずオフにしてから行ってください。
- 移動させる場合は一旦電源をオフにして必ずすべての接続ケーブルとACアダプターを抜いてから行ってください。

改造について

注意

- ケースを開けたり改造を加えることは、故障の原因となりますので絶対におやめください。
- 改造が原因で故障が発生しても当社では責任を負いかねます。

使用上のご注意

他の電気機器への影響について

RT-323は、安全性を考慮して本体からの電波放出および外部からの電波干渉を極力抑えております。
しかし、電波干渉を非常に受けやすい機器や極端に強い電波を放出する機器の周辺に設置すると影響がでる場合があります。そのような場合は、RT-323と影響する機器とを十分に距離をおいて設置してください。
デジタル制御の電子機器では、RT-323も含めて、電波障害による誤動作やデータ破損，消失など思わぬ事故が発生しかねません。ご注意ください。

お手入れについて

RT-323が汚れたときは,柔らかい布で乾拭きをしてください。それでも汚れが落ちない場合は、湿らせた布をよくしぼってふいてください。
クレンザー、ワックスおよびアルコール、ベンジン、シンナーなどの溶剤は使用しないでください。

故障について

故障したり異常が発生した場合は、すぐにACアダプターまたは電池を抜いて電源を切り、他の接続されているケーブル類も外してください。
「製品の型番」「製造番号」「故障，異常の具体的な症状」「お客様のお名前、ご住所、お電話番号」をお買い上げの販売店またはズームサービスまでご連絡ください。

保証書の手続きとサービスについて

保証期間は、お買い上げいただいた日から1年間です。
ご購入された店舗で必ず保証書の手続きをしてください。
万一、保証期間内に、製造上の不備による故障が生じた場合は、無償で修理いたしますので、お買い上げの販売店に保証書を提示して修理をご依頼ください。

ただし、つぎの場合の修理は有償となります。

1. 保証書のご提示が無い場合
2. 保証書にご購入の年月日，販売店名の記述が無い場合
3. お客様の取り扱いが不適当なため生じた故障の場合
4. 指定業者以外での修理，改造が不適当なため生じた故障の場合
5. 故障の原因が本製品以外の他の機器にある場合
6. ご購入後に製品が受けた過度の衝撃による故障の場合
7. 本製品に起因しない事故や人災および天災による故障の場合
8. 消耗品（電池など）を交換する場合
9. 日本国外でご使用になる場合

保証期間が切れますと修理は有償となりますが、引き続き責任を持って製品の修理を行ないます。

このマニュアルは将来必要となることがありますので、必ず参照しやすいところに保管してください。

目次

各部の名称

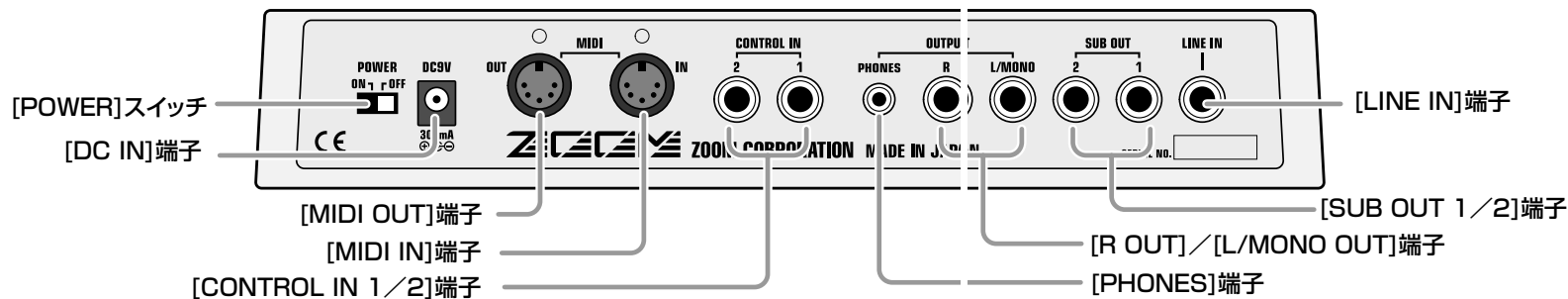
フロントパネル

※（LED）と記載されたキーおよびパッドは、LEDを兼ねており、それ自体が発光します

サイドパネル

注意

データカードの挿入方向や裏表を間違えると、奥まで挿入できません。無理に押し込もうとすると、カードが破損する恐れがありますので、十分にご注意ください。

リアパネル

接続しましょう

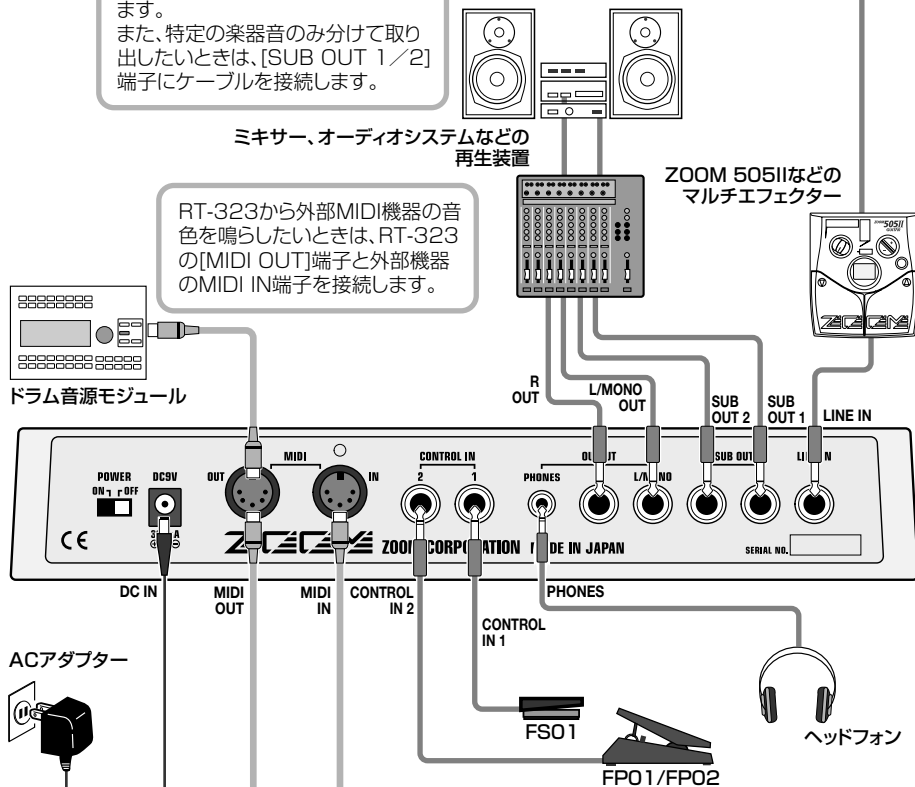
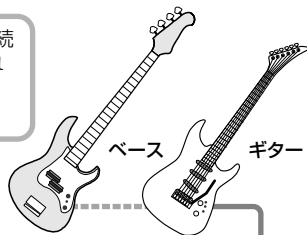
[LINE IN]端子にギターなどの楽器を接続すれば、RT-323自体の音とミックスされた状態で[L/MONO／R OUT]端子から出力されます。

モノラル再生する場合は[L/MONO OUT]端子のみにケーブルを接続します。
また、特定の楽器音のみ分けて取り出したいときは、[SUB OUT 1／2]端子にケーブルを接続します。

RT-323から外部MIDI機器の音色を鳴らしたいときは、RT-323の[MIDI OUT]端子と外部機器のMIDI IN端子を接続します。

ベース
ギター
ミキサー、オーディオシステムなどの再生装置
ZOOM 505IIなどのマルチエフェクター
ドラム音源モジュール
R OUT
L/MONO OUT
SUB OUT 2
SUB OUT 1
LINE IN
DC IN
MIDI OUT
MIDI IN
CONTROL IN 2
CONTROL IN 1
PHONES
ACアダプター
FS01
FP01/FP02
ヘッドフォン
MIDIシーケンサー
（コンピューターのMIDIインターフェース）

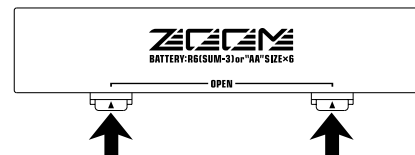
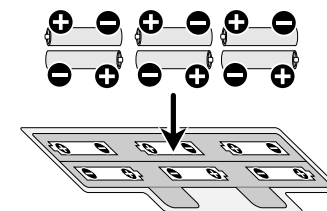
[CONTROL IN 1]／[CONTROL IN 2]端子に別売のフットペダルFP01／FP02を接続すれば、ピッチ、音量、音色の変化をペダルでペダルでコントロールできます。
また、別売のフットスイッチFS01を接続すれば、足元の操作で音を鳴らしたり、音色を切り替えることができます。

RT-323を外部のMIDIシーケンサーと同期させたり、外部MIDI機器からRT-323の内蔵音色を鳴らしたいときは、RT-323の[MIDI IN]端子と外部機器のMIDI OUT端子を接続します。

電池で使用する場合

本機は、単3乾電池×6本で駆動することも可能です。次の手順に従って電池を入れてください。

1 本機を裏返しにして、電池ブタを開けてください。

RT-323裏面

2 電池ケースに、新品の単3乾電池（アルカリ乾電池をご使用ください）×6本を入れてください。

単3乾電池6本

3 電池ブタを閉めてください。

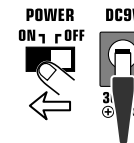
本機を乾電池で駆動しているときにディスプレイ上で“ BATT ”のLEDが点灯する場合は乾電池が消耗しています。速やかに電池を交換してください。

演奏前の準備

接続がすんだら、次の手順で音量を調節します。

1 再生装置の電源を切り、音量を完全にしぼった状態で、各機器が正しく接続されていることを確認してください。

2 RT-323の電源を入れてください。

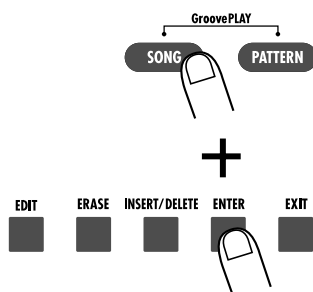
[DC IN]端子に付属のアダプターを接続し、[POWER]スイッチをオンにします。

3 再生装置の電源を入れ、音量を調節してください。

パッドを叩きながら、最適な音量が得られるように、RT-323の[OUTPUT]ダイアルと再生装置の音量を調節しましょう。

クイックガイド 1 デモ曲を聴いてみよう

このクイックガイドでは、すぐに使ってみたいという方のために、RT-323の楽しみ方をいくつか紹介します。まずは、RT-323の内蔵音色を活かしたデモ曲を聴いてみましょう。

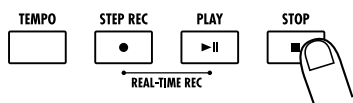
デモ曲を演奏させるには

[SONG]キーを押しながら[ENTER]キーを押す

内蔵デモ曲を演奏する“デモモード”に入り、2曲のデモ曲が交互に再生されます。

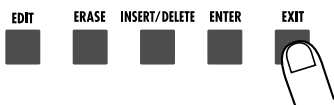
まるで生のバンドを聴いているような、迫力あるバッキング演奏ですね。さまざまなドラム音色、パーカッション、ベースによるリアルなバッキング演奏を1台でこなすマシン、これがRT-323です。

デモ曲を止めるには

[■]キーを押す

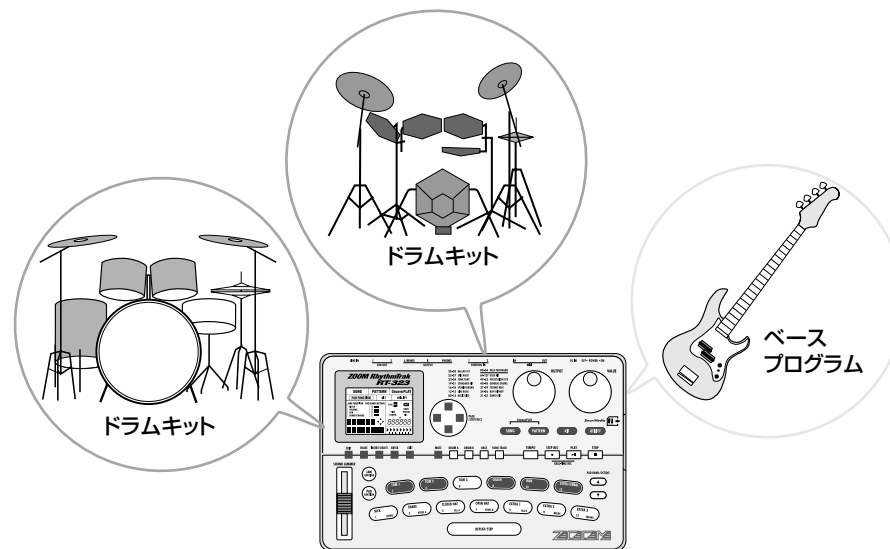
TEMPO　STEP REC　PLAY　STOP
REAL-TIME REC

デモ曲を再開したいときは、[▲]／[▼]キーを使ってデモ曲を選び、[►II]キーを押してください。

デモモードを抜けるには

[EXIT]キーを押す

ドラムキットとベースプログラムについて

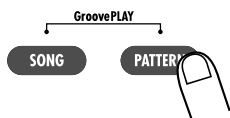
RT-323のバッキング演奏は、“ドラムキット”と“ベースプログラム”から構成されています。

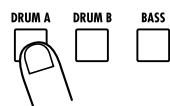
ドラムキットとは、キック、スネア、タムなどのドラム音色、コンガ、ボンゴなどのパーカッション音色、効果音などを組み合わせたものです。RT-323には、読み出し専用のドラムキット（プリセットドラムキット）が64種類（00～63）、自分自身のドラムセットが作成できるドラムキット（ユーザードラムキット）が64種類（64～127）用意されており、その中で最大2種類を同時に演奏できます。

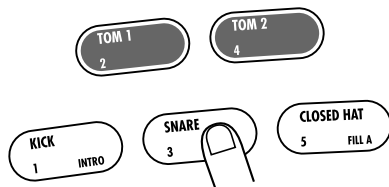
また、**ベースプログラム**とは、エレクトリックベース、アコースティックベース、シンセベースなどのベース音色です。RT-323には55種類（00～54）のベースプログラムが内蔵されており、その中の1つを選んで演奏できます。

クイックガイド 2 パッドを叩いて音を鳴らしてみよう

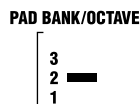
RT-323のフロントパネルにある13個のパッドを使って、ドラムキットやベースプログラムの音色を鳴らしてみましょう。

ドラムキットを鳴らすには

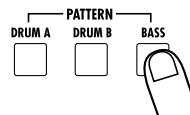
1 [PATTERN]キーを押す

ディスプレイの上部に“PATTERN”の文字が表示され、RT-323がパターンモードになります。
パターンモードとは、“パターン”（数小節単位のバッキング演奏）を録音／再生するモードです。パッドを叩いて演奏するときは、基本的にパターンモードを使います。

2 [DRUM A]キー（または[DRUM B]キー）を押す

[DRUM A]キー（[DRUM B]キー）が点灯し、パッドを使ってドラムキットを演奏できる状態になります。

3 パッドを叩く

ドラムキットが選ばれているときは、そのキットに含まれる最大39個のドラム音色の中から13個の音色をパッドに割り当てて、パッドを叩いて鳴らすことができます。

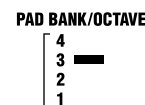
4 [PAD BANK]キーを押してパッドのバンクを切り替える

[PAD BANK]キーを使ってパッドバンク1～3を変えると、パッド1～13に割り当てられたドラム音色が入れ替わります。

ベースプログラムを鳴らすには

1 [BASS]キーを押す

[BASS]キーが点灯し、パッドを使ってベースプログラムが演奏できる状態になります。

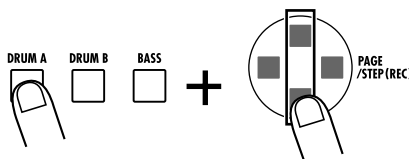
ベースプログラムが選ばれているときは、同じベース音色のピッチを半音ずつずらした音がパッドに割り当てられ、パッドを鍵盤の白鍵と黒鍵に見たてて演奏できます。

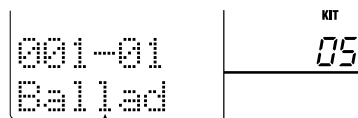
2 [OCTAVE]キーを押してパッドの音域を切り替える

PAD BANK/OCTAVE
4
3
2
1

ベースプログラムが選ばれているときは、[OCTAVE]キーを使って、パッドで演奏可能な音域を、4オクターブ（オクターブ1～4）の範囲で切り替えることができます。

ドラムキット／ベースプログラムを変えるには

[DRUM A]／[DRUM B]キー、または[BASS]キーを押しながら[▲]／[▼]キーのいずれか一方を押す

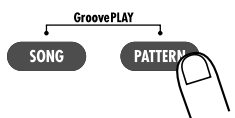
001-01 KIT 05
Ballad

ドラムキット名

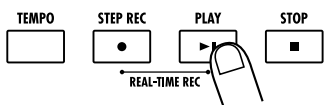
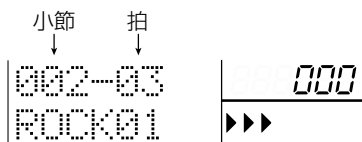
ドラムキット番号、またはベースプログラム番号が1つずつ上下し、パッドに割り当てられた音色が変化します。切り替えた後にパッドを叩いて、音色を確認してみましょう。

[▲]／[▼]キーの代わりに[VALUE]ダイアルを使って音色を選ぶこともできます。

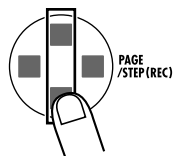
クイックガイド2　パッドを叩いて音を鳴らしてみよう

RT-323には、読み込み専用のパターンが400種類プリセットされています。ここではパターンの演奏を聴いてみましょう。

パターンを鳴らすには

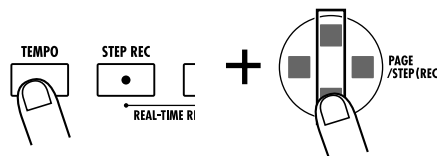
1 [PATTERN]キーを押す

ディスプレイに現在選ばれているパターンが表示されます。

2 [►II]キーを押す

現在選ばれているパターンの演奏が開始されます。

パターンを変えるには

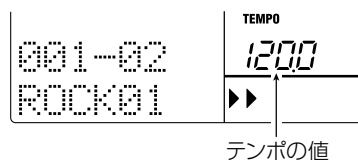
[▲]／[▼]キーのいずれか一方を押す

[▲]／[▼]キーのいずれかを押すと、パターンナンバーが上下します。ただし、ディスプレイに"EMPTY"と表示されるパターンは空なので、演奏できません。

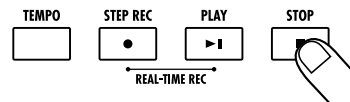
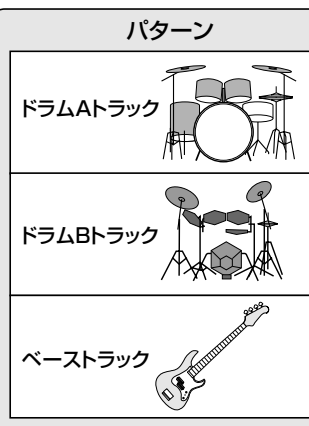
[▲]／[▼]キーの代りに[VALUE]ダイアルを使ってパターンを選ぶこともできます。

テンポを変えるには

[TEMPO]キーを押しながら[▲]／[▼]キーのいずれかを押す

[TEMPO]キーを押している間、ディスプレイに現在のテンポの値（BPM）が表示されます。[▲]／[▼]キーのいずれかを押すと、テンポの値が0.1ずつ上下します。

＊BPM: 1分間に演奏される4分音符の数

[▲]／[▼]キーの代わりに[VALUE]ダイアルを使ってテンポの値を変えることもできます。

パターンを止めるには

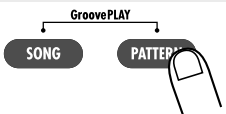
[■]キーを押す

パターンとトラックについて

RT-323のパターンは、2種類のドラムキットと1種類のベースプログラムの演奏を記録したものと考えることができます。個々の演奏を記録する場所を"トラック"と呼びます。
RT-323のパターンには、ドラムAトラック、ドラムBトラック、ベーストラックという3本のトラックがあり、ドラムA／Bトラックにはそれぞれ異なるドラムキットの演奏が、ベーストラックにはベースプログラムの演奏が記録されています。

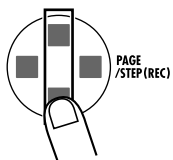
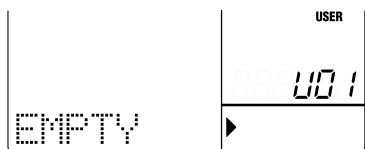
RT-323には、読み込み可能なプリセットパターンが400種類（000〜399）、読み書き可能なユーザーパターンが100種類（U00〜U99）含まれています。

クイックガイド4 パターンを作ってみよう

ユーザーパターンには、自分自身のパターンを録音することができます。ここではメトロノームに合わせてパッドを叩き、オリジナルのパターンを作ってみましょう。

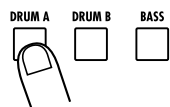
録音するパターン／トラックを選ぶには

1 [PATTERN]キーを押す

RT-323がパターンモードになります。

2 [▲]／[▼]キーを使って空のユーザーパターン（U00〜U99）を選ぶ

空のユーザーパターンが選択されるとディスプレイのパターン名に“EMPTY”と表示されます。

RT-323の工場出荷時には、ユーザーパターンはすべて空になっています。空のユーザーパターンがない場合は、不要なパターンを消去してください。

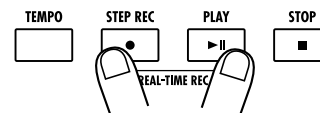
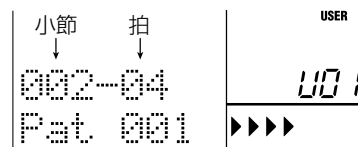
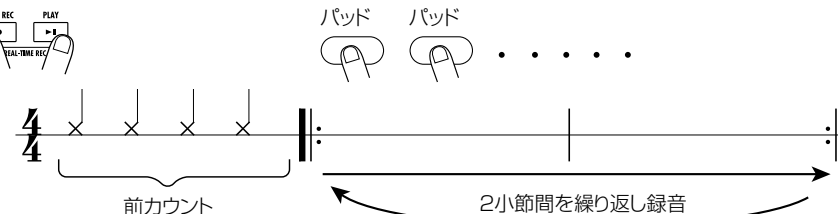
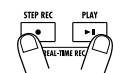
パターンの消去方法→P49

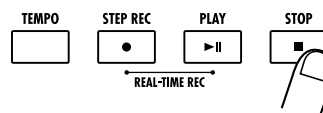
[▲]／[▼]キーの代わりに[VALUE]ダイアルを使ってパターンを選ぶこともできます。

3 [DRUM A]／[DRUM B]／[BASS]のいずれかのキーを押す

[DRUM A]／[DRUM B]キーを押したときは、録音トラックとして、それぞれドラムAトラック／ドラムBトラックが選ばれます。
[BASS]キーを押したときは、録音トラックとしてベーストラックが選ばれます。

音色（ドラムキット／ベースプログラム）を変えたいときは、ここで選択したキーを押しながら[▲]／[▼]キーのいずれかを押して、音色を選んでください。

録音を開始するには

[●REC]キーを押しながら[▶II]キーを押す

[●REC]キーと[▶II]キーが点灯し、“カッ、カッ、カッ、カッ”という1小節の前カウントの後に録音が始まります。
メトロノームを聴きながら、パッドを叩いて録音してみましょう。パターンの終わりまで録音が進んでも自動的に先頭に戻って録音を続けますので、次々に重ねて録音できます。

【パターン録音】

録音を止めるには

[■]キーを押す

[●REC]キーと[▶II]キーが消灯し録音が停止します。録音内容を聞いてみたいときは[▶II]キーを押してください。また、同じ手順を繰り返して、他のトラックにも音を重ねてみましょう。

録音したパターンを修正する方法→P47
パターンの長さや拍子を変える方法→P51, P52

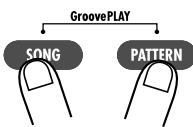
クイックガイド４ パターンを作ってみよう

クイックガイド5 グループプレイを楽しもう

グループプレイとは、パッドを押すだけでさまざまなパターンを演奏させる機能です。DJ気分でさまざまなパターンをつなげて演奏してみましょう。

グループプレイを使うには

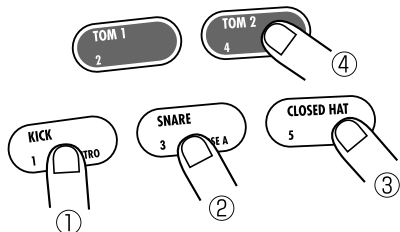
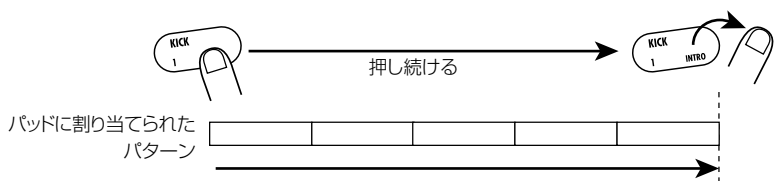
[SONG]キーと[PATTERN]キーを同時に押す

GroovePLAY
SONG PATTERN

SONG	PATTERN	Groove PLAY
PAD FUNCTION	KIT	UTILITY

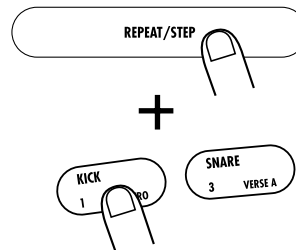
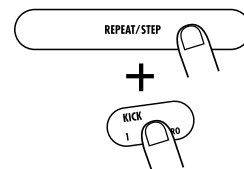
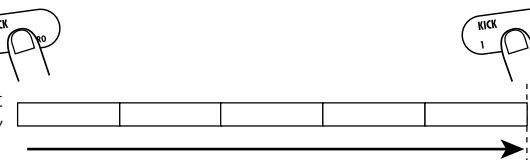
ディスプレイの右上に“GroovePLAY”の文字が表示され、グループプレイモード（グループプレイ機能を利用できる状態）になります。

パッドでパターンを鳴らすには

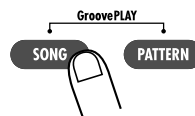
パッドを押す

パッドを押している間、そのパッドに割り当てられたパターンが演奏されます。各パッドにどんなパターンが割り当てられているのかを試してみましょう。

グループプレイモードでは、最大4つのパターンを同時に鳴らすことができます。パッドを押すタイミングをずらせば、より複雑なリズムが作れます。

パッドを離した後もパターンを鳴らすには

[REPEAT]キーを押しながらパッドを押す

パッドを離してもパターンの演奏を続けたいときは、[REPEAT]キーを押しながらパッドを押します。

また、このパターンの演奏を止めたいときは、もう一度同じパッドを押してください。

グループプレイを終了するには

[PATTERN]キーまたは[SONG]キーを押す

GroovePLAY
SONG PATTERN

パッドに割り当てられたパターンを変更する方法→P42

クイックガイド5 グループプレイを楽しもう

体験レッスン

RT-323では、パターンを演奏順に並べて、1曲分のバッキング演奏（ソング）を作ることができます。ここでは、工場出荷時にRT-323内部に書き込まれているプリセットパターンを使って、オリジナルのソングを作る方法を、レッスン形式で説明していきます。

ソングとは？

RT-323のソングは、基本的にパターン（ドラムA、ドラムB、ベースの3トラックで構成された数小節のバッキング演奏）を演奏順に並べたものです。ソングの先頭からパターンを切り替える情報を順番に入力していき、最大で999小節のソングが作成できます。

ソングには、パターンの情報だけでなく、次に挙げる情報も入力できます。

- **●各トラックで利用するドラムキット／ベースプログラムの番号**
- **●テンポ情報**
- **●ベーストラックの移調幅**
- **●トラックごとの音量**

これらの情報をソングの途中に入力すれば、コード進行に応じてベーストラックを移調したり、テンポを連続的に変化させたり、ソングの終わりでフェードアウトさせるなど、多彩な表現が行えます。

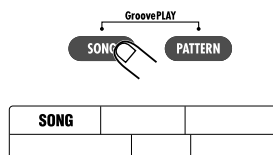
レッスン1　ソングを作ってみよう【ステップ入力】

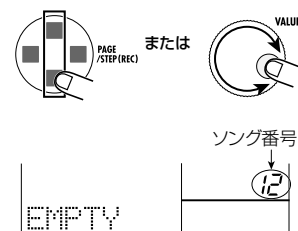
レッスン1では、RT-323を停止させた状態でソングにパターン情報を入力していく“ステップ入力”を使って、8小節の簡単なソングを作ってみます。

●空のソングを選択する

新しくソングを作るときは、パターンが何も入力されていない“空のソング”を選ぶことから始めます。

1 [SONG]キーを押してください。

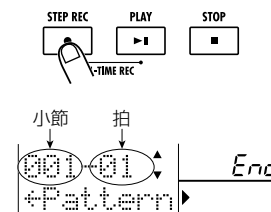
ディスプレイの上部に“SONG”の文字が表示され、ソングの作成や再生を行うソングモードに切り替わります。

2 [▲]／[▼]キーまたは[VALUE]ダイアルを使って、空のソングを選択してください。

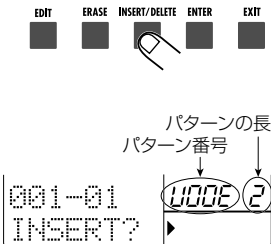
ディスプレイの下部に、現在選ばれているソングの番号とソング名が表示されます。空のソングが選択されると、ディスプレイに“EMPTY”と表示されます。

既存のソングを消去して空の状態に戻すことも可能です。詳しくは、P68をご参照ください。

●パターン情報を入力する

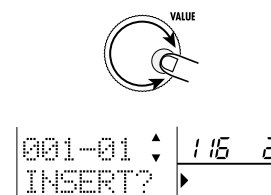
ステップ入力では、空のソングの先頭位置からパターン情報を順番に入力していきます。ここでは、2小節のパターンを4回繰り返してみましょう。

1 [●REC]キーを押してください。

[●REC]キーが点灯し、ステップ入力が開始されます。このとき、ディスプレイには現在位置を表す小節番号と拍数が表示されます。また、空のソングにはパターン情報が存在しないので、ディスプレイにはソングの終わりを示す“End”が表示されます。

2 [INSERT]キーを押し、ディスプレイに“INSERT?”と表示させてください。

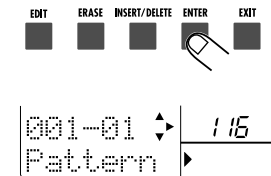
[INSERT]キーを押すたびに、ディスプレイが“INSERT?”→“DELETE?”→“元の表示”の順に切り替わります。“INSERT?”と表示されているときは、現在位置に新しいパターン情報を挿入できます。

3 [VALUE]ダイアルを回して、パターンを選択してください。

ここでは、パターン番号“116”を選択してみましょう。“116”は2小節のパターンで、ベーストラックはEメジャーのコードを演奏しています。

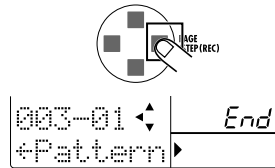
001-01 116 2
INSERT?

4 [ENTER]キーを押してください。

現在位置に“116”のパターンが入力されます。

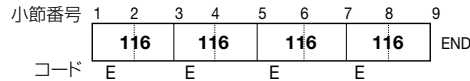
001-01 116
Pattern

入力したパターンを確認したいときは、[►II]／[■]キーを使って、パターンの再生／停止が行えます。

5

[▶]キーを1回押してください。

[▶]キーを押すと、次のパターンを入力する位置（この場合は3小節目の先頭位置）に移動します。

6

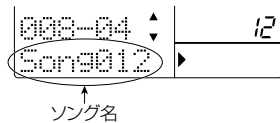
手順2～6と同じ要領で、3小節目、5小節目、7小節目にも同じパターン（116）を入力してください。

これで次のような8小節のソングができあがりました。

7

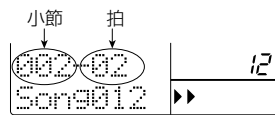
[■]キーを押してください。

[●REC]キーが消灯し、ステップ入力が終了します。

空のソングにパターンが入力されると、自動的に“Songxxx”というソング名が付けられます（xxxの位置にはソングの番号が入ります）。このソング名は、後から変更できます（→P73）。

8

[▶II]キーを押してください。

[▶II]キーが点灯してソングの再生が開始され、ディスプレイに現在の小節と拍が表示されます。

できあがったソングを聴くには、[▶II]キーを押します。ソングの最後まで到達すると自動的に停止します。また、ソングを途中で止めたいときは、[■]キーを押します。

なお、パターンの入力をミスした場合は、次の方法を使ってパターンを選び直します。

■ **入力したパターンを選び直すには**

① **[●REC]キーを押してください。**
ステップ入力が再開され、現在位置に入力されているパターン情報が変更できる状態になります。

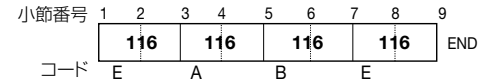
② **[◀]／[▶]キーを使って目的のパターンが入力されている位置に移動してください。**

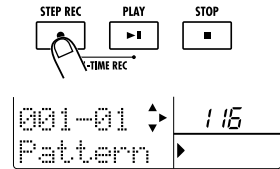
③ **[VALUE]ダイアルを使って正しいパターンを選択してください。**

④ **操作が済んだら、[■]キーを押してステップ入力を終了してください。**

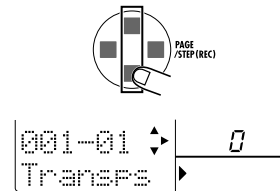
●ベーストラックを移調する（トランスポーズ）

ステップ入力では、パターン情報以外にも、音量、テンポ、ベースの移調幅など、さまざまな情報（これを“イベント”と呼びます）を追加したり、すでに入力されたイベントを編集できます。ここでは例として、ベースのトランスポーズ（移調）情報を編集して、できあがったソングを次のようなコード進行に変えてみましょう。

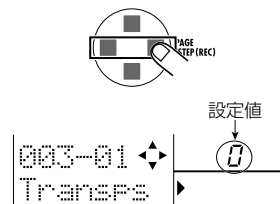
1

[●REC]キーを押してください。

[●REC]キーが点灯し、ステップ入力が再開されます。

2

[▲]／[▼]キーを使って“Transps”と表示させてください。

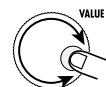
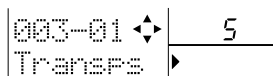
“Transps”と表示されているときに[▲]／[▼]キーを押すと、追加／編集するイベントの種類を選択できます。“Transps”と表示されているときは、現在位置に新しいトランスポーズ情報を追加したり、既存のトランスポーズ情報を変更できます。

3

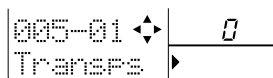
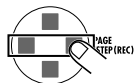
[◀]／[▶]キーを使って、3小節目の先頭位置に移動してください。

“Transps”と表示されているときに、[◀]／[▶]キーを押すと、小節単位で現在位置を移動できます。この例では、3小節目の先頭に、設定値がゼロのトランスポーズ情報が入力されています。

・パターン情報を入力したとき、同じ位置に値がゼロのトランスポーズが一緒に入力されます。
・パターン情報を含む各種イベントは、小節の先頭位置だけでなく、16分音符単位で小節の途中に入力することもできます（詳しくはP66を参照）。

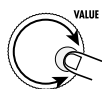
4

[VALUE]ダイアルを使って、3小節目のトランスポーズの値を変更してください。

トランスポーズの値は、−12～0～12の範囲（半音単位）で

設定します。3〜4小節目ではオリジナルパターンのEメジャーをAメジャーに移調したいので、値を"5"(半音5つ上=完全4度上)に変更します。

トランスポーズの設定値は、次にトランスポーズが変更される位置まで(この例では、5小節目の先頭まで)、有効となります。

5 **[◀]/[▶]キーを使って、5小節目の先頭位置に移動してください。**

6 **[VALUE]ダイアルを使って、5小節目のトランスポーズの値を変更してください。**

5〜6小節目ではオリジナルパターンのEメジャーをBメジャーに移調したいので、値を"7"(半音7つ上=完全5度上)に変更します。

7〜8小節目では、パターン本来のコードである"Eメジャー"を演奏します。このため、7小節目に入力されている値がゼロのトランスポーズ情報を変更する必要はありません。

7 **[■]キーを押してステップ入力を終了してください。**

トランスポーズ情報が入力されたソングを聴くには、[▶II]キーを押します。

なお、トランスポーズ情報の入力をミスした場合は、次の方法で修正します。

■ トランスポーズ情報の設定値を修正するには

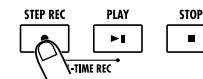
手順1〜2を行った後に、[◀]/[▶]キーを使って目的の位置に移動し、[VALUE]ダイアルを使って正しい設定値に変更してください。

■ 誤って入力したトランスポーズ情報を消去するには

手順1〜2を行った後に、[◀]/[▶]キーを使って目的の位置に移動し、[ERASE]キーを押してください。現在位置のトランスポーズ情報が消去されます。

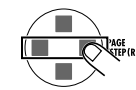
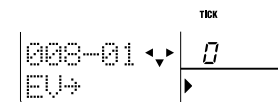
●フィルインのパターンを入力する

ここまでの操作で、8小節分のコード進行が指定できました。しかし、リズム自体は同じパターンを繰り返しているだけなので単調ですね。そこで、8小節目に1小節のフィルイン用のパターンを入力してみましょう。

1 **[●REC]キーを押してください。**

[●REC]キーが点灯し、ステップ入力が再開されます。

2 **[▲]キーを1回押してください。**

ディスプレイに"EV→"と表示されます。"EV→"の右側に表示される"PT"や"TS"などの記号は、現在位置に入力されているイベント(情報)の種類を表します("PT"はパターン情報、"TS"はトランスポーズ情報を表します。詳しくは→P66)。また、この表示では、小節番号と拍数の右側に、チック(1拍の1/96)単位で位置が表示されます。

3 **[◀]/[▶]キーを使って8小節目の先頭に移動してください。**

"EV→"が表示されているときは、[◀]/[▶]キーを使って、現在位置を小節単位で前後に移動できます(また、[STEP]キーを使えば、24チック単位で現在位置を進ませることができます)。

4 **[▼]キーを1回押してください。**

パターン情報を入力できる状態になります。

HINT
パターン情報が入力されていない位置に移動すると、"Pattern"の表示の左側に"←"の記号が現れます。これは、直前に入力されたパターンを引き続き演奏することを表します。

5 **[VALUE]ダイアルを回して、新規に追加するパターン情報を入力してください。**

[VALUE]ダイアルを回すと、現在位置に新規のパターン情報が入力されます。ここでは、パターン番号"117"を選択

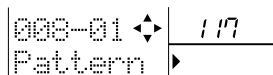
してみましょう。"117"は1小節のフィルイン用のパターン、ベーストラックは"116"と同じくEメジャーのコードを演奏しています。
これで、7小節目では"116"のパターンの前半が演奏され、8小節目で"117"のパターンに切り替わります。

008-01 117
Pattern

小節番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	116		116		116		116（前半）	117	END
コード	E		A		B		E	E	

6

[■]キーを押してステップ入力を終了してください。

STEP REC　PLAY　STOP
REAL-TIME REC

レッスン1で行う作業は、すべて終了しました。[►Ⅱ]キーを押して、できあがったソングを聴いてみましょう。

なお、パターン情報の入力をミスしたときは、次の方法で修正します。

■ 入力したパターンを選び直したい場合

[●REC]キーを押した後に[◀]／[▶]キーを使って目的のパターンの位置に移動し、[VALUE]ダイアルを使って正しいパターンを選択してください。

■ 誤った位置に入力したパターン情報を消去したい場合

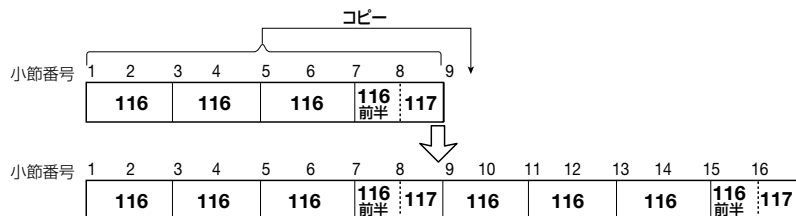
[●REC]キーを押した後に[◀]／[▶]キーを使って目的のパターンの位置に移動し、[ERASE]キーを押してください。現在位置のパターン情報が消去されます。

レッスン2　ソングを編集してみよう

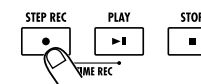
ここでは、レッスン1で作成したソングを素材に、コピー機能を使ってソングの長さを伸ばす方法や、ベーストラックの演奏内容を差し替える方法など、便利な編集機能を紹介します。

●ソングの一部分をコピーする

レッスン1では8小節のソングを入力してみました。このレッスンでは、ソング全体（小節番号1〜8）の内容を後半にコピーして、16小節に延長してみます。

1

[SONG]キーを押してソングモードに切り替え、[▲]／[▼]キーを使ってレッスン1で作成したソングを選択してください。

001-01 12
Song012

2

[●REC]キーを押してください。

[●REC]キーが点灯し、ステップ入力が再開されます。

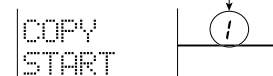
3

[EDIT]キーを押してください。

小節単位でコピーを行う機能が呼び出されます。

この機能は、現在位置とは無関係に呼び出すことができます。

4

[▲]／[▼]キーまたは[VALUE]ダイアルを使って、コピー元となる最初の小節番号を選択してください。

8小節全体をコピーしたいので、ここでは小節番号1を選択します。

コピー元の最初の小節番号

COPY 1
START

5

[ENTER]キーを押し、[▲]／[▼]キーまたは[VALUE]ダイアルを使って、コピー元となる最後の小節番号を選択してください。

ここでは小節番号8を選択します。

コピー元の最後の小節番号

6

[ENTER]キーを押し、[▲]／[▼]キーまたは[VALUE]ダイアルを使って、コピー先の開始位置となる小節番号を選択してください。

コピー先の開始位置の小節番号

COPY TO 9

1〜8小節間をそのまま後ろにコピーしたいので、ここでは小節番号9を選択します。

数値の入力をミスしたときは、[EXIT]キーを押すと、1つ前の手順に戻すことができます。

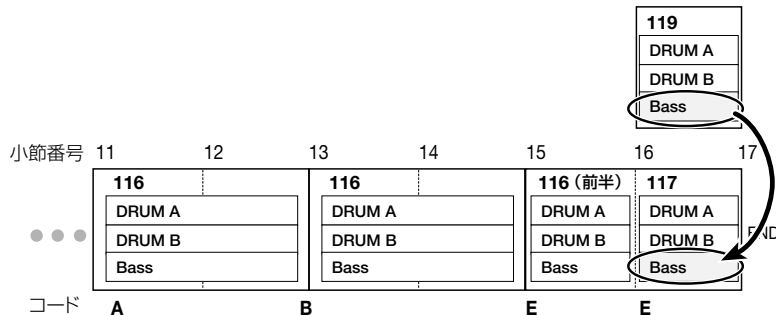
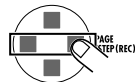
7

[ENTER]キーを押して、コピーを実行してください。

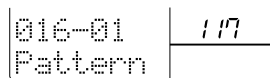
元のソングの8小節が後半にコピーされ、16小節分の長さになります。

●ベーストラックの演奏を差し替える

ソングに入力されたパターンのドラムBトラック／ベーストラックの演奏を、別のパターンのドラムトラック／ベーストラックに差し替えることができます。ここでは、16小節目のベーストラックの演奏をパターン119のベーストラックに差し替えてみましょう。

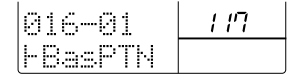
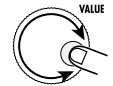
1

[◀]／[▶]キーを使って、差し替えを行うパターンの位置に移動してください。

ここでは、16小節目の先頭に移動します。
この位置には、"117"のパターンが入力されているはずです。

016-01 117
Pattern

2

[▲]／[▼]キーを使って、ディスプレイに"├BasPTN"と表示させてください。

ベーストラックの演奏を差し替え可能な状態になります。

ドラムBトラックを差し替える場合は、[▲]／[▼]キーを使って"├DrB PTN"と表示させます。

3

[VALUE]ダイアルを使って差し替え元となるパターンを選択してください。

ここでは"119"を選択してみましょう。これで、16小節目から演奏されるベーストラックが、119のパターンに含まれるベーストラックに置き換えられます。

016-01 119
├BasPTN

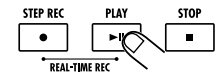
4

[▶II]／[■]キーを使って、ベーストラックのみ演奏内容が変わっていることを確認してみましょう。

・ユーザーパターン（U00〜U99）を選べば、ユーザーパターンに差し替えることも可能です。あらかじめユーザーパターンのベーストラックにフレーズを録音しておけば、この方法で自分自身のベースフレーズに差し替えることもできます。
・ドラムBトラックの演奏を差し替えるときは、差し替え元として任意のパターンのドラムAトラック、またはドラムBトラックが選択できます。ドラムAトラックは末尾にAの付いたパターン番号（001A、U99A）、ドラムBトラックは末尾にbの付いたパターン番号（001b、U99b）で表示されます。

5

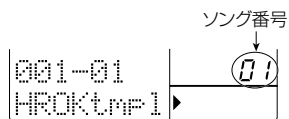
[■]キーを押してステップ入力を終了してください。

これでこのレッスンで行う編集作業はすべて終わりました。[▶II]キーを押して、ソングを聴いてみましょう。

レッスン3　ソングを作ってみよう【リアルタイム入力】

レッスンの最後として、ソングのもう1つの入力方法である“リアルタイム入力”を体験してみましょう。この方法を使えば、パッドに任意のパターンを割り当てて、パッドを叩くことでパターンの演奏順をリアルタイムに記録できます。

1

ソングモードで、ソング番号00～11の中から、リアルタイム入力したいソングを選択してください。

通常ソングをリアルタイム入力するときは、最初に、使用するパターンをパッドに割り当てておく必要があります。ただし、RT-323が初期状態のとき、ソング00～11では、あらかじめパッドごとにパターンが割り当てられていますので、レッスン3ではこれを利用することにします（自分自身でパッドにパターンを割り当てる方法は→P56）。

パッドごとのパターンの割り当ては、ソングごとに記憶されます。

2

パッドを叩いてみてください。

パッドを叩くと、そのパッドに割り当てられたパターンが演奏されます。この機能は、グルーブプレイモードと似ていますが、次の点が異なります。

- **パッドを離してもパターンの演奏が続く**
- **パターン演奏中に別のパッドを叩くと、次の小節の変わり目でパターンが切り替わる**
- **一度に演奏できるパターンは1種類のみ**

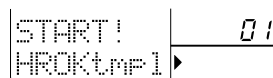
それぞれのパッドにどんなパターンが割り当てられているのか、確認してみましょう。なお、パターン演奏を停止するには、[■]キーを押します。

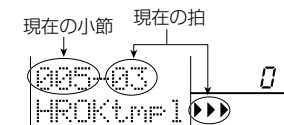
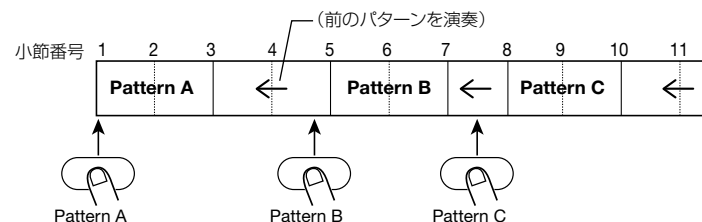
3

[●REC]キーを押しながら[▶ll]キーを押してください。

[●REC]キーと[▶ll]キーが点灯し、リアルタイム入力の待機状態になります。

[■]キーを押すとリアルタイム入力が解除されます。

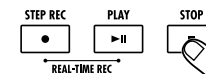
4

最初のパターンが割り当てられたパッドを叩き、リアルタイム入力を始めましょう。

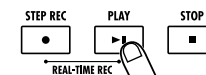
この状態でパッドを叩くと、リアルタイム入力が開始され、最初に選んだパターンが鳴り始めます。次のパターンを選ぶときは、その手前の小節でパッドを叩くと、小節の変わり目でパターンが切り替わります。

工場出荷時のソング番号00～11には、FILL 1、FILL 2と印字されたパッドに、フィルインのみの短いパターンが割り当てられています。これらのパッドを使った場合は、例外的に、拍の変わり目からパターンを切り替えることができます。

5

リアルタイム入力を終了したいときは[■]キーを押してください。

[●REC]キーと[▶ll]キーが消灯し、リアルタイム入力を終了します。

6

できあがったソングを聴くには、[▶ll]キーを押してください。

リアルタイム入力で作成されたソングが再生されます。演奏を停止したいときは[■]キーを押してください。

リアルタイム入力したソングは、ステップ入力したソングと同様に、さまざまな方法で編集できます。

操作をミスした場合は、もう一度最初からリアルタイム入力をやり直してください（途中からやり直すことはできません）。

活用ガイド【パッド／JAMスライダー】

ここでは、RT-323のパッドやJAMスライダーの機能や使い方について説明します。

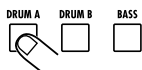
パッドを叩いて演奏する

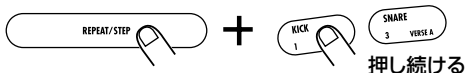
RT-323がパターンモードのときは、パッドを使ってドラムキットやベースプログラムの音色を演奏できます。

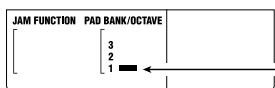
1 [PATTERN]キーを押してください。

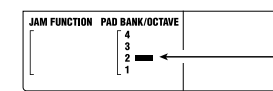
RT-323がパターンモードとなります。

2 ドラムキットを演奏したいときは[DRUM A]または[DRUM B]キー、ベースプログラムを演奏したいときは[BASS]キーを押してください。

押されたキーが点灯します。

3 お好きなパッドを叩いてみてください。

4 あるパッドを連打音で演奏したいときは、[REPEAT]キーを押しながらパッドを押し続けてください。

パッドを押さえている間、その音色が連打音で演奏されます。連打の速さは現在のテンポとクォンタイズの設定（→P41、50）によって変わります。

5 パッドで別のドラム音色を演奏したいときは、ドラムキットが選ばれた状態で[PAD BANK]キーを押し、パッドのバンクを切り替えてください。

パッド1～13に割り当てられたドラム音色の組み合わせを"パッドバンク"と呼びます。1つのドラムキットではパッドバンク1～3が利用でき､最高39種類のドラム音色をパッドで演奏できます。ディスプレイに現在選択されているパッドバンクの番号が表示されます。

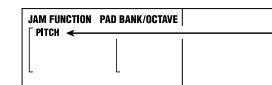
6 ベースプログラムの音域を切り替えるには、ベースプログラムが選ばれた状態で、[OCTAVE]キーを押してください。

RT-323のベースプログラムは、4オクターブの音域（オクターブ1～4）をパッドで演奏できます。現在選ばれているオクターブの番号がディスプレイに表示されます。

パッドのピッチ／音量／定位／音色をリアルタイムで加工する（ジャムファンクション）

パッドを叩きながらJAMスライダーを動かすことで、そのパッドのピッチ、音量、定位（左右の再生位置）、音色のパラメーターをリアルタイムで変化させることができます。

1 パターンモードで[DRUM A]／[DRUM B]／[BASS]キーのいずれかを押してください。

2 [JAM FUNCTION]キーを使って、JAMスライダーでコントロールする要素を選んでください。

ディスプレイ上に、現在JAMスライダーでコントロール可能なパラメーターが表示されます。[JAM FUNCTION]キーを押すたびに、PITCH→VOLUME→PAN→SOUND CHANGE→表示なし（JAMスライダーが無効）の順で表示が切り替わります。

各パラメーターの機能は次の通りです。

■PITCH（ピッチ）

- **ドラムキットの場合**……JAMスライダーの動きに合わせて、パッドのピッチが上下します。ピッチの変化幅は音色によって異なります。
- **ベースプログラムの場合**……JAMスライダーの動きに合わせて、パッドのピッチが13段階に変化します。各段階のピッチは、パッド1～13に割り当てられている音高に相当します。

■VOLUME（ボリューム）

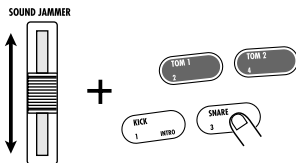
JAMスライダーの動きに合わせて、パッドの音量が変化します。

■PAN（定位）

JAMスライダーの上→下の動きに合わせて、パッドの定位（左右の位置）が、右→左と変化します。

■SOUND CHANGE（サウンドチェンジ）

JAMスライダーの動きに合わせて、パッドの音色が変化します。音色変化の効果は、ドラムキット／ベースプログラムごとに異なります。

3 JAMスライダーを動かしながら、パッドを叩いてください。

手順2で選択した音色が変化します。

JAMスライダーでコントロールする機能を切り替えると、それまで操作していたパラメーターは元の設定値に戻ります。

パッドの感度を調節する

パッドを叩く強さに対する音量変化の感度を設定します。

1 [UTILITY]キーを押し、[◀]／[▶]キーを使ってディスプレイに“SENS”と表示させてください。

2 [▲]／[▼]キーまたは[VALUE]ダイアルを使って、次の中から感度の設定を選んでください。

- ●SOFT・・・・・・叩く強さに関係なく、小音量となります。
- ●MEDIUM・・・叩く強さに関係なく、中程度の音量になります。
- ●LOUD・・・・・・叩く強さに関係なく、大音量になります。
- ●LITE・・・・・・・・最も感度の高い設定です。弱く叩いたときも大きな音量になります。
- ●NORMAL・・・中程度の感度の設定です（初期設定）。
- ●HARD・・・・・・感度の低い設定です。
- ●EX HARD・・最も感度の低い設定です。かなり強く叩かなければ、大きな音が出ません。

3 パターンモードに戻るには、[PATTERN]キーを押してください。

活用ガイド【ドラムキット／ベースプログラム】

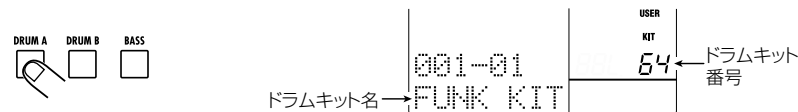
RT-323では、128種類の“ドラムキット”と、55種類の“ベースプログラム”が利用できます。ここではドラムキットやベースプログラムに関する操作方法を説明します。

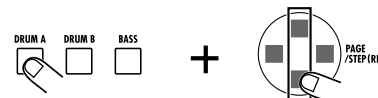
ドラムキットの操作

ドラムキットを切り替える

RT-323には、読み出し専用のプリセットドラムキット（00～63）と書き換え可能なユーザードラムキット（64～127）が内蔵されており、パターンごとにドラムA／ドラムBトラックで任意のドラムキットを選択できます。

1 パターンモードで[DRUM A]（または[DRUM B]）キーを押してください。

[DRUM A]（または[DRUM B]）キーを押している間、ディスプレイに現在選ばれているドラムキット番号が表示されます。

プリセットドラムキットが選ばれているときには“PRESET”、ユーザードラムキットが選ばれているときには“USER”とディスプレイ上部に表示されます。

2 [DRUM A]キー（ドラムAトラックのドラムキットを選ぶ場合）または[DRUM B]キー（ドラムBトラックのドラムキットを選ぶ場合）を押しながら、[▲]／[▼]キーまたは[VALUE]ダイアルを押してください。

[▲]／[▼]キーを押すたびにドラムキット番号が1つずつ上下します。

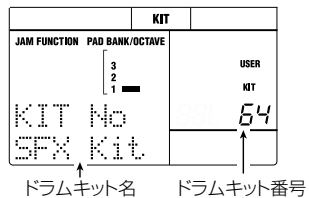
3 パッドを叩いて、切り替えたドラムキットを鳴らしてみましょう。

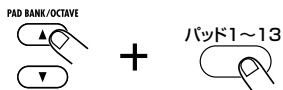
パッドの設定をエディットする

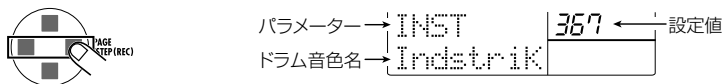
ユーザードラムキットに含まれるパッドごとに、ドラム音色、音量、ピッチ、出力先などの要素をエディットして、自分自身のユーザードラムキットを作ります。

プリセットドラムキットはエディットできません。一度ユーザードラムキットにコピーしてから、エディット操作を行ってください（→P37）。

1 パターンモードで[DRUM A]キー（または[DRUM B]キー）を押し、続いて[KIT]キーを押してください。

ディスプレイの上部に"KIT"の文字が表示され、エディットの対象となるドラムキット名とキット番号が表示されます。

2 [▲]／[▼]キーまたは[VALUE]ダイアルを使って、目的のユーザードラムキット（64〜127）を選択し、[PAD FUNCTION]キーを押してください。

3 [PAD BANK]キーとパッド1〜13を使って、音色をエディットするパッドを指定してください。

4 [◀]／[▶]キーを使って、次の中からパラメーター(エディットする要素)を選択してください。

パラメーター→ INST 367 ←設定値
ドラム音色名→ Indstrik

●INST
RT-323に内蔵されている377種類の単体ドラム音色の中から、パッドに割り当てられるドラム音色を選択します。設定範囲は、0〜376です。

●PITCH
パッドごとにドラム音色のピッチを微調節します。
−7.9〜0（基準ピッチ）〜7.9の範囲を、0.1（1／10半音）単位で調節できます。

●PAN MODIFY
そのパッドの音色を、[L/MONO／R OUT]端子から出力したときの定位（左右の再生位置）を調整します。設定範囲は、−7〜0〜7です。変化の範囲は音色によって異なります。

PANの設定は、[SUB OUT 1]／[SUB OUT 2]端子の出力信号には影響しません。

●INST LEVEL
パッドごとの音量を1〜15の範囲で調節します。

●OUTPUT MAIN
[L/MONO／R OUT]端子から出力されるドラム音色のレベルを、0〜15の範囲で調節します。

●OUTPUT SUB 1
[SUB OUT 1]端子から出力されるドラム音色のレベルを、0〜15の範囲で調節します。

●OUTPUT SUB 2
[SUB OUT 2]端子から出力されるドラム音色のレベルを、0〜15の範囲で調節します。

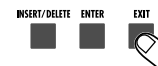
バスドラムやスネアドラムの音色を[SUB OUT 1]端子から独立して取り出したいときは、該当するパッドのOUTPUT MAINパラメーターの値を0（ゼロ）に設定し、OUTPUT SUB 1パラメーターの値を上げます。

●GROUP
同じパッドを連続して叩いたときの音の鳴り方（POLY＝音が重なる、MONO＝音が重ならない）と、パッドが所属するグループ（0＝所属グループなし、1〜7＝指定された番号のグループに所属）を設定します。1〜7の同じ番号に所属するパッド同士は、同時には発音しません。

・ 例えばオープンハイハットとクローズハイハットを割り当てた2つのパッドを同じグループ番号に所属させておけば、クローズハイハットを鳴らしたときにオープンハイハットの音が消音されるため、よりリアルな演奏が可能となります。
・ グループ番号は、POLY／MONOの両方で共通します。

5 [▲]／[▼]キーまたは[VALUE]ダイアルを使って、設定値を変更してください。

6 必要に応じて手順3〜5を繰り返し、他のパッドも同様にエディットしてください。

7 エディットが終わったら、[EXIT]キーを押してください。

エディット内容が自動的に保存され、手順2に戻ります。パターン／ソングモードに戻りたいときは、[PATTERN]／[SONG]キーを押してください。

パッドの設定をコピーする

ユーザードラムキット内で、パッドの設定内容を他のパッドにコピーします。例えばクローズハイハット、ペダルハイハット、オープンハイハットのように、ほとんどの設定が共通したパッドを複数作成したいときに、便利な機能です。

1 パターンモードで[DRUM A]キー（または[DRUM B]キー）を押し、続いて[KIT]キーを押してください。

2 [▲]／[▼]キーまたは[VALUE]ダイアルを使って、目的のユーザードラムキット（64〜127）を選択し、[PAD FUNCTION]キーを押してください。

3 [EDIT]キーを押し、コピー元となるパッドを叩いてください。
コピー元のパッドが選択されます。

COPY Pad 13
SRC PAD
コピー元の
パッド

4 **[ENTER]キーを押し、コピー先となるパッドを叩いてください。**

コピー先のパッドが選択されます。

COPY Pad 6
DST PAD
コピー先の
パッド

5 **コピーを実行するには[ENTER]キーを、キャンセルするには[EXIT]キーを押してください。**

コピーを実行すると、手順2の状態に戻ります。パターンモードに戻るには、続いて[PATTERN]キーを押してください。

ユーザードラムキットに名前を付ける

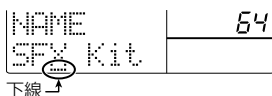
ユーザードラムキットには、最大8文字までの名前（キット名）が付けられます。

1 **パターンモードで[DRUM A]（または[DRUM B]キー）を押し、続いて[KIT]キーを押してください。**

2 **[▲]／[▼]キーまたは[VALUE]ダイアルを使って、キット名を変更するユーザードラムキット（64〜127）を選択してください。**

3 **[EDIT]キーを押し、[◀]／[▶]キーを使ってディスプレイに“NAME”と表示させてください。**

NAME 64
SFX Kit

4 **[◀]／[▶]キーを使って文字を変更したい位置に下線を移動してください。**

5 **[▲]／[▼]キーをまたは[VALUE]ダイアルを使って、次の中から変更したい文字を選んでください。**

アルファベット：A〜Z、a〜z

数字：0〜9

記号：<スペース> ! " # $ % & ' ( ) * + , - . / : ; < = > ? @ [¥] ^ _ < ` { ı } →←

6 **名前を付け終わったら、[EXIT]キーを押してください。**

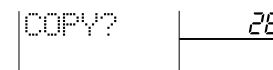
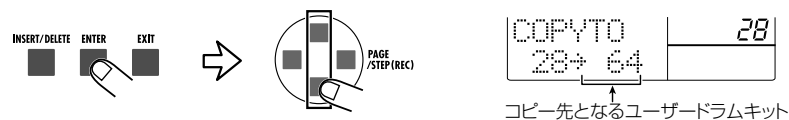
ドラムキット名が更新され、手順2の状態に戻ります。パターンモードに戻るには、[PATTERN]キーを押してください。

ドラムキットをコピーする

既存のドラムキット（プリセットドラムキットまたはユーザードラムキット）をユーザードラムキットにコピーします。ドラムキットの一部のみを変更したバリエーションを作りたいときに、便利です。

1 **パターンモードで[DRUM A]（または[DRUM B]）キーを押し、[KIT]キーを押してください。**

2 **[▲]／[▼]キーまたは[VALUE]ダイアルを使ってコピー元となるドラムキット（プリセットドラムキット00〜63／ユーザードラムキット64〜127）を選択してください。**

3 **[EDIT]キーを押し、[◀]／[▶]キーを使ってディスプレイに“COPY?”と表示させてください。**

4 **[ENTER]キーを押し、[▲]／[▼]キーまたは[VALUE]ダイアルを使ってコピー先となるユーザードラムキットを選択してください。**

5 **コピーを実行するには[ENTER]キーを、キャンセルするには[EXIT]キーを押してください。**

コピーを実行すると、手順2の状態に戻ります。パターンモードに戻りたいときは、[PATTERN]キーを押してください。

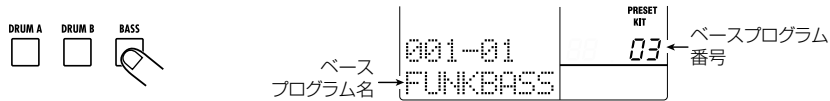
ベースプログラムの操作

ベースプログラムを切り替える

RT-323には55種類（00〜54）のベースプログラムが用意されており、パターンごとにいずれか1つを選択できます。

1 **[PATTERN]キーを押してパターンモードに切り替え、[BASS]キーを押してください。**

[BASS]キーを押している間、ディスプレイに現在選ばれているベースプログラム番号(00〜54)が表示されます。

活用ガイド【ドラムキット／ベースプログラム】

2 **[BASS]キーを押しながら、[▲]／[▼]キーを押してください。**

キーを押すたびにベースプログラムの番号が1つずつ上下します。

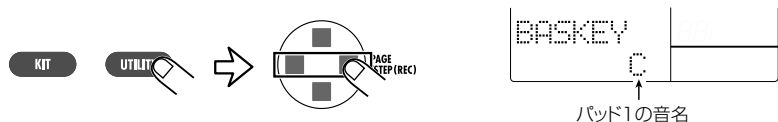
3 **パッドを叩いて、選択したベースプログラムの音を鳴らしてみましょう。**

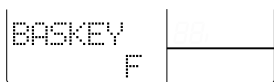
●ベースプログラムを移調する

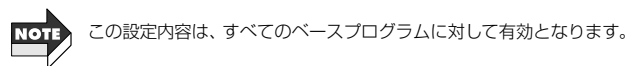
パッド1に割り当てられている音高を基準に､ベースプログラム全体の音高を半音単位で上下させます。

1 **パターンモードで[BASS]キーを押してください。**

2 **[UTILITY]キーを押し、[◀]／[▶]キーを使ってディスプレイに“BASKEY”と表示させてください。**

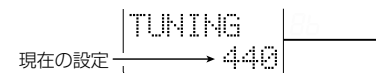
ディスプレイには、パッド1の音名が表示されます。

3 **[▲]／[▼]キーまたは[VALUE]ダイアルを使って、移調幅を設定してください。**

F#（－6半音）～C（移調なし）～F#（＋6半音）の範囲で移調幅を設定できます。パッド1の音名を切り替えると、それに従って他のパッドの音高が平行移動します。

4 **設定が済んでパターンモードに戻るには、[PATTERN]キーを押してください。**

この設定内容は、すべてのベースプログラムに対して有効となります。

●ベースプログラムのチューニングを調節する

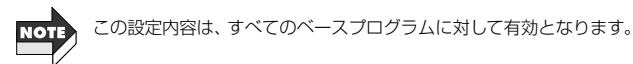
ベースプログラム全体のチューニングを、1Hz単位で設定します。RT-323のベースプログラムを、アコースティックピアノなどの生楽器に合わせたいときなどに使用します。

1 **パターンモードで[BASS]キーを押してください。**

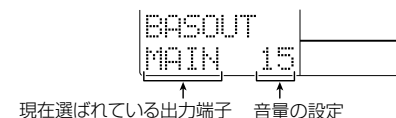
2 **[UTILITY]キーを押し、[◀]／[▶]キーを使って、ディスプレイに“TUNING”と表示させてください。**

3 **[▲]／[▼]キーまたは[VALUE]ダイアルを使って、チューニングの値を設定してください。**

435Hz～445Hzの範囲を1Hz単位で調節できます。工場出荷時には440Hzに設定されています。

4 **設定が終わり、パターンモードに戻りたいときは[PATTERN]キーを押してください。**

この設定内容は、すべてのベースプログラムに対して有効となります。

●ベースプログラムの出力レベルを変更する

ベースプログラムの出力レベルを端子([L/MONO／R OUT]／[SUB OUT 1]／[SUB OUT 2]端子])ごとに設定します。ベーストラックとドラムトラックを個別に出力させたい場合などに利用します。

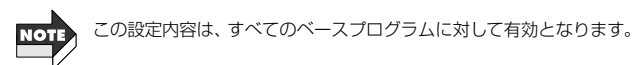
1 **[UTILITY]キーを押し、[◀]／[▶]キーを使って、ディスプレイに“BASOUT”と表示させてください。**

2 **[◀]／[▶]キーを使って“MAIN”（[L/MONO／R OUT]端子）、“SUB1”（[SUB OUT 1]端子）、“SUB2”（[SUB OUT 2]端子）の中から、ベースプログラムの出力先を選んでください。**

3 **[VALUE]ダイアルを使って、ベースプログラムの出力レベル（0～15）を設定してください。**

工場出荷時にはMAIN=15、SUB1=0、SUB2=0に設定されています。

4 **設定が終わり、パターンモードに戻りたいときは、[PATTERN]キーを押してください。**

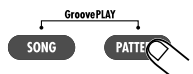
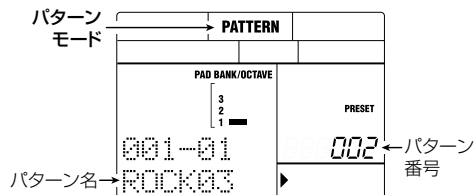
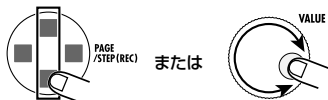
この設定内容は、すべてのベースプログラムに対して有効となります。

活用ガイド【ドラムキット／ベースプログラム】

活用ガイド【パターン】

ここでは、パターンの操作方法について解説します。また、パッドにパターンを割り当てて、リアルタイムで演奏する"グルーブプレイ機能"についても説明します。

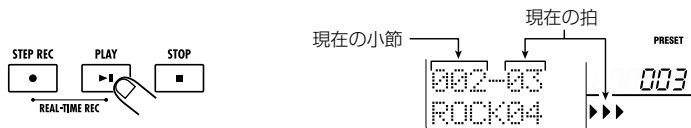
パターンを演奏する

RT-323は読み込み専用のプリセットパターンが400種類(000～399)、読み書き可能なユーザーパターンが100種類(U00～U99)あり、合計500種類のパターンが利用できます。パターンを選んで演奏する方法は、次の通りです。

1 [PATTERN]キーを押してください。

"パターンモード"に切り替わります。ディスプレイの下には、現在選ばれているパターン名とパターン番号が表示されます。

2 [▲]／[▼]キーまたは[VALUE]ダイアルを使って、演奏するパターンを選んでください。

プリセットパターンが選ばれているときは"PRESET"、ユーザーパターンが選ばれているときは"USER"の文字が、ディスプレイに表示されます。なお、RT-323が初期状態のとき、ユーザーパターンはすべて空になっており、パターン名の欄に"EMPTY"と表示されます。

[◀]／[▶]キーを使うと、プリセットパターンをカテゴリー単位で切り替えることができます。プリセットパターンのカテゴリーについては、巻末の資料をご参照ください。

3 [▶Ⅱ]キーを押してください。

選択したパターンの演奏が開始されます。

演奏中にパターンを切り替えることも可能です。[▲]／[▼]キーを使った場合は、即座にパターンが切り替わり、[VALUE]ダイアルを使った場合は、現在のパターンが終わってから次のパターンに切り替わります。

4 パターンを停止するには、[■]キーを押してください。

[■]キーの代わりに[▶Ⅱ]キーを押すとポーズ(一時停止)状態になり、[▶Ⅱ]キーが点滅します。もう1度[▶Ⅱ]キーを押すと、止めた位置から再開します。

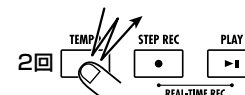
パターンのテンポを変える

パターンモードでは、[TEMPO]キーを使ってパターンのテンポを変更できます。

1 [TEMPO]キーを押しながら、[▲]／[▼]キーまたは[VALUE]ダイアルを使ってテンポの値を変更してください。

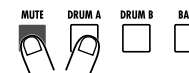
[TEMPO]キーを押している間、ディスプレイには現在のテンポの値が表示されます。

テンポの値は、40～250(BPM)の範囲を0.1単位で調節できます。テンポが設定できたら、[TEMPO]キーから手を離してください。

2 マニュアル操作でテンポを設定したいときは、[TEMPO]キーを好きなテンポで2回叩いてください(タップテンポ機能)。

パターンの停止中または再生中に[TEMPO]キーを2回叩けば、その間隔を4分音符としたテンポが設定されます。ある曲に合わせたパターンを作りたいときは、その曲に合わせて[TEMPO]キーを叩くだけで、簡単にテンポが設定できます。

特定のトラックをミュートする

[MUTE]キーを使えば、パターンに含まれる各トラック(ドラムA／ドラムB／ベース)を個別にミュートできます。

1 [MUTE]キーを押したまま、ミュートしたいトラックに該当するキー([DRUM A]／[DRUM B]／[BASS]キー)を押してください。

そのキーが点灯し、該当するトラックがミュートされます。[MUTE]キーを押している間は、[DRUM A]／[DRUM B]／[BASS]キーの点灯／消灯で、各トラックのミュートオン／オフの状態を確認できます。

2 **ミュートを解除するには、[MUTE]キーを押しながら、点灯している[DRUM A]／[DRUM B]／[BASS]キーを押してください。**

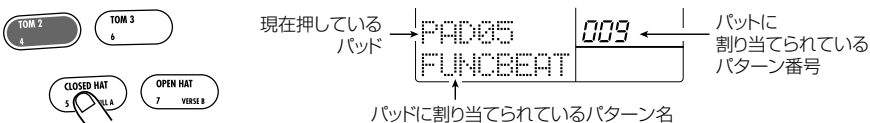
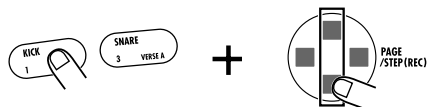
グループプレイ機能を使う

RT-323がグループプレイモードのときは、パッドに割り当てられたパターンをリアルタイムで演奏できます。最大4つのパターンを同時に演奏して複雑なリズムを作ったり、パターンをループ再生させてDJ風の演奏を楽しむことができます。

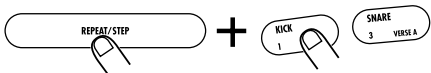
1 **[SONG]キーと[PATTERN]キーを同時に押してください。**

RT-323がグループプレイモードになります。

2 **お好きなパッドを押してください。**

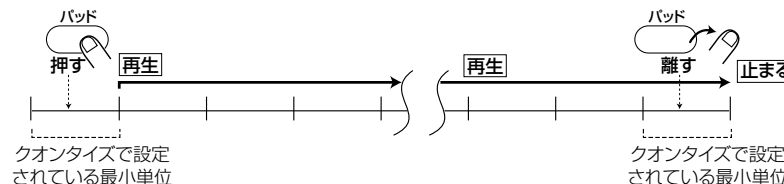
パッドを押し続けている間、パッドに割り当てられたパターンが演奏されます。パッドを叩く強さに応じて、パターン全体の音量が変化します。ディスプレイには現在押しているパッドや割り当てられているパターン名、パターン番号が表示されます。

3 **パッドに割り当てるパターンを変更したいときは、パッドを押したまま[▲]／[▼]キーまたは[VALUE]ダイアルを使って、パターンを選択してください。**

プリセット／ユーザーのどちらのパターンでも選択できます。

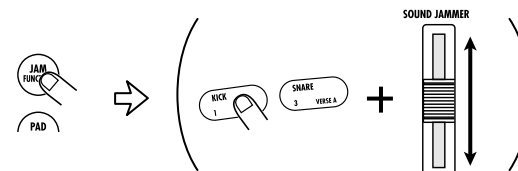
"PAD"と表示されるパターン名を割り当てたパッドは、パターンモードでパッドを叩いたときの本来の音色（ドラムキットのドラム音色またはベースプログラムのベース音）を演奏できます。

4 **パッドを離した後でもパターンを繰り返し演奏したい場合は、[REPEAT]キーを押しながらパッドを押してください。**

該当するパターンがループ再生されます。再度、同じパッドを押せば、ループ再生が解除されます。

5 **複数のパターンを同時に鳴らしたいときは、複数のパッドを押さえてください。**

グループプレイモードでは、最大4つのパターンを同時に演奏できます。

- 5つ以上のパッドを同時に押した場合は、後から押したパッドが優先されます。
- 複数のパッドを押したときは、それぞれのパターンがある程度揃うように、パターンが鳴り始めるタイミングや鳴り終わるタイミングが、自動的に調節されます（タイミング調節の基準となるクオンタイズを指定する方法は→P50）。
- それぞれのパターンは、現在選ばれているソングと同じテンポで再生されます。

グループプレイモードでは、[►II]／[■]キーを使って、現在選ばれているソングの再生／停止が行えます。

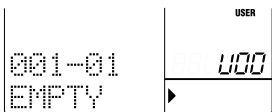
6 **パターンのピッチ、音量、定位、音色を連続的に変化させたいときは、[JAM FUNCTION]キーを使って変化させる要素を選び、パッドを押さえながらJAMスライダーを動かしてください。**

グループプレイモードでは、JAMスライダーを使って、演奏しているパターンのピッチ、音量、音色などの要素をコントロールできます。なお、JAMスライダーの操作は、現在選ばれているトラック（[DRUM A]／[DRUM B]／[BASS]キーで選択します）に対してのみ、有効です（JAMスライダーの詳しい操作方法は→P31）。

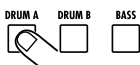
7 **グループプレイモードからパターン／ソングモードに戻りたいときは、[PATTERN]／[SONG]キーを押してください。**

パターンをリアルタイム入力する

ここでは、メトロノームに合わせてパッドを叩き、ユーザーパターンを作っていくリアルタイム入力の操作方法を説明します。

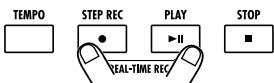
1 **パターンモードで、空のユーザーパターン（U00～U99）を選択してください。**

空のパターンが選択されると、ディスプレイには"EMPTY"と表示されます。

プリセットパターンにはパターンを録音することはできません。

2 **[DRUM A]／[DRUM B]／[BASS]キーを使って、リアルタイム入力するトラック（ドラムA／ドラムB／ベース）を選択してください。**

選択したトラックのキーが点灯します。

3 **音色（ドラムキット／ベースプログラム）を変更したいときは、操作2で選んだキーを押したまま、[▲]／[▼]キーまたは[VALUE]ダイアルを操作してください。**

各トラックで最後に選んだ音色が、そのパターンに記録されます。なお、必要に応じて、[PAD BANK]／[OCTAVE]キーを使って、パッドバンクやベースの音域を選択してください。

4 **[●REC]キーを押しながら[▶II]キーを押してください。**

[●REC]キーと[▶II]キーが点灯します。"カッ、カッ、カッ、カッ"という1小節の前カウントが鳴った後にリアルタイム入力が開始されます。

5 **メトロノームに合わせてパッドを叩いてください。パターンの最後の小節まで入力が終わると、先頭の小節に戻り入力を続けます。**

■ ドラムトラックを録音する場合

叩いたパッドに割り当てられているドラム音色が鳴り、現在選ばれているクオンタイズの値に従って、演奏内容が記録されます。
なお、パターンの録音中に、[PAD BANK]キーを使ってパッドバンクを切り替え、パッド1〜13に割り当てられるドラム音色を変更することができます。

・ 録音中に[●REC]キーを押すと、[●REC]キーが点滅し、録音が一時的に解除されます。このとき、パッドを叩いてパッドに割り当てられた音色を確認できます。もう一度[●REC]キーを押すと録音状態に戻ります。

・ パターンのリアルタイム入力では、パッドの代わりに[MIDI IN]端子に接続したMIDIキーボードなどを使って、入力する音符を指定することもできます。

■ベーストラックを録音する場合

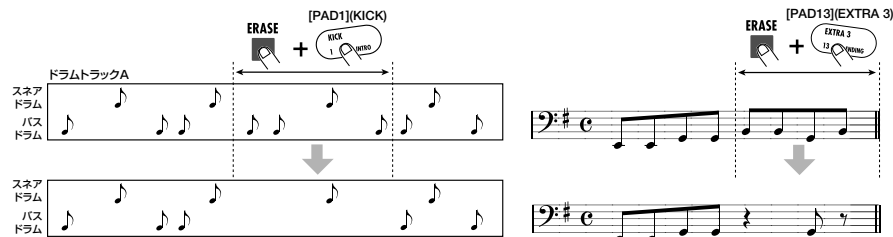
RT-323が初期状態のときは、それぞれのパッド（パッド6は除く）にC、C#、D、D#...B、Cのように、音高が半音ずつ変化していくスケール（音階）が割り当てられています。叩いたパッドに対応する音高のベース音が鳴り、現在選ばれているクオンタイズの値に従って、演奏内容が録音されます。
なお、ドラムトラックとは異なり、ベーストラックにはパッドを押さえている長さも記録されることに注意してください。例えば次の譜例を録音するには、A2の音高が割り当てられたパッドと、E2の音高が割り当てられたパッドを、それぞれ4分音符の長さだけ押さえ続けます。

ベーストラックの録音中には、[OCTAVE]キーを使ってベースの音域を切り替えることができます。

RT-323が初期状態のとき、クオンタイズの値は16分音符に設定されていますが、この設定は必要に応じて変更できます（→P50）。

6 **特定のパッドの演奏を消去したい場合は、[ERASE]キーを押しながら消去したいパッドを押してください。**

[ERASE]キーとパッドを押している間だけ、そのパッドに割り当てられた音色が、パターンから消去されます。

また、トラック全体を消去したいときは、[ERASE]キーを押しながら該当するトラックのキー（[DRUM A]／[DRUM B]／[BASS]キーを押してください。両方のキーを押さえている間だけ、該当するトラックのすべての音がパターンから消去されます。

7 **パターンにJAMスライダーの操作を記録したいときは、[JAM FUNCTION]キーを使って変化させる機能を選び、パッドを叩きながらJAMスライダーを動かしてください。**

ピッチ、音量、定位、音色の変化を記憶させておくことができます（JAMスライダーの詳しい操作方法は→P31）。

活用ガイド【パターン】

JAMスライダーの操作は、パッドで演奏されている音に対してのみ有効です。JAMスライダーのみを操作しても、録音済の音には影響しません。

8 **リアルタイム入力を終了したいときは[■]キーを押してください。**

[●REC]キーと[►II]キーが消灯し、リアルタイム入力を終了します。

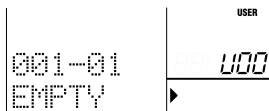
新規のパターンを作成すると、"Pat xxx"(xxxにはユーザーパターンの番号が入ります)というパターン名がつけられます。このパターン名は必要に応じて変更できます(→P54)。

9 **[►II]キーを押して録音内容を確認してみましょう。**

パターンをステップ入力する

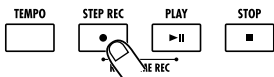
ステップ入力とは、RT-323を停止させた状態で、1つ1つの音符を入力していく方法です。リアルタイム入力が難しいドラムパターンやベースラインでも、ステップ入力を使えば簡単に入力できます。

1 **パターンモードで、空のユーザーパターン(U00〜U99)を選択してください。**

空のパターンが選択されると、ディスプレイには"EMPTY"と表示されます。

2 **[DRUM A]/[DRUM B]/[BASS]キーを使って、ステップ入力するトラック(ドラムA/ドラムB/ベース)を選択してください。**

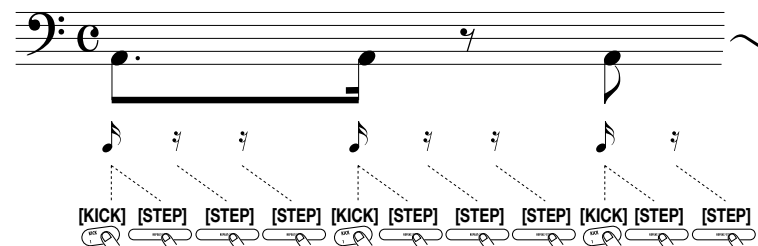
3 **音色(ドラムキット/ベースプログラム)を変更したいときは、操作2で選んだキーを押したまま、[▲]/[▼]キーまたは[VALUE]ダイアルを操作してください。**

各トラックで最後に選んだ音色が、そのパターンに記録されます。

4 **[●REC]キーを押してください。**

[●REC]キーが点灯し、パターンのステップ入力が可能な状態となります。

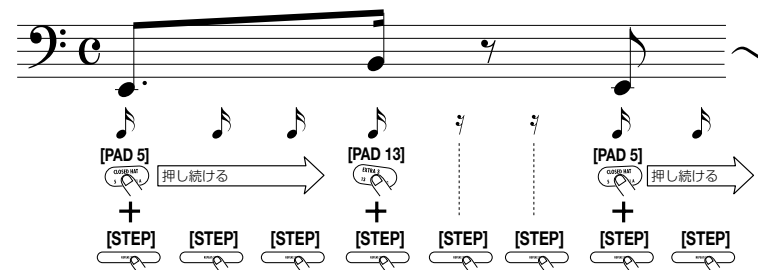
5 **パッドと[STEP]キーを使って音符や休符を入力してください。**

■ドラムトラックを録音する場合

パッドを押してから[STEP]キーを押すと、そのパッドに割り当てられたドラム音色の音符が入力されます。パッドを押さずに[STEP]キーだけを押したときは音符が入力されずに、クオンタイズの値だけ進みます。例えば、クオンタイズの値が16分音符の状態で、次の譜例のようなリズムのキックを入力する場合は、図のようにパッドと[STEP]キーを押します。

なお、ステップ入力中に、[PAD BANK]キーを使ってパッドバンクを切り替えることができます。

■ベーストラックを録音する場合

パッドを押しながら[STEP]キーを押すと、そのパッドに割り当てられた音高の音符が入力されます。[STEP]キーだけを押したときは音符が入力されずに、クオンタイズの値だけ進みます。

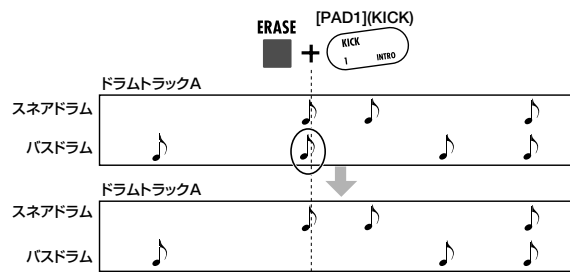
音符の長さは、パッドを押し続けながら[STEP]キーを押した回数で決まります。例えば、クオンタイズの値が16分音符の状態で、次の譜例のようなベースのフレーズを入力する場合は、図のようにパッドと[STEP]キーを押します。

なお、ステップ入力中に、[OCTAVE]キーを使ってベースの音域を切り替えることができます。

- 音符をステップ入力するときは、パッドを叩いた強さも同時に記録されます。
- パターンの最後まで進んだら、自動的に先頭の小節に戻りますので、そのままステップ入力を続けることができます。
- RT-323が初期状態のとき、クオンタイズの値は16分音符に設定されていますが、この設定は必要に応じて変更できます(→P50)。

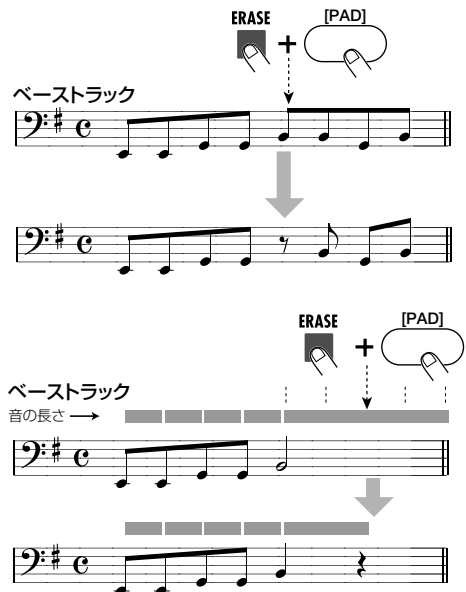
6 **誤って入力した音符を消したいときは、[STEP]キーを使ってその音符の位置まで進み、[ERASE]キーを押しながら該当するパッドを押してください。**

■ドラムトラックの場合

[STEP]キーを使ってパターン内部を進んでいくと、現在位置に入力されているパッドが点灯します。

[ERASE]キーを押しながら点灯しているパッドを押すと、パッドが消灯し、その位置にあった音符が消去されます。

■ベーストラックの場合

ベーストラックで特定の音符を消去したいときは、ドラムトラックと同じように、[STEP]キーを使って音符が鳴り始める位置まで進み(その音高に対応するパッドが点灯します)、[ERASE]キーを押しながら点灯しているパッドを押します。

また、音が伸びている途中で、[ERASE]キーを押しながら該当するパッドを押すことで、音符の長さを短くすることもできます。

7 ステップ入力を終了するには[■]キーを押してください。

[●REC]キーが消灯し、ステップ入力を終了します。

ユーザーパターンを消去する

現在選ばれているユーザーパターンに記録されたすべての演奏情報を消去し、空の状態に戻します。

1 パターンモードで、[▲]/[▼]キーまたは[VALUE]ダイアルを使って、消去したいユーザーパターンを選んでください。

2 パターンが停止している状態で、[DELETE]キーを押してください。

ディスプレイに"SURE?"と表示されます。

3 消去を実行するには[ENTER]キー、キャンセルするには[EXIT]キーを押してください。

[ENTER]キーを押すとパターンが消去され、ディスプレイに"EMPTY"と表示されます。

トラックを消去する

現在選ばれているユーザーパターンに含まれる、任意のトラックを消去します。

1 パターンモードで、[▲]/[▼]キーまたは[VALUE]ダイアルを使って、トラックを消去したいユーザーパターンを選んでください。

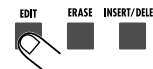
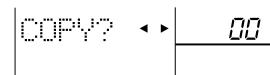
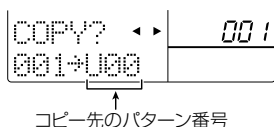
2 [ERASE]キーを押しながら、消去したいトラックに該当するキー([DRUM A]/[DRUM B]/[BASS]キー)を押してください。

3 消去を実行するには[ENTER]キー、キャンセルするには[EXIT]キーを押してください。

[ENTER]キーを押すと、指定したトラックが消去されます。

パターンをコピーする

既存のパターン(プリセット/ユーザーパターン)を任意のユーザーパターンにコピーします。

1 パターンモードでコピー元となるパターンを選び、[EDIT]キーを押してください。

2 [◀]/[▶]キーを使ってディスプレイに"COPY?"と表示させてください。

3 **[ENTER]キーを押し、[▲]／[▼]キーまたは[VALUE]ダイアルを使って、コピー先のユーザーパターン（U00〜U99）を選んでください。**

4 **コピーを実行するには[ENTER]キー、キャンセルするには[EXIT]キーを押してください。**
[ENTER]キーを押すと、コピーが実行され、手順1の状態に戻ります。

パターンの設定を変える

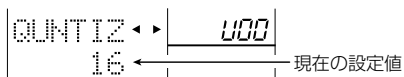
ここでは、すべてのパターンに共通する設定や、ユーザーパターン固有の設定（拍子やテンポなど）を変更する方法を説明します。

クオンタイズを設定する

パターンをリアルタイム入力／ステップ入力するときの、最小単位となる音符を設定します。

1 **パターンモードで[EDIT]キーを押してください。**

2 **[◀]／[▶]キーを使って、ディスプレイに“QUNTIZ”と表示させてください。**
最小単位の音符が選択可能になります。

QUNTIZ　U00
16 ← 現在の設定値

3 **[▲]／[▼]キーまたは[VALUE]ダイアルを使って、次の中から最小単位の音符を選んでください。**

4・・・・・4分音符	16 ・・・・・16分音符	48 ・・・・32分3連音符
8・・・・・8分音符	24 ・・・・・16分3連音符	Hi ・・・・・1チック（クオンタイズなし）
12 ・・・8分3連音符	32 ・・・・・32分音符	※ **1チック（4分音符の1／96）**

この設定値は、次の4つの機能に影響します。
- ・リアルタイム入力時の最小単位となる音符
- ・ステップ入力時に最小単位となる音符
- ・[REPEAT]キーを押しながらパッドを押したときの、連打音の間隔
- ・グルーブプレイでパターンを演奏開始／停止するタイミングの最小単位

4 **設定がすんだら、[EXIT]キーを押してください。**
設定内容が反映され、パターンモードに戻ります。

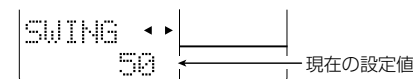
手順4で[EXIT]キーの代わりに[●REC]キーを押すと、現在選択されているパターンのトラックに記録されている音符が、クオンタイズの値に揃えられます。

リズムの跳ね具合（スウィング量）を調節する

パターンのリズムの跳ね具合（スウィング量）を設定します。設定値を大きくするほど、跳ね具合が大きくなります。

この設定は、すべてのパターンの演奏に影響します。

1 **パターンモードで[EDIT]キーを押してください。**

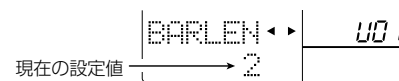
2 **[◀]／[▶]キーを使って、ディスプレイに“SWING”と表示させてください。**
スウィングの値が設定可能になります。

3 **[▲]／[▼]キーまたは[VALUE]ダイアルを使って、スウィングの設定値（50〜75）を選んでください。**
初期状態では50（スウィングなし）に設定されています。

4 **設定がすんだら、[EXIT]キーを押してください。**
設定内容が反映され、パターンモードに戻ります。

パターンの長さを変える

ユーザーパターンの長さ（小節数）を変更します。この設定は、ユーザーパターンごとに記録されます。

1 **パターンモードで目的のユーザーパターンを選び、[EDIT]キーを押してください。**

2 **[◀]／[▶]キーを使って、ディスプレイに“BARLEN”と表示させてください。**

3 **[▲]／[▼]キーまたは[VALUE]ダイアルを使って、小節数を設定してください。**
1〜99小節の範囲で設定できます。空のパターンは2小節に初期設定されています。

すでに入力されているパターンの小節数を変更した場合、演奏内容が次のように変化します。

■現在の小節数よりも長くする場合
現在のパターンの後ろに、空白の小節が追加されます。

■現在の小節数よりも短くする場合

パターンの最後からはみ出た小節の演奏が削除されます。パターンモードに戻って変更内容が確定すると、削除された小節は復活できなくなります。

[▲]／[▼]キーや[VALUE]ダイアルを操作して設定値が変更されると、"E" の文字がディスプレイに表示されます。設定値を元の値に戻すと"E" の文字が消えます。

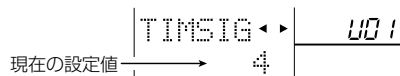
4 設定がすんだら、[EXIT]キーを押してください。

設定内容が反映され、パターンモードに戻ります。

パターンの拍子を変える

ユーザーパターンの拍子を選択します。この設定は、ユーザーパターンごとに記録されます。

1 パターンモードで目的のユーザーパターンを選び、[EDIT]キーを押してください。

2 [◀]／[▶]キーを使って、ディスプレイに "TIMSIG" と表示させてください。

3 [▲]／[▼]キーまたは[VALUE]ダイアルを使って拍子を設定してください。

1（1／4拍子）～16（16／4拍子）の中から選択できます。空のパターンは4（4／4拍子）に初期設定されています。

すでに入力されているパターンの拍子を変更することもできますが、その場合には、入力された演奏が次のように変化します。

■現在の拍子よりも長くする場合

各小節の最後に、空白が追加されます。

■現在の拍子よりも短くする場合

各小節のはみ出た部分の演奏が削除されます。パターンモードに戻って変更内容が確定すると、削除された小節は復活できなくなります。

[▲]／[▼]キーや[VALUE]ダイアルを操作して設定値が変更されると、"E" の文字がディスプレイに表示されます。設定値を元の値に戻すと"E" の文字が消えます。

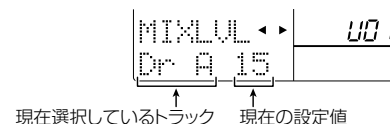
4 設定がすんだら、[EXIT]キーを押してください。

設定内容が反映され、パターンモードに戻ります。

トラックごとの音量バランスを調節する

ユーザーパターンのドラムA、ドラムB、ベース各トラックの音量を調節します。この設定は、ユーザーパターンごとに記録されます。

1 パターンモードで目的のユーザーパターンを選び、[EDIT]キーを押してください。

2 [◀]／[▶]キーを使って、ディスプレイに "MIXLVL" と表示させてください。

3 [◀]／[▶]キーを使って、音量を変えたいトラックを選択してください。

4 [▲]／[▼]キーまたは[VALUE]ダイアルを使って、選択したトラックの音量（0～15）を設定してください。

新しくパターンを作成したときは、すべてのトラックが15に設定されています。他のトラックの音量を調節したいときは、手順3、4を繰り返してください。

5 設定がすんだら[EXIT]キーを押してください。

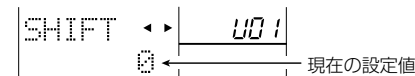
パターンモードに戻ります。

発音タイミングを前後にずらす（シフト）

現在選ばれているユーザーパターンの演奏情報のタイミングを、前後にずらします。

1 パターンモードで目的のユーザーパターンを選び、[EDIT]キーを押してください。

2 [◀]／[▶]キーを使って、ディスプレイに "SHIFT" と表示させてください。

SHIFT U01
0 ← 現在の設定値

3 [▲]／[▼]キーまたは[VALUE]ダイアルを使って、タイミングをずらす量を設定してください。

1チック（4分音符の1／96）単位で、－192～192チック（±2拍）の範囲で、設定できます。例えば設定値を24にすると、パターンが次のように変化します。

シフト 設定値＝24（16分音符）

[▲]／[▼]キーや[VALUE]ダイアルを操作して設定値が変更されると、"E" の文字がディスプレイに表示されます。設定値を元の値に戻すと"E" の文字が消えます。

4 設定がすんだら、[EXIT]キーを押してください。

設定内容が反映され、パターンモードに戻ります。

NOTE この項目は、パターンに記録されている演奏データを直接書き換えます。パターンモードに戻って変更内容が確定すると、復活できなくなります。

パターン名を変更する

新規のパターンを作成すると"Pat xxx" (xxxにはユーザーパターンの番号が入ります) というパターン名が自動的に付けられます。

1 パターンモードで目的のユーザーパターンを選び、[EDIT]キーを押してください。

2 [◀]／[▶]キーを使って、ディスプレイに "NAME" と表示させてください。

"NAME" の下にパターン名と下線が表示されます。

3 [◀]／[▶]キーを使って、変更したい文字に下線を移動させ、[▲]／[▼]キーまたは[VALUE]ダイアルを使って文字を選んでください (使用可能な文字は→P36)。

4 パターン名の変更がすんだら[EXIT]キーを押してください。

パターンモードに戻ります。

活用ガイド【ソング】

ここでは、ソングの再生方法や、新規ソングの作成方法、既存のソングの編集方法など、ソングのさまざまな活用法について説明します。

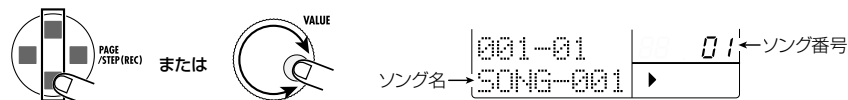
ソングを演奏する

RT-323本体には、最大100曲のソングが記録できます。

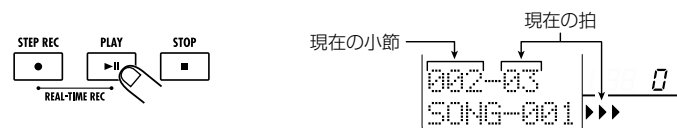
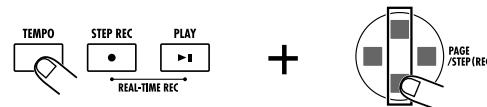
1 [SONG]キーを押してソングモードに切り替えてください。

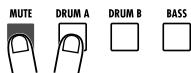
RT-323が、ソングの作成や再生を行う"ソングモード" になります。

2 [▲]／[▼]キーまたは[VALUE]ダイアルを使って、演奏するソング番号 (00〜99) を選択してください。

再生中にソングを切り替えることも可能です。[▲]／[▼]キーを使った場合は、即座にソングが切り替わり、[VALUE]ダイアルを使った場合は、現在のソングが終わってから次のソングに切り替わります。

空のソングが選択されたときは、ソング名の欄に "EMPTY" と表示されます。

3 [▶II]キーを押してください。

[▶II]キーが点灯し、選択したソングが再生されます。

4 ソングのテンポを変更するには、ソングの再生中 (または停止中) に、[TEMPO]キーを押しながら[▲]／[▼]キー、または[VALUE]ダイアルを使って設定してください。

ソングのテンポは、40〜250 (BPM) の範囲で変更できます。また、ここで設定したテンポはソングに記憶されます。

5 特定のトラックのみミュート（消音）したいときは、[MUTE]キーを押しながら[DRUM A]／[DRUM B]／[BASS]の各キーを押してください。

そのキーが点灯し、該当するトラックがミュートされます。ミュートを解除するには、[MUTE]キーを押しながら、もう一度同じキーを押します。

トラックをミュートすると、ソングトラックも同時にミュートされますのでご注意ください（ソングトラックについては→P69）。

6 ソングを停止させるには[■]キーを押してください。

ソングが先頭位置に戻ります。

[■]キーの代りに[►II]キーを押すと、一時停止（ポーズ）となり、もう一度[►II]キーを押すと、一時停止した位置から再生を始めます。一時停止中は[VALUE]ダイアルを使って、小節単位で現在位置を調節できます。

ソングをリアルタイム入力する

ここでは、パターンをパッドに割り当て、パッドを叩いてパターンの順番を記録していく、ソングのリアルタイム入力について説明します。

パターンをパッドに割り当てる

ソングのリアルタイム入力を行うときは、最初にそのソングで使用するパターンを、パッドに割り当てる必要があります。

1 ソングモードで[▲]／[▼]キーまたは[VALUE]ダイアルを使って、空のソングを選択してください。

空のソングが選択されると、ディスプレイのソング名の欄に“EMPTY”と表示されます。

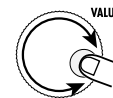
- 工場出荷時の00〜11のソングには、あらかじめパッドごとにパターンが割り当てられています（割り当てられているパターンについては、巻末の資料をご参照ください）。
- “EMPTY”と表示される空のソング（工場出荷時では12〜99のソング）を選んだ場合、各パッドには、最後に選択したソングの各パッドに割り当てられているパターンが、自動的に割り当てられます。

2 [PAD FUNCTION]キーを押してください。

パッドの各種設定を編集できる状態になります。

3 パターンを割り当てたいパッドを押してください。

指定したパッドに、パターンを割り当て可能な状態になります。

4 [VALUE]ダイアルを使って、パッドに割り当てるパターン番号（000〜399、U00〜U99）を選択してください。

5 手順3〜4を繰り返して、他のパッドにもソングで使用するパターンを割り当ててください。

6 必要なパターンをパッドに割り当てたら[EXIT]キーを押してください。

ソングモードに戻ります。

この状態でパッドを叩くと、そのパッドに割り当てられたパターンが演奏されます。リアルタイムでパターンを切り替えながら、1曲分のバッキング演奏を行うことも可能です。なお、パッドによるパターン演奏は、グルーブプレイモードと似ていますが、同時に複数のパターンは演奏できない点や、他のパッドを押したときに小節（または拍）の変わり目まではパターンが切り替わらない点などが異なります。

パッドに割り当てたパターンの情報は、ソングごとに記録されます。

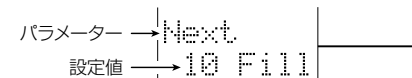
パッドに割り当てたパターンの演奏方法を変更する

ソングモードでパッドに割り当てたパターンを移調したり、パターン演奏後の動作などを変更することができます。

1 ソングモードでソングが停止した状態で、[PAD FUNCTION]キーを押してください。

2 編集したいパターンが割り当てられているパッドを叩いてください。

3 [◀]／[▶]キーを使って、次の中から変更したいパラメーターを選択してください。

パラメーター → Next
設定値 → 10 Fill

選択可能なパラメーターの種類と、設定範囲は次の通りです。

パラメーターの種類	内容	設定範囲
Ptn	パッドに割り当てるパターン番号	000～399、U00～U99
Dr B	ドラムBトラックの演奏情報	000A～399A、U00A～U99A、000b～399b、U00b～U99b
Bass	ベーストラックの演奏情報	000～399、U00～U99
Transp	ベーストラックのトランスポーズの設定	−12～0～12（半音単位）
Next	パターンを再生終了した次の動作を設定	1～13: 指定したパッドのパターンを演奏 1 Fill～13 Fill: 拍の変わり目でパターンを切り替え STOP: 演奏停止

Nextパラメーターは、パッドに割り当てたパターンの再生を終了した後、どんな動作をするのかを設定します。"1"～"13"の場合は、指定されたパッドのパターンに移ります。"1 Fill"～"13 Fill"の場合も、"1"～"13"と同じく指定されたパッドのパターンに移りますが、パッドに割り当てたパターンが拍の変わり目で切り替わる点が異なります。"STOP"の場合は、そこで演奏が停止します（エンディング用のパターンに向いています）。

4 **[VALUE]ダイアルを使って設定値を変更してください。**

5 **編集を終了したいときは[EXIT]キーを押してください。**

ソングモードに戻ります。

パッドを叩いてソングをリアルタイム入力したときに、ここで設定したパラメーターが、イベントとしてソングに記録されます。

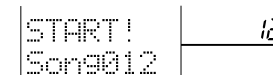
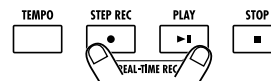
●パターンの順番を記録する

ソングで使用するパターンをすべてパッドに割り当てたら、パターンの順番通りにパッドを叩いて、ソングに記録してみましょう。

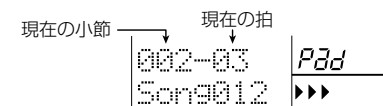
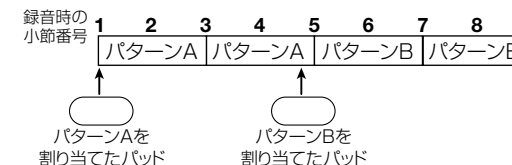
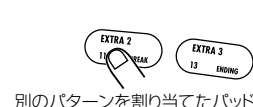
1 **[▲]／[▼]キーを使って、パッドにパターンを割り当てたソングを選択してください。**

2 **[●REC]キーを押しながら[►II]キーを押してください。**

ソングのリアルタイム入力の待機状態になります。

START! 12
Song012

3 **最初のパターンを割り当てたパッドを叩いてください。**

パッドを叩くのと同時にリアルタイム入力が開始され、パターン再生が始まります。パッドを離しても、あらかじめ指定された小節数を越えるか、別のパッドを叩くまで、同じパターンの演奏が続きます。ディスプレイには、現在の小節と拍が表示されます。

最初のパターンを割り当てたパッド

4 **パターンを切り替えたいときは、直前の小節内で、別のパターンが割り当てられたパッドを叩いてください。**

パッドに割り当てられたパターンが予約され、次の小節の先頭位置で、新しいパターンに切り替わります。

Nextパラメーター（→P58）が"1 Fill"～"13 Fill"のいずれかに設定されているパッドを叩いたときは、拍の変わり目から新しいパターンに切り替わります。この場合、新しいパターンも同じ拍の位置から切り替わるので、その小節の拍子が変わることはありません。

5 **同じ要領で、他のパターンの順番も記録してください。**

6 **リアルタイム入力を終了したいときは、[■]キーを押してください。**

次の小節の先頭位置でリアルタイム入力が停止します。

- あるパターン（例えばエンディングのパターン）を演奏した後で、自動的にリアルタイム入力を停止させたいときは、パッドのNextパラメーター（→P58）を"STOP"に設定してください。
- リアルタイム入力で作成されたソングは、ステップ入力したソングと同じように編集できます。詳しくはP61をご参照ください。

ソングをステップ入力する

ここでは、RT-323を停止させた状態で、各種情報（パターン情報、テンポ情報、ベースのトランスポーズ情報など）をソングに入力していくステップ入力について説明します。

●パターン情報をステップ入力する

1つ1つのパターンを演奏順にソングに入力していきます。アレンジを考えながら1曲分のバッキング演奏を仕上げたいときに向いています。

1 ソングモードで、[▲]／[▼]キーまたは[VALUE]ダイアルを使って、空のソングを選択してください。

2 [●REC]キーを押してください。

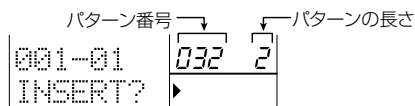
[●REC]キーが点灯し、ソングのステップ入力が行える状態になります。このとき、ディスプレイには現在位置の小節と拍が表示されます。

3 [INSERT]キーを押してディスプレイに“INSERT?”と表示させてください。

ソングに入力するパターンを選択可能になります。

ディスプレイに“End”が表示されているときに、[VALUE]ダイアルを回して、“INSERT?”の表示を呼び出すこともできます。

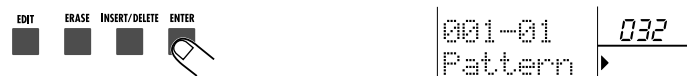
4 [VALUE]ダイアルを使って、パターンの番号（000～399、U00～U99）を選択してください。

パターン番号と該当するパターンの長さ（小節数）が表示されます。

- ユーザーパターンが空の場合は、パターン番号の右隣りに“E”の文字が表示されます。
- 空のユーザーパターンをソングに入力した場合は、ディスプレイに表示されているパターンの小節数だけ無音になります。

5 必要に応じて、[▲]／[▼]キーでパターンの長さを調節してください。

パターンの長さは、1～99の範囲で調節できます。本来のパターンよりも長く設定した場合は、同じパターンを繰り返し再生します。本来のパターンよりも短く設定した場合は、パターンの途中で次のパターンへと切り替わります。

6 選択したパターンを入力するには、[ENTER]キーを押してください。

001-01　032
Pattern

入力したパターンは、[►II]／[■]キーで再生／停止して確認できます。

7 次のパターンを入力するには、[▶]キーを押してください。

入力したパターンの長さだけ現在位置が進みます。

パターンの入力中に[◀]／[▶]キーを押すと、既に記録されたパターン情報の位置に直接移動できます。

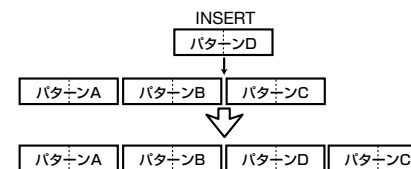
8 以下、手順3～7を繰り返して、1曲分のパターンを指定してください。

なお、入力をミスした場合は、次の方法を使って修正します。

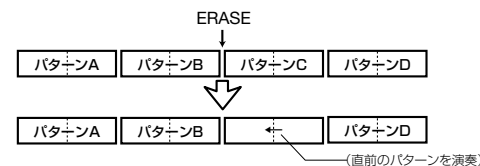
■入力したパターンを選び直すには

[◀]／[▶]キーを使って目的のパターンの位置に移動し、[VALUE]ダイアルを使って新しいパターンを選びます。

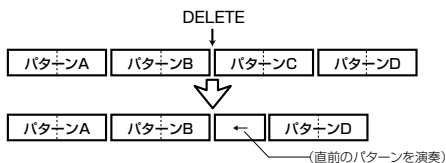
■新しいパターンを挿入するには

[◀]／[▶]キーを使ってパターンを挿入させる位置に移動し、手順3～6を実行します。現在位置にパターンが挿入され、それ以降のパターンが、挿入したパターンの長さだけ後ろにずれます。

■パターン情報を消去するには

[◀]／[▶]キーを使って消去するパターンの位置に移動し、[ERASE]キーを押します。これで、ソングの長さはそのままで、パターン情報のみが消去されます。パターンを消去すると、ディスプレイが“←Pattern”に変わります。この表示は、直前に入力されたパターンをそのまま演奏することを表しています。

活用ガイド【ソング】

NOTE ソングの先頭に記録されているパターン情報を消去した場合は、次にパターン情報が入力されている位置まで、無音で再生されます。

■小節を削除するには

[◀]／[▶]キーを使って削除する小節の先頭に移動し、[DELETE]キーを押してディスプレイに"DELETE?"と表示させ、[ENTER]キーを押します。これで現在の小節がソングから削除され、それ以降のパターンが手前にずれます。なお、2小節のパターンで前半の小節を削除した場合、後半の1小節が残り、ディスプレイが"←Pattern"に変わります。この表示は、直前に入力されたパターンをそのまま演奏することを表しています。必要ならば、同じ手順を繰り返してこの小節も削除してください。

9 1曲分のソングが完成したら、[■]キーを押してください。

[●REC]キーが消灯し、ソングのステップ入力を終了します。入力した内容を確認したいときは、[▶II]キーを押してソングを再生します。

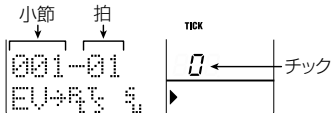
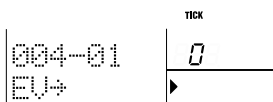
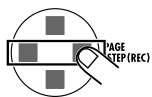
パターンの途中で別のパターンに切り替える

パターンの途中に、別のパターン情報を追加することも可能です。例えば、2小節のパターンの後半を、フィルイン用の1小節パターンに差し替えることができます。

1 ソングモードでソングを選び、[●REC]キーを押してください。

[●REC]キーが点灯し、ソングのステップ入力が行える状態になります。

2 [▲]キーを押してください。

ディスプレイに"EV→"が表示されます。この表示のときは、[◀]／[▶]キーを使って小節単位で現在位置が移動できます。また、"EV→"の右側に表示される"PT"や"TS"などの記号は、現在位置に入力されているイベントの種類を表します（詳しくはP66の表を参照）。

3 [◀]／[▶]キーを使って、パターン情報を入力する小節に移動してください。

4 小節の途中にパターン情報を入力したい場合は、[STEP]キーを押して現在位置を調節してください。

[STEP]キーを押すごとに、現在位置が16分音符（24チック）ずつ進みます。

[STEP]キーを使って反対方向に戻すことはできません。目的の位置を通り過ぎた場合は、[◀]キーを押して小節の先頭に戻し、もう一度[STEP]キーで目的の位置に移動してください。

5 [▼]キーを1回押してください。

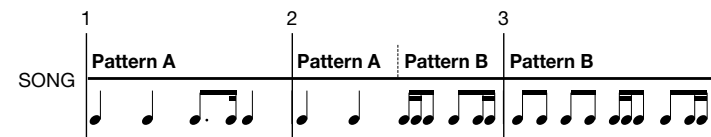
現在の位置にパターン情報を入力できる状態になります。

ディスプレイに"EV→"が表示されていない状態でも、[STEP]キーを押して、現在位置を16分音符（24チック）ずつ進めることができます。この場合、現在のチック数は、[STEP]キーを押している間だけ現れます。

6 [VALUE]ダイアルを使って、入力するパターンを選択してください。

[VALUE]ダイアルを回した直後に、現在位置にパターン情報が入力されます。小節の途中にパターン情報を入力するときは、パターン番号の右隣りに"F"の文字が表示されます。

004-02 033F
Pattern

なお、小節の途中でパターンを切り替えた場合、新規のパターンは先頭から始まるのではなく、パターンを切り替えた途中の位置から始まることにご注意ください。

- ここで入力したパターンは、次のパターン情報が入力されている位置まで繰り返し演奏されます。
- "F"の付いたパターン番号が表示されている状態で[ENTER]キーを押すと、"F"の文字が消えて、該当するパターンが先頭から始まるようになります（この場合、現在位置が新しい小節の先頭になります）。もう一度[ENTER]キーを押せば、"F"の付いたパターンに戻すことができます。

7 操作を終了するには、[■]キーを押してください。

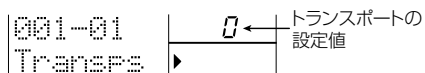
ベーストラックを移調する(トランスポーズ)

ここでは、ソングにトランスポーズ情報を入力して、ベーストラックを移調(トランスポーズ)する方法を説明します。トランスポーズを利用すれば、少ないパターンでさまざまなコード進行に対応できます。

1 ソングモードでソングを選び、[●REC]キーを押してください。

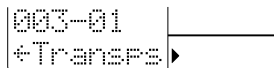
[●REC]キーが点灯し、ソングのステップ入力が行える状態になります。

2 [▲]/[▼]キーを使って、ディスプレイに"Transps"と表示させてください。

入力済みのトランスポーズ情報を変更したり、新たにトランスポーズ情報を入力できる状態になります。現在位置にトランスポーズ情報が入力されていれば、その設定値が表示されます。

パターンを入力した位置には、設定値がゼロのトランスポーズ情報が自動的に入力されます。

3 [◀]/[▶]キーを使って、トランスポーズさせたい小節に移動してください

ディスプレイに"Transps"と表示されているときは、[◀]/[▶]キーを使って小節単位で現在位置を移動できます(または、小節の途中にトランスポーズ情報が入力されていれば、その位置に移動します)。

NOTE

- トランスポーズ情報は、必ずしもパターン情報と同じ位置に入力する必要はありません。パターンに含まれる任意の小節の先頭、もしくは小節の途中にも入力できます。
- トランスポーズ情報が入力されていない位置では、ディスプレイに"←"と表示されます。これは、直前の位置に入力されているトランスポーズ情報が有効になっていることを表します。

4 小節の途中からトランスポーズしたい場合は、[STEP]キーを押して現在位置を調節してください。

[STEP]キーを押すごとに、現在位置が16分音符(24チック)ずつ進みます。

- 現在位置のチック数は、[STEP]キーを押している間だけ表示されます。
- [STEP]キーを使って反対方向に戻すことはできません。目的の位置を通り過ぎた場合は、[◀]キーを押して小節の先頭に戻し、もう一度[STEP]キーを使って目的の位置に移動してください。

5 [VALUE]ダイアルを使って、トランスポーズの値を設定してください。

トランスポーズの値は、半音単位で−12(1オクターブ下)〜0〜12(1オクターブ上)の範囲で設定できます。

入力されたトランスポーズ情報は、次にトランスポーズが変更される位置まで有効です。

6 手順3〜5を繰り返して、他の位置にもトランスポーズ情報を入力してください。

7 操作を終了するには、[■]キーを押してください。

ドラムB/ベーストラックの演奏を差し替える

ソングに入力されたパターンのドラムBトラック/ベーストラックを、別のパターンのドラムトラック/ベーストラックに差し替えることができます。ソングにパターンを入力した後で、フィルインのベースフレーズ(あるいはドラムフレーズ)だけ他のパターンから流用したい、という場合に便利です。

1 ソングモードでソングを選び、[●REC]キーを押してください。

2 [◀]/[▶]キーを使って、ドラムBトラック/ベーストラックを差し替えたいパターンが入力されている位置に移動してください。

3 [▲]/[▼]キーを使って、"├DrBPTN"(ドラムBトラックを差し替えたい場合)または"├BasPTN"(ベーストラックを差し替えたい場合)と表示させてください。

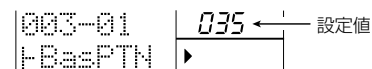
003-01 032
├BasPTN

この表示状態では、[◀]/[▶]キーを使って小節単位で現在位置を移動できます。

4 小節の途中から演奏内容を差し替えたい場合は、[STEP]キーを押して現在位置を調節してください。

[STEP]キーを押すごとに現在位置が16分音符(24チック)ずつ進みます。目的の位置を通り過ぎてしまったら、[◀]キーを押して小節の先頭に戻し、もう一度[STEP]キーを使って目的の位置に移動してください。

5 [VALUE]ダイアルを使って次の中から設定値を選んでください。

003-01 035 ← 設定値
├BasPTN

■ ドラムBトラックを差し替える場合(DrBPTN)

●末尾にAの付いたパターン番号(例:001A、U99A)

該当するパターンのドラムAトラックの演奏内容に差し替えます。

●末尾にbの付いたパターン番号（例：001b、U99b）
該当するパターンに含まれるドラムBトラックの演奏内容に差し替えます。

■ベーストラックを差し替える場合（BasPTN）
●パターン番号（例：001、U99）
該当するパターンに含まれるベーストラックの演奏内容に差し替えます。

ここで差し替えた演奏内容は、次にパターン情報が入力されている位置まで有効となります。
なお、小節の途中でトラックの演奏を切り替えた場合、新規の演奏はパターンの先頭から始まるのではなく、切り替えた途中の位置から始まることに、ご注意ください。

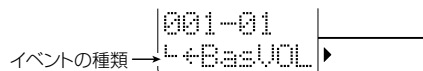
6 **操作を終了するには、[■]キーを押してください。**

各種イベントをステップ入力する

ソングのステップ入力では、パターン情報やトランスポーズ情報だけでなく、トラックごとの音量や音色（ドラムキット／ベースプログラム）などのさまざまな情報を（これをイベントと呼びます）を入力できます。ここでは、新規のイベントを加えたり、既存のイベントの設定値を変更する方法を説明します。

1 **ソングモードでソングを選び、[●REC]キーを押してください。**

2 **[▲]／[▼]キーを使って、次の中から編集したいイベントの種類を選択してください。**

001-01
イベントの種類→ ←BasVOL

編集可能なイベントの種類、設定範囲は次の通りです。

イベントの種類	記号	内容	設定範囲
Pattern		パターン番号	000～399、U00～U99
Transps		ベーストラックのトランスポーズ情報	−12～0～12（半音単位）
Tempo		テンポ情報	40～250（BPM）
DrBPTN		ドラムBトラックの演奏情報	----、000A～399A、U00A～U99A、000b～399b、U00b～U00b
BasPTN		ベーストラックの演奏情報	---、000～399、U00～U99
DrAKIT		ドラムAトラックで使用するドラムキット	00～127
DrBKIT		ドラムBトラックで使用するドラムキット	00～127
BasPRG		ベーストラックで使用するベースプログラム	00～54
DrAVOL		ドラムAトラックの音量	0～15
DrBVOL		ドラムBトラックの音量	0～15
BasVOL		ベーストラックの音量	0～15

・どのイベントでも、入力時の最小単位は16分音符です。
・DrBPTNのイベントを“----”に設定した場合、もしくはBasPTNのイベントを“---”に設定した場合は、別のパターンの演奏情報が選ばれるまで（またはパターン自体が切り替わるまで）、該当するトラックが無音となります。

Patternイベントが選択されているときに[▲]キーを押すと、ディスプレイに“EV→”と表示されます。この表示のときは、小節番号と拍数の右側に現在位置のチック（1拍の1/96）が表示され、現在位置を小節単位または24チック単位で移動できます。
また、現在位置にイベントが入力されているときは、“EV→”の右側にイベントの種類を示す記号が表示されます（前ページの表を参照）。[▼]キーを押すと、Patternイベントの選択状態に戻ります。

3 **[◀]／[▶]キーを使って、イベントを入力したい位置に移動してください。**

現在位置に選択したイベントがあれば、ディスプレイにその設定値が表示されます。現在位置にイベントがない場合は、ディスプレイに“←”が表示されます。これは、最後に入力されたイベントの設定値が有効であることを示しています。

・Patternイベントが表示されているときは、[◀]／[▶]キーを使って、パターン情報が入力されている位置（またはソングの最終位置）に直接移動できます。
・その他のイベントが表示されているときは、[◀]／[▶]キーを使って、小節単位で移動します。ただし、小節の途中に該当するイベントがある場合は、その位置に移動します。

4 **必要に応じて、[STEP]キーで現在位置を調節してください。**

どのイベントが表示されているときでも、[STEP]キーを押すごとに現在位置が16分音符（24チック）ずつ進みます。

・現在位置のチック数は、[STEP]キーを押している間だけディスプレイに表示されます。
・[STEP]キーを押しているときに目的の位置を通り過ぎた場合は、[◀]キーを押して小節の先頭に戻し、もう一度[STEP]キーを押して目的の位置に移動してください。

5 **[VALUE]ダイアルを使って、設定値を入力してください。**

これで現在位置に新しいイベントが入力されます（各イベントの設定範囲は、前ページの表をご参照ください）。

6 **必要なイベントを入力し終わるまで、手順2～5を繰り返してください。**

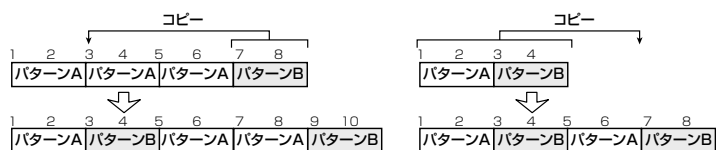
なお、入力されたイベントは、次の方法を使って修正できます。

■**イベントの設定値を変更するには**
[▲]／[▼]キーを使ってイベントの種類を選び、[◀]／[▶]キーと[STEP]キーを使って変更したいイベントの位置まで移動してから、[VALUE]ダイアルを使って設定値を変更します。

■**イベントを消去するには**
[▲]／[▼]キーを使ってイベントの種類を選び、[◀]／[▶]キーと[STEP]キーを使って消去したいイベントの位置まで移動してから、[ERASE]キーを押してください。

7 **イベントの追加／編集を終了するには、[■]キーを押してください。**

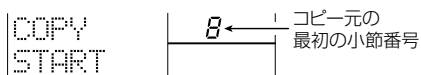
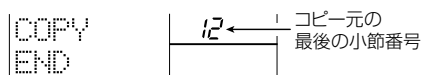
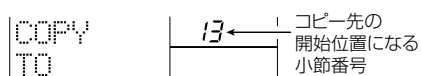
特定の小節の演奏をコピーする

すでにパターンが入力されたソングの一部を、小節単位でコピーして他の位置に挿入します。ソングの一部分を繰り返したい場合などに便利です。

1 ソングモードで[●REC]キーを押してください。

[●REC]キーが点灯します。

2 [EDIT]キーを押してください。

コピー元の最初の小節番号を指定する状態になります。

3 [VALUE]ダイアルを使ってコピー元の最初の小節番号を指定し、[ENTER]キーを押してください。

4 [VALUE]ダイアルを使ってコピー元の最後の小節番号を指定し、[ENTER]キーを押してください。

5 [VALUE]ダイアルを使ってコピー先の開始位置となる小節番号を指定してください。

NOTE コピー先の範囲がソングの終わりからはみ出してしまう場合は、自動的にソングの長さが延長されます。

6 コピーを実行するには[ENTER]キーを押してください。

ソングを消去する

現在選択されているソングを消去して、空の状態にします。

1 ソングモードで、消去したいソングを選択してください。

2 [DELETE]キーを押してください。

ディスプレイに次のように表示されます。

DELETE SURE? 01

3 消去を実行するには[ENTER]キー、消去をキャンセルするには[EXIT]キーを押してください。

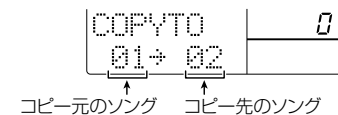
消去を実行すると空のソングが選択された状態でソングモードに戻ります。

NOTE ソングを消去すると、ソングトラックとMIDIトラックの記録内容や、パッドに割り当てられたパターン情報も消去されます。

ソングをコピーする

現在選択されているソングを任意のソングにコピーします。

1 ソングモードでコピー元のソングを選択し、[EDIT]キーを押してください。

2 [◀]／[▶]キーを使ってディスプレイに“COPY?”と表示させ、[ENTER]キーを押してください。

3 [▲]／[▼]キーまたは[VALUE]ダイアルを使って、コピー先のソングの番号を指定してください。

4 コピーを実行するには[ENTER]キー、キャンセルするには[EXIT]キーを押してください。

コピーが実行されると手順1の状態に戻ります。ソングモードに戻るには[EXIT]キーを押してください。

NOTE コピー先のソングの番号にソングが記録されている場合は、コピー元の内容に置き換わります。

ソングトラックの操作

ソングトラックとは、ソングに記録されたパターンとは独立して、パッドの演奏を録音できる予備のトラックのことです。ソングを完成した後で、曲の一部にフィルインを加えたいという場合に便利です。

RT-323のソングには、ドラムA／ドラムB／ベースの3本のソングトラックがあります。各トラックで使用する音色（ドラムキット／ベースプログラム）は、パターンのドラムA／ドラムB／ベーストラックと共通しています。

パターン情報が記録されていない空のソングを選んで、ソングトラックに録音することもできます。また、ソングトラックにのみ録音したソングに対して、後からパターン情報を入力することもできます。

活用ガイド【ソング】

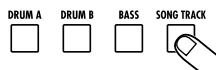
ソング

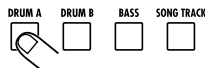
ドラムAソングトラック		♪		♪♪	
ドラムBソングトラック			♪♪♪		
ベースソングトラック					♪♪♪
	パターンA	パターンB	←	パターンC	

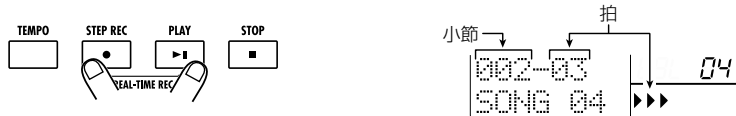
●ソングトラックにドラム／ベースをリアルタイム入力する

ここでは、ソングトラックにドラム／ベースのフレーズをリアルタイム入力する方法を説明します（ソングトラックは、ステップ入力には対応していません）。

1 ソングモードで、ソングが停止した状態で[SONG TRACK]キーを押してください。

[SONG TRACK]キーが点灯します。

2 [DRUM A]／[DRUM B]／[BASS]キーを使って、録音したいソングトラックを選んでください。

選択したキーが点灯し、該当するソングトラックが選択されます。このときパッド1〜13を叩くと、選択したトラックに割り当てられているドラムキット／ベースプログラムの音が鳴ります。

3 [●REC]キーを押しながら[▶II]キーを押してください。

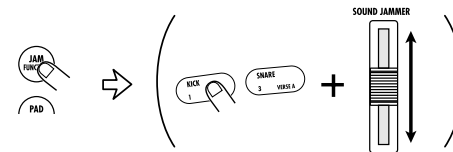
ソングの演奏が始まり、ソングトラックのリアルタイム入力が開始されます。

ソングの途中から録音を開始したい場合は、録音中に[▶II]キーを押し（一時停止）、[VALUE]ダイアルを使って目的の小節に移動してから、[▶II]キーを押して録音を再開させてください。

4 ソングを聴きながら、パッドを叩いてください。

パッドの演奏内容が録音されます。

- RT-323が初期状態のとき、クオンタイズの値は16分音符に設定されていますが、この設定は必要に応じて変更できます（→P72）。
- パッドの代りに、[MIDI IN]端子に接続したMIDIキーボードなどを使って、ドラムA／ドラムB／ベースの各ソングトラックを録音することもできます。
- ソングトラックには、現在選ばれているソングの長さに関係なく、最大999小節まで記録できます。

- ソングトラックに録音した長さがソングの長さを超えた場合は、ソングトラックの終了位置がソングの新たな終了位置となります。この場合、ソングの最後に入力されているパターンが、新たな終了位置までリピート再生されます

5 ソングトラックにJAMスライダーの操作を記録したいときは、[JAM FUNCTION]キーを使って変化させる要素を選び、パッドを押さえながらJAMスライダーを動かしてください。

パッドを押さえながらJAMスライダーを動かせば、ピッチ、音量、パン、音色の変化を記憶させておくことができます（JAMスライダーの詳しい操作方法は→P31）。

6 録音を停止したいときは、[■]キーを押してください。

ソングトラックの録音が終了します（ソングの最後まで到達すると、自動的にソングトラックの録音も終了します）。[▶II]キーを押すと、ソングと一緒にソングトラックに録音された内容が再生されます。

- [MUTE]キーを押しながら[DRUM A]／[DRUM B]／[BASS]キーのいずれかを押して、任意のソングトラックをミュート（消音）できます。また、[MUTE]キーを押しながら[SONG TRACK]キーを押して、ソングトラック全体をミュートすることもできます。同じ操作をもう一度行うと、ミュートが解除されます。
- ソングトラックには、録音済みの演奏内容を消さずに、新しい演奏内容を重ねて録音できます。
- ソングトラックの録音中に、[ERASE]キーを押しながらパッド（または[DRUM A]／[DRUM B]／[BASS]キー）を押せば、その間の該当するパッド（またはソングトラック）の音を消去できます。

7 ソングトラックの選択を解除したいときは、[SONG TRACK]キーを押してください。

[SONG TRACK]キーが消灯します。ただし、[SONG TRACK]キーが消灯した状態でも、ソングを再生すれば、ソングトラックも同時に再生されます。

●ソングトラックを消去する

3本のソングトラック(ドラムA／ドラムB／ベース)ごとに、リアルタイム入力した演奏内容を消去します。

1 ソングトラックを消去するソングを選び、[SONG TRACK]キーを押してください。

[SONG TRACK]キーが点灯します。

2 [ERASE]キーを押し、[DRUM A]／[DRUM B]／[BASS]キーを使って消去したいソングトラックを選んでください。

ERASE
DRUM A?

3 消去を実行するには[ENTER]キー、キャンセルするには[EXIT]キーを押してください。

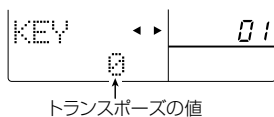
ソングの設定を変える

ここではソング名などのソング固有の設定を変更する方法を説明します。

ソング全体を移調する

ソング全体のベーストラックを半音単位で移調(トランスポーズ)します。この設定は、ベースソングトラックにも反映されます。

1 ソングモードで目的のソングを選び、[EDIT]キーを押してください。

2 [◀]/[▶]キーを使ってディスプレイに"KEY"と表示させてください。

3 [▲]/[▼]キーを使って移調の値を設定してください。
設定範囲は−6〜0〜6(半音単位)です。

4 設定が済んだら[EXIT]キーを押してください。
設定内容が反映されてソングモードに戻ります。

この設定はMIDIトラックのデータには影響しません。
MIDIトラックについてはP91をご参照ください。

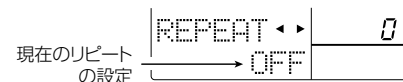
クオンタイズを設定する

ソングトラックに録音するときのクオンタイズを設定します。クオンタイズの設定方法は、ソングモードで[EDIT]キーを押す最初の手順を除けば、パターンモードでのクオンタイズの設定方法と同じです。詳しくはP50をご参照ください。

ソングのリピート再生を設定する

ソングのリピート再生のオン/オフと、リピートさせる範囲を設定します。

1 ソングモードで目的のソングを選び、[EDIT]キーを押してください。

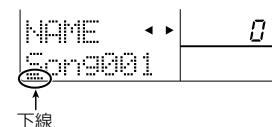
2 [◀]/[▶]キーを使ってディスプレイに"REPEAT"と表示させてください。

3 [▲]/[▼]キーを使って、リピート再生時に折り返し先になる小節番号を設定してください。
OFF(リピート再生=オフ)、または1〜ソングの最終小節番号の範囲で指定できます。1以上に設定した場合、ソングが最終小節まで演奏し終わると、指定した小節番号に折り返します。

4 設定が済んだら[EXIT]キーを押してください。
設定内容が反映されてソングモードに戻ります。

ソング名を変更する

ソングを新たに作成すると、"Songxxx"(xxxにはソングの番号が入ります)というソング名が自動的に付けられます。

1 ソングモードでソング名を変更するソングを選択し、[EDIT]キーを押してください。

2 [◀]/[▶]キーを使って、ディスプレイに"NAME"と表示させてください。
"NAME"の下にソング名と下線が表示されます。

3 [◀]/[▶]キーを使って変更したい文字に下線を移動させ、[▲]/[▼]キーまたは[VALUE]ダイアルを使って文字を選んでください(使用可能な文字は→P36)。

4 ソング名の変更が終わったら、[EXIT]キーを押してください。
ソング名が更新されソングモードに戻ります。

活用ガイド【ソング】

活用ガイド【スマートメディア】

ここでは、スマートメディアを使ったさまざまな活用法を説明します。

スマートメディアをフォーマットする

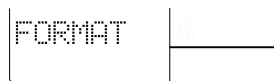
市販のスマートメディアにデータの保存／読み込みを行うには、最初にスマートメディアをフォーマット（初期化）する必要があります。

フォーマット操作を行うと、スマートメディア上にあるデータがすべて消去され、復活できなくなります。

1 スマートメディアをサイドパネルの[DATA CARD]スロットに挿入してください。

スマートメディアの挿入方法は、P5をご参照ください。

2 [UTILITY]キーを押し、[◀]／[▶]キーを使って、ディスプレイに“CARD？”と表示させてください。

3 [ENTER]キーを押し、[◀]／[▶]キーを使って、ディスプレイに“FORMAT”と表示させてください。

ディスプレイに“NOCARD”と表示された場合は、スマートメディアが認識されていません。[DATA CARD]スロットにスマートメディアが正しく挿入されているか、またはスマートメディアの金属部分が汚れていないかを、確認してください。

4 [ENTER]キーを押してください。

ディスプレイに“SURE?”と表示されます。

5 フォーマットを実行するときは[ENTER]キーを、キャンセルするときは[EXIT]キーを押してください。

フォーマットが完了するとディスプレイに“Done”と表示されます。パターン／ソングモードに戻るには、[EXIT]キーを数回押してください。

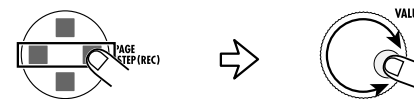
スマートメディアにデータをセーブする

フォーマット済みのスマートメディアに、RT-323全体のデータをファイルとしてセーブ（保存）します。

1 フォーマットされたスマートメディアを、サイドパネルの[DATA CARD]スロットに挿入してください。

2 [UTILITY]キーを押し、[◀]／[▶]キーを使って、ディスプレイに“CARD?”と表示させ、[ENTER]キーを押してください。

3 [◀]／[▶]キーを使って“SAVE”と表示させ、[ENTER]キーを押してください。

4 セーブするファイルに名前を付けたいときは、[◀]／[▶]キーを使って下線を移動し、[VALUE]ダイアルを使って文字を変更してください。

使用可能な文字は次の通りです。

アルファベット：A〜Z
数字：0〜9
記号：! # $ % ' _ [ ] ^ - { }

1枚のスマートメディアに同じファイル名のデータを保存することはできません。

5 [ENTER]キーを押してください。

ディスプレイに“SURE?”と表示されます。なお、同じ名前のファイルがスマートメディアに存在するときは、上書きして記録することを確認する“Over Wr?”が表示されます。

6 セーブを実行するときは[ENTER]キーを、キャンセルするときは[EXIT]キーを押してください。

セーブが完了するとディスプレイに“Done”と表示されます。パターン／ソングモードに戻るには、[EXIT]キーを数回押してください。

・ スマートメディアがアクセス中のときは、ディスプレイに右のマークが表示されます。この間は、RT-323の電源を切ったり、スマートメディアを抜き差しすることは絶対におやめください。データが破損する恐れがあります。

・ データをセーブする時に“CARDFULL”と表示される場合は、スマートメディアの空き容量が足りません。先に不要なファイルを削除してください（→P78）。

スマートメディアからデータをロードする

スマートメディアにセーブされたRT-323のデータをロード（読み込み）します。

1 **RT-323のデータがセーブされたスマートメディアを、サイドパネルの[DATA CARD]スロットに挿入してください。**

2 **[UTILITY]キーを押し、[◀]／[▶]キーを使ってディスプレイに“CARD?”と表示させ、[ENTER]キーを押してください。**

3 **[◀]／[▶]キーを使って、ディスプレイに“LOAD”と表示させ、[ENTER]キーを押してください。**

4 **[▲]／[▼]キーを使ってロードするファイル名を選択し、[ENTER]キーを押してください。**

ディスプレイに“SURE?”と表示されます。

ディスプレイに“ERROR”と表示される場合は、スマートメディアの不良、またはデータの破損が考えられます。再フォーマットを試してみてください。

5 **ロードを実行するときは[ENTER]キーを、キャンセルするときは[EXIT]キーを押してください。**

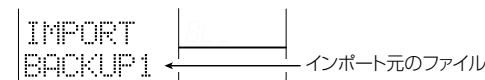
ロードが完了するとディスプレイに“Done”と表示されます。パターン／ソングモードに戻るには、[EXIT]キーを数回押してください。

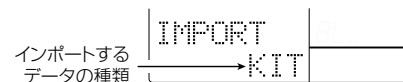
スマートメディアからデータの一部分をインポートする

スマートメディアに保存されている任意のファイルから、ソング情報、ユーザーパターン情報、ユーザードラムキット情報など、一部分のデータのみをRT-323側にインポート（取り込み）します。

1 **RT-323のデータをセーブしたスマートメディアを、サイドパネルの[DATA CARD]スロットに挿入してください。**

2 **[UTILITY]キーを押し、[◀]／[▶]キーを使ってディスプレイに“CARD?”と表示させ、[ENTER]キーを押してください。**

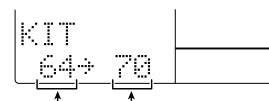
3 **[◀]／[▶]キーを使って、ディスプレイに“IMPORT”と表示させ、[ENTER]キーを押してください。**

4 **[▲]／[▼]キーを使って、インポート元になるファイルを選択し、[ENTER]キーを押してください。**

5 **[◀]／[▶]キーを使って、インポートしたいデータの種類を次の中から選択し、[ENTER]キーを押してください。**

- ●KIT・・・・・・特定のユーザードラムキット
- ●PTN ・・・・・特定のユーザーパターン
- ●SONG ・・・・特定のソング
- ●GLOBAL・・・RT-323全体に関する各種設定

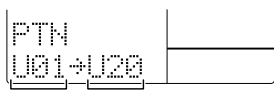
6 **インポートするデータの種類としてKIT／PTN／SONGを選択した場合は、次の操作を行ってください。**

●KITを選択した場合

①[▲]／[▼]キーを使ってインポート元となるユーザードラムキットの番号を選び、[ENTER]キーを押してください。

②[▲]／[▼]キーを使って、インポート先となるユーザードラムキットの番号を選んでください。

●PTNを選択した場合

①[▲]／[▼]キーを使ってインポート元となるユーザーパターンの番号を選び、[ENTER]キーを押してください。

②[▲]／[▼]キーを使って、インポート先となるユーザーパターンの番号を選んでください。

●SONGを選択した場合

①[▲]／[▼]キーを使って、インポート元となるソングの番号を選び、[ENTER]キーを押してください。

②[▲]／[▼]キーを使って、インポート先となるソングの番号を選んでください。

インポート元のソングにユーザーパターンが使用されている場合は、インポートを実行すると該当するユーザーパターンのデータもインポートされます。このとき、ユーザーパターンのインポート先は、自動的に空のユーザーパターンに割り当てられます（ただし空のユーザーパターンがないときは、ユーザーパターン番号のU00から順番に割り当てられます）。

7 [ENTER]キーを押してください。

ディスプレイに"SURE?"と表示されます。

8 インポートを実行するときは[ENTER]キー、キャンセルするときは[EXIT]キーを押してください。

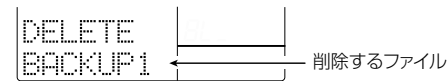
データのインポートが完了するとディスプレイに"Done"と表示されます。パターン／ソングモードに戻るには、[EXIT]キーを数回押してください。

スマートメディアのデータを削除する

スマートメディアにストアしたファイルを個別に削除（デリート）します。スマートメディアに十分な空き容量がないときは、この方法で不要なファイルを削除してください。

1 RT-323のデータをセーブしたスマートメディアを、サイドパネルの[DATA CARD]スロットに挿入してください。

2 [UTILITY]キーを押し、[◀]／[▶]キーを使ってディスプレイに"CARD?"と表示させ、[ENTER]キーを押してください。

3 [◀]／[▶]キーを使って、ディスプレイに"DELETE"と表示させ、[ENTER]キーを押してください。

4 [▲]／[▼]キーを使って削除したいファイルを選択し、[ENTER]キーを押してください。

SURE?

5 削除を実行するときは[ENTER]キー、キャンセルするときは[EXIT]キーを押してください。

削除が完了するとディスプレイに"Done"と表示されます。パターン／ソングモードに戻るには、[EXIT]キーを数回押してください。

PS-02用スマートメディアのインポート／エクスポート

RT-323は、ZOOMパームトップスタジオPS-02のパターンデータと互換性があります。ここでは、PS-02用スマートメディアに記録されたデータの取り込み（インポート）や書き出し（エクスポート）を行う方法を説明します。

PS-02のパターンをRT-323に取り込む（パターンのインポート）

PS-02用のスマートメディアに保存されたパターンデータをRT-323のユーザーパターンに取り込みます。取り込んだパターンは、RT-323内部で加工した後で、再度PS-02用のスマートメディアに書き出すことができます。

1 PS-02の起動用スマートメディアを、サイドパネルの[DATA CARD]スロットに挿入してください。

RT-323側でエディットしたパターンデータをPS-02用スマートメディアに書き出すときに、元のデータが消去されます。このため、PS-02のオリジナルパターンを取っておきたい場合は、最初にPS-02用スマートメディアのバックアップを作成してください（詳しくは、PS-02のオペレーションマニュアルをご参照ください）。

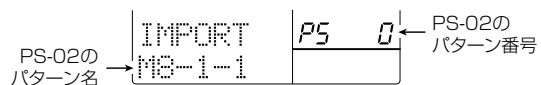
2 [UTILITY]キーを押し、[◀]／[▶]キーを使って、ディスプレイに"PS-02?"と表示させ、[ENTER]キーを押してください。

PS-02?

3 [◀]／[▶]キーを使ってディスプレイに"IMPORT"と表示させ、[ENTER]キーを押してください。

PS-02用のスマートメディアから取り込むパターンを選択できる状態になります。

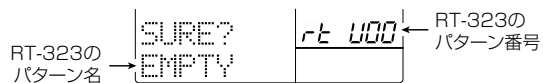
IMPORT　PS 0
M8-1-1

PS-02の
パターン名

PS-02の
パターン番号

4 [▲]／[▼]キーまたは[VALUE]ダイアルを使って、取り込み元となるPS-02のパターンを選び、[ENTER]キーを押してください。

取り込み先となるユーザーパターンが表示されます。

SURE?　rt U00
EMPTY

RT-323の
パターン名

RT-323の
パターン番号

5 [▲]／[▼]キーまたは[VALUE]ダイアルを使って、取り込み先となるRT-323のユーザーパターンを選んでください。

6 取り込みを実行するときは[ENTER]キーを、キャンセルするときは[EXIT]キーを押してください。

取り込みが完了するとディスプレイに“Done”と表示されます。パターン／ソングモードに戻るには、[EXIT]キーを数回押してください。

取り込んだパターンは、通常のパターンと同じように、パターンモードでエディットできます。

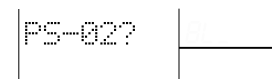
- RT-323に取り込まれたパターンデータの音色（ドラムキット／ベースプログラム）を変更する場合は、必ずPS-02と互換性のあるものを選択してください（詳しくは巻末の資料をご参照ください）。RT-323独自のドラムキット／ベースプログラムに変更してPS-02側にエクスポートすると、PS-02側で正常に再生されない場合があります。
- RT-323に取り込まれたパターンの名前は変更しないでください。パターン名を変更してエクスポートすると、PS-02側でパターン名が正常に表示されない場合があります。
- PS-02のパターンデータに含まれるベースラインは、ルート＝“C”（移調なし）、コード＝“NON”（変換なし）の状態で取り込まれます。
- RT-323側で取り込んだパターンのベーストラックをエディットするときに、ルートやコードの種類が異なるフレーズを入力すると、PS-02側に戻したときに、不適切なベースラインとなる恐れがありますので、ご注意ください。

RT-323のパターンをPS-02用スマートメディアに書き出す（パターンのエクスポート）

PS-02から取り込んだパターンデータをRT-323内部で加工した後で、再度PS-02用のスマートメディアに書き出します。書き出した後は、PS-02の内蔵パターンとして利用できます。

1 PS-02の起動用スマートメディアを、サイドパネルの[DATA CARD]スロットに挿入してください。

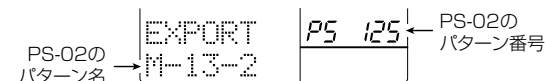
RT-323側でエディットしたパターンデータをPS-02のスマートメディアに書き出すときに、元のデータは消去されます。このため、PS-02のオリジナルパターンを取っておきたい場合は、最初にPS-02用スマートメディアのバックアップを作成してください（詳しくは、PS-02のオペレーションマニュアルをご参照ください）。

2 [UTILITY]キーを押し、[◀]／[▶]キーを使って、ディスプレイに“PS-02?”と表示させ、[ENTER]キーを押してください。

PS-02?

3 [◀]／[▶]キーを使って、ディスプレイに“EXPORT”と表示させ、[ENTER]キーを押してください。

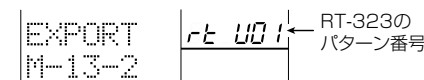
書き出し先となる、スマートメディア上のPS-02のパターンが表示されます。

EXPORT　PS 125
M-13-2

PS-02の
パターン名

PS-02の
パターン番号

書き出されるパターンは、スマートメディア上のパターンに上書きされます。

4 [▲]／[▼]キーまたは[VALUE]ダイアルを使って、書き出し先となるPS-02のパターンを選び、[ENTER]キーを押してください。

書き出しの対象となるRT-323のユーザーパターンが表示されます。

5 [▲]／[▼]キーまたは[VALUE]ダイアルを使って、書き出し元となるRT-323のパターンを選択してください。

6 書き出しを実行するときは[ENTER]キー、キャンセルするときは[EXIT]キーを押してください。

書き出しが完了するとディスプレイに“Done”と表示されます。パターン／ソングモードに戻るには、[EXIT]キーを数回押してください。このスマートメディアを使ってPS-02を起動すれば、書き出したパターンを内蔵パターンとして利用できます。

- 書き出しの対象となるユーザーパターンは、ドラムBトラックの演奏内容がドラムAトラック側に統合された状態でエクスポートされます。
- PS-02の同時発音数は、ドラム＝4ボイス、ベース＝1ボイスです。この同時発音数を越えるパターンを書き出しても、PS-02側では適切に再生されませんのでご注意ください。

活用ガイド【スマートメディア】

活用ガイド【リモートコントロール】

ここでは、[CONTROL IN]端子に別売のフットペダルやフットスイッチを接続して、RT-323をリモートコントロールする方法について説明します。

フットペダル（FP01／FP02）でRT-323をコントロールする

リアパネルの[CONTROL IN]端子に別売のフットペダル（FP01／FP02）を接続すれば、JAMスライダーの代りにFP01／FP02を使って、現在押しているパッドのピッチや音色をコントロールできます。

1 FP01／FP02をリアパネルの[CONTROL IN]端子に接続してください。

接続方法は、P6をご参照ください。

FP01／FP02を[CONTROL IN 1]または[CONTROL IN 2]端子のどちらに接続した場合でも、機能は同じです。

2 [UTILITY]キーを押し、[◀]／[▶]キーを使ってディスプレイに“CTRLIN”と表示させてください。

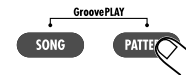
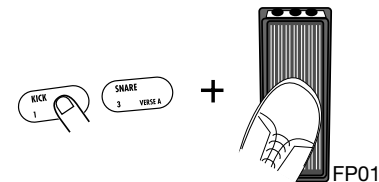
CTRLIN

3 FP01／FP02を動かしてください。

RT-323がFP01／FP02を検出し、フットペダルでコントロール可能な要素（パラメーター）がディスプレイに表示されます。

4 [JAM FUNCTION]キーを使って、変化させるパラメーターを選択してください。

“PITCH”（ピッチ）“VOLUME”（ボリューム）“PAN”（パン）、“SOUND CHANGE”（パッドの音色切り替え）が選択できます。

5 [PATTERN]キーを押して、パターンモードに戻ってください。

6 パッドを叩きながらFP01／FP02を動かしてください。

JAMスライダーを操作したときと同じ効果が得られます。

フットスイッチ（FS01）でRT-323をコントロールする

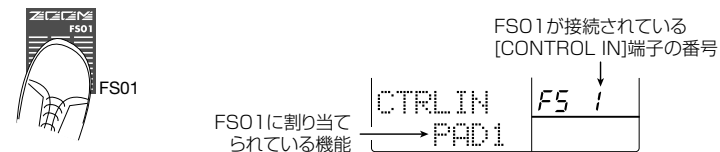
リアパネルの[CONTROL IN]端子に別売のフットスイッチ（FS01）を接続すれば、特定のパッドをフットスイッチで鳴らしたり、ソングやパターンの再生／停止をフットスイッチでコントロールできます。

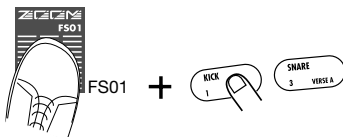
1 FS01をリアパネルの[CONTROL IN]端子に接続してください。

接続方法はP6をご参照ください。

FS01を[CONTROL IN 1]または[CONTROL IN 2]端子のどちらに接続した場合でも、機能は同じです。

2 [UTILITY]キーを押し、[◀]／[▶]キーを使ってディスプレイに“CTRLIN”と表示させてください。

3 FS01を踏み込んでください。

RT-323がFS01を検出し、FS01に現在割り当てられている機能がディスプレイに表示されます。

4 FS01を踏みながらキー／パッドを押して、割り当てる機能を選んでください。

FS01を踏みながらどのキー／パッドを押したかによって、FS01でコントロールする機能が決定されます。選択可能な機能と、その機能を割り当てるための操作方法は、次の通りです。

FS01を踏む ＋ RT-323の操作	機能	ディスプレイ
パッド1～13のいずれか1つを押す	パターンモードでFS01を踏むと、指定したパッドが発音します	PADxx（xx＝パッド番号）
異なるパッドを2回押す	最初に選んだパッドの音色をFS01で切り替えることができます。 FS01を踏んだ状態では最初に選んだパッド、FS01を離した状態では2番目に選んだパッドの音色を演奏できます（例えば、ひとつのパッドでハイハットのクローズとオープンの音色をFS01で切り替えることができます）。	PADxx→yy（xx,yy＝パッド番号）
[■]キーを押す	パターンモード／ソングモードでFS01を踏むたびに[再生開始]→[停止]→[先頭から再生]を繰り返します	START
[►II]キーを押す	パターンモード／ソングモードでFS01を踏むたびに、[再生開始]→[一時停止]→[停止位置から再生]を繰り返します	CONTINUE
[DRUM A]／[DRUM B]／[BASS]のいずれかのキーを押す	パターンモード／ソングモードでFS01を踏むたびに、指定したトラックのミュートのオン／オフが切り替わります	MUTE xxx（xxx=DrA, DrB, Bas）
[TEMPO]キーを押す	パターンモード／ソングモードでFS01を繰り返し踏むことで、テンポの指定が行えます（タップテンポ機能）	TAP
[REPEAT]キーを押す	パターンモードでFS01を踏みながらパッドを押すと、そのパッドの音が連打音になります	REPEAT

5 [PATTERN]キー／[SONG]キーを押して、パターンモード／ソングモードに戻ってください。

6 FS01を操作してください。

操作4で選んだ機能に応じて、FS01を使って特定のパッドの音色を鳴らしたり、スタート／ストップのリモートコントロールが行えます。

活用ガイド【MIDI】

ここでは、RT-323のMIDIに関する各種設定と、MIDIトラックの操作方法について説明します。

MIDIを使ってできること

RT-323ではMIDIを使って次のことが行えます。

●ノート情報の送受信

パッドを叩いたときにノート情報を送信したり、ノート情報を受信して外部からRT-323のドラムキットやベースプログラムを鳴らすことができます。

●コントロールチェンジ情報の送受信

JAMスライダーを操作したときにコントロールチェンジ情報を送信します。また、コントロールチェンジを受信してJAMスライダーと同等の効果を得たり、トラックごとの音量やピッチをコントロールすることができます。

●プログラムチェンジ情報の送受信

ドラムキット／ベースプログラムを切り替えたときにプログラムチェンジ情報を送信したり、プログラムチェンジ情報を受信して外部からドラムキット／ベースプログラムを切り替えることができます。

●同期用MIDIメッセージの送受信

MIDIクロック、スタート、ストップなどの同期用のMIDIメッセージを送受信して、MIDIシーケンサーやリズムマシンなどの外部機器とRT-323を同期演奏させることができます。

●バルクダンプを使った内部データの保存

RT-323の内部データや各種の設定情報を、MIDIメッセージに置き換えて送信し、MIDIシーケンサーなどの外部機器に記録できます。記録されたデータをRT-323側に送りなおせば、記録時の内部データをいつでも再現できます。

●MIDIトラックを使った演奏内容の録音

RT-323には、受信したMIDIメッセージをリアルタイムで記録するMIDIトラックが装備されています。ソングの伴奏に合わせてMIDIシンセサイザーの演奏を録音したい場合に便利です。

MIDIの設定を変更する

基本操作

MIDIの設定を変更するときの操作手順は、ほとんどが共通しています。基本的な操作手順は次の通りです。

1 [UTILITY]キーを押し、[◀]／[▶]キーを使って、ディスプレイに“MIDI?”と表示させてください。

2 [ENTER]キーを押し、[◀]／[▶]キーを使って、次の中から設定したい項目を選んでください。

MIDIch･････････････ドラムA／ドラムB／ベーストラックごとの送受信MIDIチャンネルを設定します。
CTRL･････････････コントロールチェンジ情報を送信するかどうかを設定します。
PRG･････････････プログラムチェンジ情報を送信するかどうかを設定します。
SYNC･･･････････同期用MIDIメッセージ(MIDIクロックなど)の送信／受信を設定します。
MIDI TR･････････MIDIトラックに記録したデータをMIDI出力させるかどうかを設定します。
MIDI PC DRUM･･･ドラムキット(00〜127)にプログラムチェンジナンバーを割り当てます。
MIDI PC BAS･･･ベースプログラム(00〜54)にプログラムチェンジナンバーを割り当てます。

3 **希望する項目が表示されたら、[▲]／[▼]キーや[VALUE]ダイアルなどを使って設定を変更してください。**

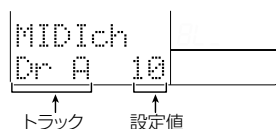
操作方法については、各項目の説明をご参照ください。

4 **設定が終わったら、[EXIT]キーを押してください。**

手順1の状態に戻ります。パターン／ソングモードに戻るには、この後で[PATTERN]／[SONG]キーを押します。

トラックごとのMIDIチャンネルを設定する(MIDIch)

ドラムA、ドラムB、ベースの各トラックの送受信MIDIチャンネルを設定します。
ディスプレイに“MIDIch”と表示されているときに、[▲]／[▼]キーを使って、MIDIチャンネルを設定するトラックを選択し、[VALUE]ダイアルを使って、次の中から設定を選びます。

- 1〜16･････MIDIチャンネル1〜16(初期設定：DRUM A＝10、DRUM B＝11、BASS＝9)
- OFF･･･････送受信オフ

ノート情報、コントロールチェンジ情報、プログラムチェンジ情報などのMIDIメッセージは、ここで設定したMIDIチャンネルに従って送受信されます。

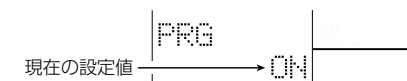
コントロールチェンジの送信を設定する(CTRL)

RT-323がコントロールチェンジを送信するかどうかを設定します。ディスプレイに“CTRL”と表示されているときに、[▲]／[▼]キーまたは[VALUE]ダイアルを使って“ON”(送信オン：初期設定)または“OFF”(送信オフ)を選びます。

コントロールチェンジの送信がオンのときは、JAMスライダーを操作したときにコントロールチェンジ情報が[MIDI OUT]端子から出力されます。

コントロールチェンジの受信は常にオンです。この設定がオフの場合でも、外部機器からコントロールチェンジ情報を[MIDI IN]端子に送ってJAMスライダーと同等の効果をコントロールしたり、トラックごとの音量やピッチを変化させることができます(送受信可能なコントロールチェンジについては、巻末の資料をご参照ください)。

プログラムチェンジの送信を設定する(PRG)

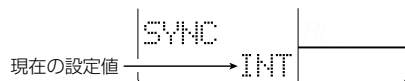
RT-323がプログラムチェンジを送信するかどうかを設定します。ディスプレイに“PRG”と表示されているときに、[▲]／[▼]キーまたは[VALUE]ダイアルを使って“ON”(送信オン：初期設定)または“OFF”(送信オフ)を選びます。

プログラムチェンジの送信がオンのときは、RT-323側でドラムキット／ベースプログラムを切り替えると、該当するプログラムチェンジ情報が[MIDI OUT]端子から出力されます。

- プログラムチェンジの受信は、常にオンです。この設定がオフの場合でも、外部機器からプログラムチェンジを[MIDI IN]端子に送って、任意のトラックの音色(ドラムキット／ベースプログラム)を切り替えることができます。
- 工場出荷時には、ドラムキット／ベースプログラムごとにプログラムチェンジナンバーが割り当てられています。プログラムチェンジナンバーの割り当ては、必要に応じて変更することもできます(→P89)。

同期用MIDIメッセージの送受信を設定する(SYNC)

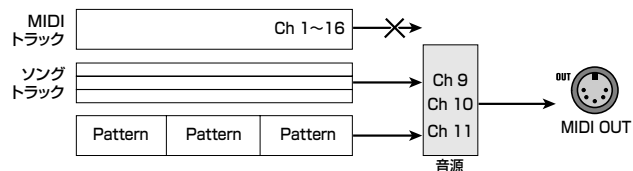
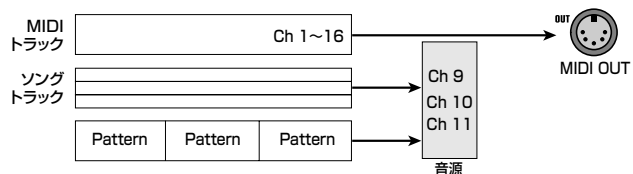
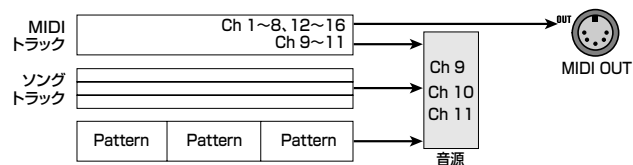
同期用のMIDIメッセージ(MIDIクロック、スタート、ストップなど)の送信／受信を選択します。ディスプレイに“SYNC”と表示されているときに、[▲]／[▼]キーまたは[VALUE]ダイアルを使って次の中から設定を選びます。

- INT･･･････RT-323を再生したときに、同期用MIDIメッセージを送信します(初期設定)。RT-323のテンポに合わせてMIDIシーケンサーを同期演奏させたいときに、この設定を選びます。

・MIDI ・・・・・・外部のMIDI機器からの同期用MIDIメッセージを受信したときに、RT-323が追従します。MIDIシーケンサー側のテンポに合わせてRT-323を同期演奏させたいときに、この設定を選びます。

"MIDI"に設定した場合、[MIDI IN]端子から同期用MIDIメッセージを受信しない限り、RT-323のパターンやソングを演奏できなくなりますので、ご注意ください。

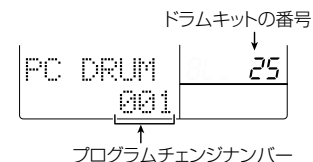
MIDIトラックのMIDI出力を有効にする(MIDI TR)

MIDIトラックに記録したデータを[MIDI OUT]端子から出力させる方法を設定します(MIDIトラックについては→P91)。ディスプレイに"MIDI TR"と表示されているときに、[▲]/[▼]キーを使って次の中から設定を選びます。

NO OUT ・・・・MIDIトラックに記録されたデータは、[MIDI OUT]端子や内蔵音源には一切送られません(初期設定)

OUT ・・・・・・・・MIDIトラックに記録されたデータは、[MIDI OUT]端子にのみ送られます。

EX OUT ・・・・・MIDIトラックに記録されたデータのうち、MIDIチャンネルが内蔵音源と一致しているものは内蔵音源に、それ以外は[MIDI OUT]端子に送られます。

"THRU"または"EX THRU"に設定すると、パッドを叩いたりパターンを演奏した時の各種MIDIメッセージが[MIDI OUT]端子から出力されなくなります。

ドラムキットのプログラムチェンジを変更する(PC DRUM)

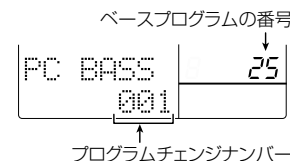
RT-323の工場出荷時に割り当てられている、ドラムキットごとのプログラムチェンジナンバーを変更します。

ディスプレイに"PC DRUM"と表示されている状態で、[VALUE]ダイアルを使ってドラムキットの番号(00~127)、[▲]/[▼]キーを使って割り当てるプログラムチェンジナンバー(001~128)を設定します。

必要な設定が終わったら[EXIT]キーを押してください。

工場出荷時の設定については巻末の資料をご参照ください。

ベースプログラムのプログラムチェンジを変更する(PC BASS)

RT-323の工場出荷時に割り当てられている、ベースプログラムごとのプログラムチェンジナンバーを変更します。

ディスプレイに"MIDI PC BASS"と表示されている状態で[ENTER]キーを押し、[VALUE]ダイアルを使ってベースプログラムの番号(00~54)、[▲]/[▼]キーを使って割り当てるプログラムチェンジナンバー(001~128)を設定します。

必要な設定が終わったら[EXIT]キーを押してください。

工場出荷時の設定については巻末の資料をご参照ください。

RT-323の内部データをMIDI機器に記録する

RT-323内部のデータや各種の設定情報を、MIDIメッセージに置き換えて[MIDI OUT]端子から出力します（バルクダンプ）。この機能を利用すれば、RT-323全体または一部のデータを、MIDIシーケンサーなどの外部機器に保存しておくことができます。

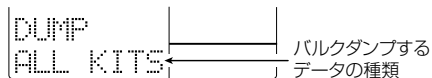
バルクダンプを行うときは、あらかじめRT-323の[MIDI OUT]端子と外部MIDI機器のMIDI IN端子を接続してください。

1 **[UTILITY]キーを押し、[◀]／[▶]キーを使ってディスプレイに“MIDI?”と表示させて[ENTER]キーを押してください。**

2 **[◀]／[▶]キーを使ってディスプレイに“DUMP”と表示させて、[ENTER]キーを押してください。**

3 **[◀]／[▶]キーを使って次の中からバルクダンプするデータの種類を選び、[ENTER]キーを押してください。**

・SEQUENCE‥‥ユーザーパターンとソングのデータ
・SYSTEM‥‥‥RT-323全体に関する各種設定。
・ALL KITS‥‥‥ユーザードラムキットすべて

DUMP
ALL KITS
バルクダンプするデータの種類

4 **[ENTER]キーを押してください。**

ディスプレイに“SURE?”という確認画面が表示されます。ここで、外部MIDI機器側でMIDIメッセージを記録できる状態にしてください。

5 **バルクダンプを実行するには[ENTER]キーを、キャンセルしたいときは[EXIT]キーを押してください。**

バルクダンプ実行中はディスプレイに“TX”と表示されます。

6 **バルクダンプが完了したら[EXIT]キーを押してください。**

手順1の状態に戻ります。

外部MIDI機器に記録した設定データをRT-323に戻すには、外部MIDI機器のMIDI OUT端子とRT-323の[MIDI IN]端子を接続し、RT-323が停止した状態で、外部MIDI機器から記録されたデータを送信してください（RT-323側の特別な操作は不要です）。

外部MIDI機器に記録した設定データをRT-323に送ると、RT-323の内部データが置き換わります。このとき、大切なパターンやソングを誤って消してしまわないように注意してください。

MIDIトラックの操作

RT-323には、外部MIDIキーボードなどから出力されるMIDIメッセージをリアルタイムで記録する“MIDIトラック”が搭載されており、既存のソングと連動して記録／再生が行えます。記録できるMIDIメッセージの種類は次の通りです。

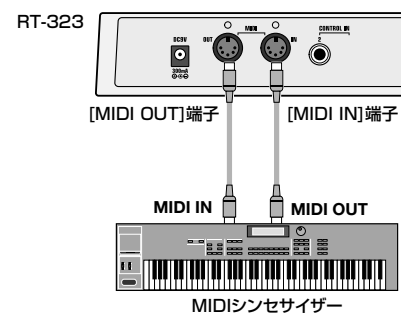
・ノートデータ（ノートオン／オフ、ベロシティ）
・ピッチベンド
・プログラムチェンジ
・コントロールチェンジ
・ポリフォニックキープレッシャー
・チャンネルプレッシャー

なお、これらのメッセージは、受信時のMIDIチャンネル（1〜16）のまま記録／再生されます。

ドラムA／ドラムB／ベーストラックに設定されている送受信チャンネルには、記録できませんのでご注意ください。これらのMIDIチャンネルに記録したい場合は、該当するトラックの送受信チャンネルをOFFに設定してください（→P86）。

●MIDIトラックに録音する

ここでは、MIDIシンセサイザーの演奏をMIDIトラックに記録する場合を例に挙げて、操作方法を説明します。

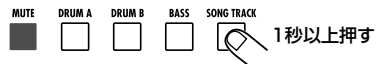
1 **RT-323とMIDIシンセサイザーを次の図のように接続してください。**

NOTE

RT-323の[MIDI IN]端子に入力されたMIDIメッセージは、[MIDI OUT]端子からはスルー出力されません。このため、MIDIシンセサイザー側は、必ずローカル＝オンに設定してください。

2 **[UTILITY]キーを押し、“MIDI TR”の項目を使ってMIDIトラックのMIDI出力を有効にしてください（設定方法は→P88）。**

3 RT-323をソングモードに切り替えてソングを選んでください。

パターン情報が記録されていない空のソングを選んで、MIDIトラックにMIDIメッセージを記録することもできます。また、このようなMIDIトラックにのみ記録したソングに対して、後からパターン情報を入力することもできます。

4 [SONG TRACK]キーを1秒以上押し続けてください。

[SONG TRACK]キーが点灯して、MIDIトラックが記録可能な状態になります。MIDIトラックの録音、停止、再生方法はソングトラックと共通です。詳しくはP69をご参照ください。

MIDIトラックが記録可能なときは、パッドを叩いても音は鳴りません。

- MIDIトラックには、常にクオンタイズなし（最小単位の音符＝1チック）の状態で記録されます。
- MIDIトラックにもう一度記録すると、記録済みのデータは消去されずに新しいMIDIデータがオーバーダビングされます。このため、MIDIシンセサイザーがマルチティンバーに対応していれば、シンセサイザー側の送信MIDIチャンネルを変えて、別の音色を使った演奏を重ねて記録できます。

5 MIDIトラックのデータを消去したいときは、[ERASE]キーを押しながら[SONG TRACK]キーを押し、続いて[ENTER]キーを押してください。

[ERASE]キーを押しながら[SONG TRACK]キーを押すと、ディスプレイに"EARASE MIDI?"と表示されます。この状態で[ENTER]キーを押すと、MIDIトラックのすべてのデータが消去されます。

6 MIDIトラックの記録可能な状態を解除するには、[SONG TRACK]キーを押してください。

[SONG TRACK]キーが消灯します。この場合でも、ソングを再生すれば、MIDIトラックも同時に再生されます。

- MIDIトラックに記録されたデータは、ソングの一部として本体内に保存されます。
- MIDIトラックには、現在選ばれているソングの長さに関係なく、最大999小節まで記録できます。
- MIDIトラックに記録した長さがソングの長さを超えた場合は、MIDIトラックの終了位置がソングの新たな終了位置となります。この場合、ソングの最後に入力されているパターンが、新たな終了位置までリピート再生されます。

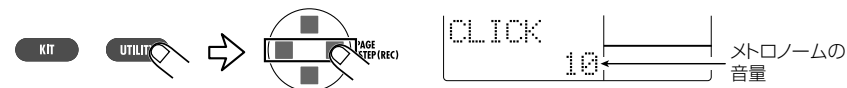
活用ガイド【その他】

ここでは、メトロノームの設定方法、RT-323を工場出荷時の状態に戻す方法など、ここまでの活用ガイドで説明されていない機能について、説明します。

メトロノームの操作

メトロノームの音量を調節する

パターンをリアルタイム入力するときに使用する、メトロノームの音量を調節します。

1 [UTILITY]キーを押し、[◀]／[▶]キーを使ってディスプレイに "CLICK" と表示させてください。

2 [▲]／[▼]キーまたは[VALUE]ダイアルを使って、メトロノームの音量（1～15）を設定してください。

工場出荷時では、10に設定されています。

3 設定を終えてパターン／ソングモードに戻るには、[PATTERN]／[SONG]キーを押してください。

前カウントを設定する

RT-323が初期状態のとき、パターンのリアルタイム入力を開始する前に、メトロノーム（前カウント）が1小節鳴ります。この前カウントは、小節数を変更したり、オフにすることができます。

1 [UTILITY]キーを押し、[◀]／[▶]キーを使ってディスプレイに "COUNT" と表示させてください。

2 [▲]／[▼]キーまたは[VALUE]キーを使って、次の中から設定値を選んでください。

OFF‥‥前カウントがオフになり、録音操作を行うのと同時に録音が開始されます。

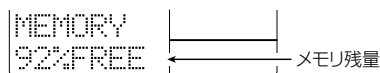
1 ······録音を開始する前に、1小節の前カウントが鳴ります(初期設定)。
2 ······録音を開始する前に、2小節の前カウントが鳴ります。
PAD ···前カウントがオフになり、パッドを叩くのと同時に録音が開始されます。

3 **設定を終えてパターンモードに戻るには、[PATTERN]キーを押してください。**

その他の特殊機能

メモリの残量を確認する

RT-323本体のメモリ残量を表示します。

1 **[UTILITY]キーを押し、[◀]/[▶]キーを使ってディスプレイに"MEMORY"と表示させてください。**

現在のRT-323のメモリ残量が、パーセント単位で表示されます。この項目は表示のみで、変更はできません。

2 **パターン/ソングモードに戻るには、[PATTERN]/[SONG]キーを押してください。**

工場出荷時の設定に戻す

RT-323に記録されているデータを初期化(イニシャライズ)して、工場出荷時の状態に戻します。

1 **[●REC]キーを押したまま、RT-323の電源を入れてください。**
ディスプレイに次のように表示され、自動的にイニシャライズが実行されます。

イニシャライズを実行すると、RT-323が再起動します。

イニシャライズを実行すると、ユーザーパターンやソングの内容は消去されてしまいますので、ご注意ください。

故障かな?と思われる前に

RT-323の動作がおかしいと感じられたときは、まず次の項目を確認してください。

■ 電源が入らない

・ 適切なACアダプター、電池を使用していることを確認してください。

■ 音がでない、もしくは非常に小さい

・ RT-323と再生装置との接続が適切かどうかを確認してください。
・ RT-323の音量が上がっていることを確認してください。

■ パッドを叩いても音が鳴らない、もしくは非常に小さい

・ [UTILITY]キーを押して"SENS"の項目を呼び出し、"SOFT"または"EX HARD"以外の設定値に変えてみてください。

■ "FULL"と表示されユーザーパターン/ソングに録音できない

・ RT-323本体の空きメモリーが不足しています。不要なユーザーパターンやソングを消去してください。

■ [▶II]キーを押してもソング/パターンが再生されない

・ [UTILITY]キーを押して"SYNC"の項目を呼び出し、設定値が"INT"になっていることを確認してください。

■ JAMスライダーの効果がない

・ ソングモードではJAMスライダーの効果はありません。パターンモードまたはグループプレイモードに切り替えてください。

■ [MIDI OUT]端子からMIDIデータが出力されない

・ [UTILITY]キーを押して"MIDI TR"の項目を呼び出し、設定値が"NO OUT"になっていることを確認してください。
・ [UTILITY]キーを押して"CTRL"/"PRG"の項目を呼び出し、設定値が"ON"になっていることを確認してください。

■ FP01/FS01の効果がない

・ FP01/FS01に機能が正しく割り当てられていない可能性があります。機能を割り当てるときは、必ずFS01を踏みながら(またはFP01を動かした後で)行ってください。

■ スマートメディアにデータが保存できない

・ 購入したばかりのスマートメディアを使うには、最初にフォーマットする必要があります(→P74)。
・ "NOCARD" と表示されるときは、スマートメディアが認識できません。スマートメディアが[DATA CARD]スロットに適切に挿入されていることを確認してください。
・ "WRITE PROTECT"と表示されるときは、スマートメディアに書き込み保護がされています。書き込み保護用のシールを外すか他のスマートメディアをご使用ください。
・ "CARD FULL"と表示されるときは、スマートメディアの空きメモリーが不足しています。不要なファイルを削除する(→P78)か、他のスマートメディアをご使用ください。

資料

RT-323製品仕様

サンプリング周波数	：48kHz
D/A変換	：24ビット8倍オーバーサンプリング
同時発音数	：30ボイス
分解能	：96クロック／4分音符
テンポ	：40．0～250．0
録音可能ノート/イベント数	：40000音
ドラム音色	：377
ベース音色	：55
ドラムキット	：128（プリセット64　ユーザー64）
リズムパターン	：500パターン（プリセット400　ユーザー100）
ソング	：100
PAD	：13PAD（ベロシティーセンサ付）

表示
　ディスプレイ　：640セグメントカスタムLCD

外部端子
　コントロール　：FP-01、FP-02／FS-01入力　×2
　MIDI　：IN, OUT

入出力
　LINE IN　：モノラル　標準フォーンジャック
　入力インピーダンス　10kΩ
　定格入力レベル　－10dBm
　OUTPUT　：ラインアウト（L／MONO）　標準フォーンジャック
　ラインアウト（R）　標準フォーンジャック
　SUBアウト1　標準フォーンジャック
　SUBアウト2　標準フォーンジャック
　出力インピーダンス　1kΩ以下
　定格出力レベル　－10dBm

ヘッドフォーン　ミニステレオフォーンジャック
50mW（32Ω負荷時）

メモリーカード
　SmartMedia　：SSFDC　4MB～128MB　3.3V

外形寸法　：265(W)×175(D)×55(H)
　重量　：870ｇ

　電源　：DC9V300mA　ACアダプター　AD－0006
　電池　単3×6　電池連続使用　7時間以上

付属品　：取扱説明書　ACアダプター

Drum Kit List

※PC#は必要に応じて変更することが可能です。

※工場出荷時USER KIT64～115にはLiveRockが入っています。
※ USER KIT116～127はPS-02互換キットです。

PRESET KIT	No.	PC#	表示	キット名
BASIC KITS	0	2	LiveRock	Live Rock
	1	3	StudioDr	Studio Drums
	2	4	Standard	Standard Kit
	3	5	FunkTrap	Funk Trap
	4	6	EpicRock	Epic Rock
	5	7	Ballad	Ballad Set
	6	9	Dance	Dance Kit
	7	10	Hiphop	Rap/Hiphop
	8	11	Techno	Techno Beat
	9	0	Drum#9	Drum#9
	10	12	GenePerc	General Percussion
	11	13	EnhPower	Enhanced Power
	12	14	Dist	DISTORTION
LIVE ROCK	13	15	Live 1	Live Rock 1
	14	17	Live 2	Live Rock 2
	15	18	Live 3	Live Rock 3
STUDIO DRUMS	16	19	Studio1	Studio Drums 1
	17	20	Studio2	Studio Drums 2
	18	21	Studio3	Studio Drums 3
STANDARD KIT	19	22	Standrd1	Standard Kit 1
	20	23	Standrd2	Standard Kit 2
	21	26	Standrd3	Standard Kit 3
FUNK TRAP	22	27	Funk 1	Funk Trap 1
	23	28	Funk 2	Funk Trap 2
	24	29	Funk 3	Funk Trap 3
EPIC ROCK	25	30	Epic 1	Epic Rock 1
	26	31	Epic 2	Epic Rock 2
	27	33	Epic 3	Epic Rock 3
BALLAD SET	28	34	Ballad 1	Ballad Set 1
	29	35	Ballad 2	Ballad Set 2
	30	36	Ballad 3	Ballad Set 3
DANCE KIT	31	37	Dance 1	Dance Kit 1
	32	38	Dance 2	Dance Kit 2
	33	39	Dance 3	Dance Kit 3
RAP/HIPHOP	34	41	HipHop 1	Rap/Hiphop 1
	35	42	HipHop 2	Rap/Hiphop 2
	36	43	HipHop 3	Rap/Hiphop 3
TECHNO BEAT	37	44	Techno 1	TechnoBeat 1
	38	45	Techno 2	TechnoBeat 2
	39	46	Techno 3	TechnoBeat 3
GENERAL DRUMS	40	8	General1	General Kit 1
	41	32	General2	General Kit 2
	42	1	General3	General Kit 3
	43	47	General4	General Kit 4
	44	16	General5	General Kit 5
	45	40	General6	General Kit 6
	46	49	General7	General Kit 7
	47	25	General8	General Kit 8
	48	24	General9	General Kit 9
PERCUSSION/ SFX	49	50	DrumSkin	DRUM SKINS
	50	51	Indian	Indian Percussion
	51	52	Gamelan	Agogo Gamelan
	52	53	Clk&Stk	Clicks and Sticks
	53	54	SnglPerc	Single Percussion
	54	48	Orchestr	Orchestral Set
	55	55	Cymbals	CymbalSet
	56	63	LoPercus	Lo Percussion
	57	57	HiPercus	Hi Percussion
	58	58	VariPer1	Various Percussion 1
	59	59	VariPer2	Various Percussion 2
	60	60	VariPer3	Various Percussion 3
	61	61	VariPer4	Various Percussion 4
	62	62	VariPer5	Various Percussion 5
	63	56	SFX Kit	SFX Kit

USER KIT	No.	PC#	表示	キット名
	64 ～ 115	64 ～ 115	Default	Default
PS-02 COMPATIBLE	116	116	PsStndrd	PS-02 STANDARD
	117	117	PsRock	PS-02 ROCK
	118	118	PsJazz	PS-02 JAZZ
	119	119	PsAnalg1	PS-02 ANALOG 1
	120	120	PsPower	PS-02 POWER
	121	121	PsFunk1	PS-02 FUNK 1
	122	122	PsScrtch	PS-02 SCRATCH
	123	123	PsAnalg2	PS-02 ANALOG 2
	124	124	PsDist	PS-02 DISTORTION
	125	125	PsElectr	PS-02 ELECTRONIC
	126	126	PsBrush	PS-02 BRUSH
	127	127	PsFunk2	PS-02 FUNK 2

Bass Program List

No.	PC#	表示	プログラム名
0	0, 63, 118	LiveBass	Live Bass
1	1, 34, 64, 119	StudioBS	Studio Bass
2	2, 65, 120	EpicBass	Epic Bass
3	3, 66, 121	FunkBass	Funk Bass
4	4, 67,122	BalladBS	Ballad Bass
5	5, 32, 123	AcostcBS	Acoustic Bass
6	6, 69, 124	ModernBS	Modern Bass
7	7, 38, 70	Synth BS	Synth Bass
8	8, 39, 71 126	TechnoBS	Techno Bass
9	9, 72, 127	BigBtmBS	Big Bottom Bass
10	10, 37, 73	SubSlpBS	SubSlap Bass
11	11, 74	DigiAcBS	Digital Acoustic
12	12, 75	BSHrmnic	Bass Harmonics
13	13, 35, 76	No Frets	No Frets
14	14, 77	Aco Jazz	Acoustic Jazz
15	15, 78	DigiPick	Digital Pick
16	16, 79	TechAnlg	TechnoAnalog
17	17, 80	Tabla BS	Tabla Bass Tones
18	18, 81	TightAna	Tight Analog
19	19, 82	Analog5#	Analog Fifths
20	20, 83	TempleTN	Temple Tones
21	21, 84	QuadraBS	Quadra Bass
22	22, 85	AnaTouch	Analog Touch
23	23, 86	Pick Aco	Picked Acoustic
24	24, 87	BassDive	Bass Dive
25	25, 88	AnaOctav	AnalogOctaves
26	26, 89	SynTomBS	SynthTom Bass
27	27, 90	Lo Sine	Lo Sine
28	28, 91	DigiSlap	Digi Slap Bass
29	29, 92	TmbaTone	Tumba Tones
30	30, 93	CongKeys	Conga Keys
31	31, 94	PowTom BS	Power Tom Bass
32	40, 95	BecmngBS	Becoming Bass
33	41, 96	HrmnicBS	Harmonics Bass
34	42, 97	BassHarm	Bass with Harmonics
35	43, 98	PickFunk	Picked Funk Bass
36	44, 99	PickJazz	Picked Jazz
37	45, 100	PickTech	Picked Techno
38	46, 101	Aco Tech	Acoustic Techno
39	47, 102	PowerFnk	Power Funk
40	48, 103	PopsPull	Pops/Pull Split
41	49, 104	EpicJam1	Epic Bass Jam/1
42	50, 105	TrblJam2	Tribal Bass Jam/2
43	51, 106	WoodBass	Wooden Bass
44	33, 52, 107	JazzBass	Jazz Bass
45	36, 53, 108	FunkPops	Funk Pops
46	54, 109	FunkPull	FunkPulls
47	55, 110	PickBass	Picked Bass
48	56, 111	AnalogBS	Analog Bass
49	57, 112	DigiBass	Digi Bass
50	58, 113	Saw Wave	Saw Wave
51	59, 114	Square	Square Wave
52	60, 115	Hi Sine	Hi Sine
53	61, 116	Drive BS	Drive Bass
54	62, 117	FuzzBass	Fuzz Bass

Drum PAD NOTE# 対応表

PAD No	PAD NAME	BANK1	BANK2	BANK3
PAD1	KICK	36	35	61
PAD2	TOM1	50	48	64
PAD3	SNARE	38	40	60
PAD4	TOM2	47	45	62
PAD5	CLOSED HAT	42	44	68
PAD6	TOM3	43	41	63
PAD7	OPEN HAT	46	54	67
PAD8	CRASH	49	57	66
PAD9	EXTRA 1	37	70	71
PAD10	RIDE	51	59	65
PAD11	EXTRA 2	39	52	72
PAD12	EXTRA CYMBAL	53	55	69
PAD13	EXTRA 3	56	58	73

MIDI NOTE # 対応表

	DRUM KIT		BASS Programs
Note No	INST No	INST NAME	
24			Note 0から
25			
26			
27	349	HighQ	
28	290	Slap	
29	358	Scratch1	
30	359	Scratch2	
31	275	ShortStk	BASS発音域
32	318	SquarClk	
33	321	MetroClk	
34	329	MtrBell	
35	PAD BANK 1		
36			
37			
38			
39 ~ 66	PAD BANK 1 ~ PAD BANK 3		
67			
68			
69			
70			↓
71			
72			
73			
74	74	GuiroL1	
75	75	Claves1	
76	76	WoodBlkH	
77	77	WoodBlkL	
78	78	CuicaHi	
79	79	CuicaLo	
80	80	MtTrangl	
81	81	OpTrangl	
82	82	Shaker1	
83	83	JBell1	
84	84	Belltre1	
85	85	Castnet1	
86	86	MtSurdo	
87	87	OpSurdo	
88			

ベースプログラムはプログラムによって発音上限Note#が変わります。
PAD BANK 1~3のINST No, INST NAMEはKITの内容によって変わります。
本体のパッドで発音可能なベースノートNoはNote# 12~63です。

インストゥルメント 一覧

No.	表示	インストゥルメント名
0	HvyKick	Heavy Kick
1	TightKic	Tight Kick
2	DistKick	Dist Kick
3	ScrchKic	Scratch Kick
4	Live K11	Live Kick 11
5	Live K12	Live Kick 12
6	Live K13	Live Kick 13
7	Live K14	Live Kick 14
8	StdioK11	Studio Kick 11
9	StdioK12	Studio Kick 12
10	StdioK13	Studio Kick 13
11	StdioK14	Studio Kick 14
12	StnddK11	Standard Kick 11
13	StnddK12	Standard Kick 12
14	StnddK13	Standard Kick 13
15	StnddK14	Standard Kick 14
16	StnddK21	Standard Kick 21
17	Funk K11	Funk Kick 11
18	Funk K12	Funk Kick 12
19	Funk K13	Funk Kick 13
20	Funk K14	Funk Kick 14
21	Epic K11	Epic Kick 11
22	Epic K12	Epic Kick 12
23	Epic K13	Epic Kick 13
24	Epic K14	Epic Kick 14
25	Epic K21	Epic Kick 21
26	Blld K11	Ballad Kick 11
27	Blld K12	Ballad Kick 12
28	Blld K13	Ballad Kick 13
29	Blld K14	Ballad Kick 14
30	Blld K21	Ballad Kick 21
31	Blld K22	Ballad Kick 22
32	DanceK11	Dance Kick 11
33	DanceK12	Dance Kick 12
34	DanceK13	Dance Kick 13
35	DanceK14	Dance Kick 14
36	Hip K11	HipHop Kick 11
37	Hip K12	HipHop Kick 12
38	Hip K13	HipHop Kick 13
39	Hip K14	HipHop Kick 14
40	Hip K21	HipHop Kick 21
41	Tec K11	Techno Kick 11
42	Tec K12	Techno Kick 12
43	Tec K13	Techno Kick 13
44	Tec K21	Techno Kick 21
45	Gene K11	General Kick 11
46	Gene K12	General Kick 12
47	Gene K13	General Kick 13
48	Gene K14	General Kick 14
49	Gene K15	General Kick 15
50	Gene K16	General Kick 16
51	Gene K17	General Kick 17
52	Gene K18	General Kick 18
53	Gene K21	General Kick 21
54	Gene k22	General Kick 22
55	Gene K23	General Kick 23
56	OrchKick	Orchestra Kick
57	RoomSnar	Room Snare
58	TightSnr	Tight Snare
59	HvySnare	Heavy Snare
60	DistSnar	Dist Snare
61	ScrchSnr	Scratch Snare
62	Live S11	Live Snare 11

No.	表示	インストゥルメント名
63	Live S12	Live Snare 12
64	Live S13	Live Snare 13
65	Live S14	Live Snare 14
66	Live S21	Live Snare 21
67	StdioS11	Studio Snare 11
68	StdioS12	Studio Snare 12
69	StdioS13	Studio Snare 13
70	StdioS14	Studio Snare 14
71	StdioS21	Studio Snare 21
72	StdioS22	Studio Snare 22
73	StnddS11	Standard Snare 11
74	StnddS12	Standard Snare 12
75	StnddS13	Standard Snare 13
76	StnddS14	Standard Snare 14
77	StnddS21	Standard Snare 21
78	StnddS22	Standard Snare 22
79	Funk S11	Funk Snare 11
80	Funk S12	Funk Snare 12
81	Funk S13	Funk Snare 13
82	Funk S14	Funk Snare 14
83	Epic S11	Epic Snare 11
84	Epic S12	Epic Snare 12
85	Epic S13	Epic Snare 13
86	Epic S14	Epic Snare 14
87	Epic S21	Epic Snare 21
88	Blld S11	Ballad Snare 11
89	Blld S12	Ballad Snare 12
90	Blld S13	Ballad Snare 13
91	Blld S14	Ballad Snare 14
92	Blld S21	Ballad Snare 21
93	Blld S22	Ballad Snare 22
94	DanceS11	Dance Snare 11
95	DanceS12	Dance Snare 12
96	DanceS13	Dance Snare 13
97	DanceS14	Dance Snare 14
98	DanceS21	Dance Snare 21
99	Hip S11	HipHop Snare 11
100	Hip S12	HipHop Snare 12
101	Hip S13	HipHop Snare 13
102	Hip S14	HipHop Snare 14
103	Tec S11	TechnoBeat Snare 11
104	Tec S12	TechnoBeat Snare 12
105	Tec S13	TechnoBeat Snare 13
106	Tec S14	TechnoBeat Snare 14
107	Gene S11	General Snare 11
108	Gene S12	General Snare 12
109	Gene S13	General Snare 13
110	Gene S14	General Snare 14
111	Gene S15	General Snare 15
112	Gene S16	General Snare 16
113	Gene S17	General Snare 17
114	Gene S18	General Snare 18
115	Gene S19	General Snare 19
116	Gene S21	General Snare 21
117	Gene S22	General Snare 22
118	Gene S23	General Snare 23
119	Gene S24	General Snare 24
120	Gene S25	General Snare 25
121	OrchSnar	Orchestra Snare
122	Live Tm1	Live TOM 1
123	Live Tm2	Live TOM 2
124	Live Tm3	Live TOM 3
125	StdioTm1	Studio TOM 1

No.	表示	インストゥルメント名
126	StdioTm2	Studio TOM 2
127	StdioTm3	Studio TOM 3
128	StnddTm1	Standard TOM 1
129	StnddTm2	Standard TOM 2
130	StnddTm3	Standard TOM 3
131	Funk Tm1	Funk TOM 1
132	Funk Tm2	Funk TOM 2
133	Funk Tm3	Funk TOM 3
134	Epic Tm1	Epic TOM 1
135	Epic Tm2	Epic TOM 2
136	Epic Tm3	Epic TOM 3
137	Blld Tm1	Ballad TOM 1
138	Blld Tm2	Ballad TOM 2
139	Blld Tm3	Ballad TOM 3
140	DanceTm1	Dance TOM 1
141	DanceTm2	Dance TOM 2
142	DanceTm3	Dance TOM 3
143	Hip Tm1	HipHop TOM 1
144	Hip Tm2	HipHop TOM 2
145	Hip Tm3	HipHop TOM 3
146	Tec Tm1	TechnoBeat TOM 1
147	Tec Tm2	TechnoBeat TOM 2
148	Tec Tm3	TechnoBeat TOM 3
149	GeneTm11	Genaral TOM 11
150	GeneTm12	Genaral TOM 12
151	GeneTm13	Genaral TOM 13
152	GeneTm21	Genaral TOM 21
153	GeneTm22	Genaral TOM 22
154	GeneTm23	Genaral TOM 23
155	GeneTm31	Genaral TOM 31
156	GeneTm32	Genaral TOM 32
157	GeneTm33	Genaral TOM 33
158	GeneTm41	Genaral TOM 41
159	GeneTm42	Genaral TOM 42
160	GeneTm43	Genaral TOM 43
161	GeneTm51	Genaral TOM 51
162	GeneTm52	Genaral TOM 52
163	GeneTm53	Genaral TOM 53
164	GeneTm61	Genaral TOM 61
165	GeneTm62	Genaral TOM 62
166	GeneTm63	Genaral TOM 63
167	GeneTm71	Genaral TOM 71
168	BrushTom	Brush TOM
169	Orch Tom	Orchestra Tom
170	DlyLivT1	Delayed Live TOM 1
171	DlyLivT2	Delayed Live TOM 2
172	DlyLivT3	Delayed Live TOM 3
173	DlyStuT1	Delayed Studio TOM 1
174	DlyStuT2	Delayed Studio TOM 2
175	DlyStuT3	Delayed Studio TOM 3
176	DlyStdT1	Delayed Standard TOM 1
177	DlyStdT2	Delayed Standard TOM 2
178	DlyStdT3	Delayed Standard TOM 3
179	DlyFnkT1	Delayed Funk TOM 1
180	DlyFnkT2	Delayed Funk TOM 2
181	DlyFnkT3	Delayed Funk TOM 3
182	DlyEpcT1	Delayed Epic TOM 1
183	DlyEpcT2	Delayed Epic TOM 2
184	DlyEpcT3	Delayed Epic TOM 3
185	DlyBldT1	Delayed Ballad TOM 1
186	DlyBldT2	Delayed Ballad TOM 2
187	DlyBldT3	Delayed Ballad TOM 3
188	DlyDncT1	Delayed Dance TOM 1

No.	表示	インストゥルメント名
189	DlyDncT2	Delayed Dance TOM 2
190	DlyDncT3	Delayed Dance TOM 3
191	DlyHipT1	Delayed HipHop TOM 1
192	DlyHipT2	Delayed HipHop TOM 2
193	DlyHipT3	Delayed HipHop TOM 3
194	DlyTecT1	Delayed TechnoBeat TOM 1
195	DlyTecT2	Delayed TechnoBeat TOM 2
196	DlyTecT3	Delayed TechnoBeat TOM 3
197	Lrg CHH	Large Close HiHat
198	LrgHfOHH	Large Half Open HiHat
199	EpicC-HH	Epric Close HiHat
200	LiveC-HH	Live Close HiHat
201	Live PHH	Live Pedal HiHat
202	Live OHH	Live Open HiHat
203	StnddCHH	Standard Close HiHat
204	StnddOHH	Standard Open HiHat
205	SmallCHH	Small Close HiHat
206	SmallOHH	Small Open HiHat
207	Hip CHH	HipHop Close HiHat
208	Hip OHH	HipHop Open HiHat
209	Tec CHH	Techno Close HiHat
210	Tec OHH	Techno Open HiHat
211	Gane CHH	General Close HiHat
212	Gane OHH	General Open HiHat
213	DanceCHH	Dance Close HiHat
214	DanceOHH	Dance Open HiHat
215	RmHedCHH	Room Head Close HiHat
216	RmRimCHH	Room Rim Close HiHat
217	RoomOHH	Room Open HiHat
218	GenHfOHH	General Half Open HiHat
219	Gene PHH	Genaral Pedal HiHat
220	DancePHH	Dance Pedal HiHat
221	LargCrsh	Large Crash Cymbal
222	SmlCrsh1	Small Crash Cymbal 1
223	SmlCrsh2	Small Crash Cymbal 2
224	SmlCrsh3	Small Crash Cymbal 3
225	HipCrash	HipHop Crash Cymbal
226	EleCrsh1	Electric Crash Cymbal 1
227	EleCrsh2	Electric Crash Cymbal 2
228	GaneCrsh	General Crash Cymbal
229	ChinsCym	Chinese Cymbal
230	RideCym1	Ride Cymbal 1
231	RideCym2	Ride Cymbal 2
232	RidBell1	Ride Bell Cymbal 1
233	RidBell2	Ride Bell Cymbal 2
234	LiveSpls	Live Splash Cymbal
235	GenSpls1	General Splash Cymbal 1
236	GenSpls2	General Splash Cymbal 2
237	TecSplsh	Techno Splash Cymbal
238	HiBongo	High Bongo
239	LowBongo	Low Bongo
240	BongoVb1	Bongo Reverb 1
241	BongoVb2	Bongo Reverb 2
242	MtHiCong	Mute High Conga
243	OpHiCong	Open High Conga
244	LowConga	Low Conga
245	LivCong1	Live Conga 1
246	loosCng1	Loose Conga 1
247	loosCng2	Loose Conga 2
248	LivCong2	Live Conga 1
249	Doumbek 1	Doumbek 1
250	Doumbek 2	Doumbek 2
251	Doumbek 3	Doumbek 3

No.	表示	インストゥルメント名
252	Doumbek 4	Doumbek 4
253	Doumbek 5	Doumbek 5
254	Tabla 1	Tabla 1
255	Tabla 2	Tabla 2
256	Tabla 3	Tabla 3
257	Tabla 4	Tabla 4
258	Tabla 5	Tabla 5
259	Timbale1	Timbale1
260	Timbale2	Timbale2
261	Timbale3	Timbale3
262	Timbale4	Timbale4
263	Tumba 1	Tumba 1
264	Tumba 2	Tumba 2
265	Tumba 3	Tumba 3
266	HandTom	Hand Tom
267	MtSurdo	Mute Surdo
268	OpSurdo	Open Surdo
269	Claps1	Hand Claps 1
270	Claps2	Hand Claps 2
271	EleClpMn	Electric Claps Mono
272	EleClpSt	Electric Claps Stereo
273	Castnet1	Castanet 1
274	Castnet2	Castanet 2
275	ShortStk	Short Stick
276	GeneStk	General Stick
277	LiveStk	Live Stick
278	X-Stick	Cross Stick
279	StkVerb1	Stick Reverb 1
280	StkVerb2	Stick Reverb 2
281	StkVerb3	Stick Reverb 3
282	Claves 1	Claves 1
283	Claves 2	Claves 2
284	Claves 3	Claves 3
285	EleClvs	Electric Claves
286	LatnSel1	Latin Sell 1
287	LatnSel2	Latin Sell 2
288	WoodBlkH	Wood Block High
289	WoodBlkL	Wood Block Low
290	Slap	Slap
291	BrushSlp	Brush Slap
292	GuiroS1	Short Guiro 1
293	GuiroS2	Short Guiro 2
294	GuiroS3	Short Guiro 3
295	GuiroL1	Long Guiro 1
296	GuiroL2	Long Guiro 2
297	GuiroL3	Long Guiro 3
298	Vibslap1	Vibra Slap 1
299	Vibslap2	Vibra Slap 2
300	Vibslap3	Vibra Slap 3
301	Shaker 1	Shaker 1
302	Shaker 2	Shaker 2
303	Shaker 3	Shaker 3
304	Cabasa	Cabasa
305	Marcas	Maracas
306	RimBrush	Rim Brush
307	Cuica Hi	Cuica High
308	Cuica Lo	Cuica Low
309	Whistle1	Whistle1
310	Whistle2	Whistle2
311	Whistle3	Whistle3
312	CowBelLo	CowBell Lo
313	CowBelHi	CowBell Hi
314	GeneCwBl	General CowBell

No.	表示	インストゥルメント名
315	EleCwBel	Electric CowBell
316	DancCwBl	Dance CowBell
317	EleSnap	Electric Snap
318	SquarClk	Square Click
319	StdioClk	Studio Click
320	WoodClk	Wood Click
321	MetroClk	Metronome Click
322	Agogo 1	Agogo 1
323	Agogo 2	Agogo 2
324	Agogo 3	Agogo 3
325	Agogo 4	Agogo 4
326	MtTrangl	Muted Triangle
327	OpTrangl	Open Triangle
328	Gamelan	Gamelan
329	MtrBell	Metronome Bell
330	SteelPip	Steel Pipe
331	Belltre1	Bell tree 1
332	Belltre2	Bell tree 2
333	Belltre3	Bell tree 3
334	JBell1	Jingle Bell 1
335	JBell2	Jingle Bell 2
336	JBell3	Jingle Bell 3
337	Tambrin1	Tambourine 1
338	Tambrin2	Tambourine 2
339	Tambrin3	Tambourine 3
340	Tambrin4	Tambourine 4
341	Tambrin5	Tambourine 5
342	Tambrin6	Tambourine 6
343	Ratchet1	Ratchet 1
344	Ratchet2	Ratchet 2
345	FngCym1	Finger Cymbal 1
346	FngCym2	Finger Cymbal 2
347	FngCym3	Finger Cymbal 3
348	FngCym4	Finger Cymbal 4
349	HighQ	HighQ
350	Bass 1	Bass 1
351	Bass 2	Bass 2
352	Bass 3	Bass 3
353	Bass 4	Bass 4
354	Noise 1	Noise 1
355	Noise 2	Noise 2
356	Noise 3	Noise 3
357	NoiseSlp	Noise Slap
358	Scratch1	Scratch 1
359	Scratch2	Scratch 2
360	Scratch3	Scratch 3
361	RevCym1	Reverse Cymbal 1
362	RevCym2	Reverse Cymbal 2
363	RevCym3	Reverse Cymbal 3
364	RevSnr	Reverse Snare
365	RvrsKick	Reverse Kick
366	BreathDr	Breath Drum
367	IndstriK	Industrial Kick
368	EleBomb	Electric Bomb
369	SineWave	SineWave
370	Whirl	Whirl
371	Sfx Clap	Sfx Clap
372	Sfx Slap	Sfx Slap
373	SfxTambr	Sfx Tambourine
374	SfxVerb1	Sfx Reverb 1
375	SfxVerb2	Sfx Reverb 2
376	SfxWhisl	Sfx Whistle

プリセットパターン

※0〜99はユーザーエリアです。

※パターンモードで[◀]／[▶]キーを押すと、太線で区切られた枠の先頭のパターンにジャンプできます。
※Song の枠内には同系統のパターンが含まれており、簡単にソングが作れます。
※FILLの欄に*が付いたものは、フィルイン用のパターンです。

	パターン番号	Fill	パターンネーム	推奨テンポ	使用キットNo.		
					DRUM A	DRUM B	BASS
	000		ROCK01	120	4	21	1
	001		ROCK02	140	4	9	3
	002		ROCK03	107	4	0	1
	003		ROCK04	136	11	11	53
	004		ROCK05	120	1	18	23
	005		ROCK06	115	22	4	1
	006		ROCK07	117	13	0	23
	007		ROCK08	117	0	0	0
	008		ROCK09	120	11	11	9
	009		ROCK10	136	22	0	1
	010		ROCK11	112	22	22	4
	011		ROCK12	140	1	0	4
	012		ROCK13	120	0	0	15
	013		ROCK14	120	20	22	3
	014		ROCK15	120	19	57	4
	015		ROCK16	116	20	20	0
	016		ROCK17	92	0	22	0
	017		ROCK18	96	21	0	4
	018		ROCK19	96	0	0	4
	019		ROCK20	112	21	0	4
	020		ROCK21	137	16	16	9
	021		ROCK22	103	0	0	0
	022		ROCK23	120	6	2	5
	023		ROCK24	99	3	57	5
	024		ROCK25	132	1	8	53
	025		ROCK26	96	33	40	4
	026		ROCK27	120	21	22	1
	027		ROCK28T	120	1	0	2
Song	028		ROCKs1VA	120	3	6	14
	029	*	ROCKs1FA	120	3	6	14
	030		ROCKs1VB	120	3	6	14
	031	*	ROCKs1FB	120	3	6	24
Song	032		ROCKs2VA	110	3	6	1
	033	*	ROCKs2FA	110	3	6	1
	034		ROCKs2VB	110	3	6	1
	035	*	ROCKs2FB	110	3	6	1
Song	036		ROCKs3VA	124	16	21	9
	037	*	ROCKs3FA	124	16	21	9
	038		ROCKs3VB	124	16	21	9
	039	*	ROCKs3FB	124	16	21	9
Song	040		ROCKs4VA	130	5	22	1
	041	*	ROCKs4FA	130	5	22	1
	042		ROCKs4VB	130	5	22	1
	043	*	ROCKs4FB	130	5	22	1
	044	*	ROCKs4BR	130	5	22	1
	045		HRK 01	130	0	0	0
	046		HRK 02	113	4	0	2
	047		HRK 03	96	0	63	2
	048		HRK 04	120	16	18	1
	049		HRK 05	121	0	0	0
	050		HRK 06	136	0	57	0
	051		HRK 07	120	0	0	0
Song	052		HRK s1VA	120	1	4	1
	053	*	HRK s1FA	120	1	4	1
	054		HRK s1VB	120	1	4	1
	055	*	HRK s1FB	120	1	4	1
Song	056		HRK s2VA	115	11	0	14
	057	*	HRK s2FA	115	11	0	14
	058		HRK s2VB	115	11	0	14
	059	*	HRK s2FB	115	11	0	14

	パターン番号	Fill	パターンネーム	推奨テンポ	使用キットNo.		
					DRUM A	DRUM B	BASS
	060		MTL 01	98	0	25	0
	061		MTL 02	103	25	25	53
	062		MTL 03	112	1	5	0
	063		MTL 04	150	0	0	0
Song	064		MTL s1VA	128	3	6	2
	065	*	MTL s1FA	128	3	6	2
	066		MTL s1VB	128	3	6	2
	067	*	MTL s1FB	128	3	6	2
	068		THRS01	135	4	4	2
	069		THRS02	186	0	0	54
	070		PUNK01	160	15	0	0
	071		PUNK02	158	22	4	54
Song	072		TP s1VA	129	3	13	0
	073	*	TP s1FA	129	3	13	0
	074		TP s1VB	129	3	13	0
	075	*	TP s1FB	129	3	13	0
	076		FUS 01	124	26	13	14
	077		FUS 02	120	3	2	2
	078		FUS 03	113	1	10	5
	079		FUS 04	105	6	2	15
	080		FUS 05	120	3	2	2
	081		FUS 06	120	22	24	14
	082		FUS 07	120	40	10	15
	083		FUS 08	94	18	0	1
Song	084		FUS s1VA	110	24	2	1
	085	*	FUS s1FA	110	24	2	1
	086		FUS s1VB	110	24	2	1
	087	*	FUS s1FB	110	3	2	1
Song	088		FUS s2VA	124	9	0	39
	089	*	FUS s2FA	124	9	0	39
	090		FUS s2VB	124	9	0	39
	091	*	FUS s2FB	124	9	0	39
Song	092		FUS s3VA	118	4	0	0
	093	*	FUS s3FA	118	4	0	0
	094		FUS s3VB	118	4	0	0
	095	*	FUS s3FB	118	4	0	0
Song	096		INDTs1VA	134	8	63	7
	097	*	INDTs1FA	134	8	63	7
	098		INDTs1VB	134	8	63	34
	099		INDTs1VC	134	0	63	11
	100		POP 01	120	22	21	1
	101		POP 02	142	16	9	4
	102		POP 03	108	5	9	4
	103		POP 04	120	22	21	1
	104		POP 05	112	2	57	0
	105		POP 06	80	57	2	5
	106		POP 07	100	2	43	4
	107		POP 08	117	34	57	4
	108		POP 09	120	22	0	0
	109		POP 10	120	22	21	0
	110		POP 11	120	22	21	1
	111		POP 12T	140	5	18	4
Song	112		POP s1VA	126	20	0	1
	113	*	POP s1FA	126	20	0	1
	114		POP s1VB	126	20	0	1
	115	*	POP s1FB	126	20	0	1
Song	116		POP s2VA	134	3	0	0
	117	*	POP s2FA	134	3	0	0
	118		POP s2VB	134	3	0	0
	119	*	POP s2FB	134	3	0	0
Song	120		POP s3VA	120	22	21	1
	121	*	POP s3FA	120	22	21	1
	122		POP s3VB	120	22	21	1
	123	*	POP s3FB	120	22	21	1

	パターン番号	Fill	パターンネーム	推奨テンポ	使用キットNo.		
					DRUM A	DRUM B	BASS
	124		RnB 01	138	3	9	27
	125		RnB 02	100	19	57	0
	126		RnB 03	120	34	0	3
	127		RnB 04	168	3	22	0
	128		RnB 05	100	22	57	3
	129		RnB 06	120	3	0	2
	130		RnB 07	146	2	7	0
	131		RnB 08	92	2	55	4
	132		RnB 09	116	3	4	0
	133		RnB 10	104	3	22	0
Song	134		RnB s1VA	130	22	0	0
	135	*	RnB s1FA	130	22	0	0
	136		RnB s1VB	130	22	49	0
	137	*	RnB s1FB	130	22	0	0
	138		FUNK01	112	2	3	3
	139		FUNK02	120	22	0	3
	140		FUNK03	112	3	5	3
	141		FUNK04	121	3	34	3
	142		FUNK05	98	24	13	8
	143		FUNK06	94	24	57	3
	144		FUNK07	92	3	49	9
	145		FUNK08	99	19	52	5
	146		FUNK09	112	2	3	10
	147		FUNK10	125	36	58	27
	148		FUNK11	92	22	5	10
	149		FUNK12	110	15	55	3
Song	150		FUNKs1VA	120	31	22	10
	151	*	FUNKs1FA	120	31	22	10
	152		FUNKs1VB	120	31	22	10
	153	*	FUNKs1FB	120	31	22	10
Song	154		FUNKs2VA	118	6	2	3
	155	*	FUNKs2FA	118	6	2	3
	156		FUNKs2VB	118	6	2	3
	157	*	FUNKs2FB	118	6	2	3
	158		HIP 01	98	16	36	22
	159		HIP 02	91	7	50	32
	160		HIP 03	86	36	34	8
	161		HIP 04	96	2	57	10
	162		HIP 05	112	3	7	5
	163		HIP 06	112	2	7	4
	164		HIP 07	103	0	53	16
	165		HIP 08	92	7	51	5
	166		HIP 09	99	34	57	4
	167		HIP 10	85	8	10	27
	168		HIP 11	96	0	58	27
	169		HIP 12	116	48	0	22
	170		HIP 13	148	8	2	22
	171		HIP 14	107	3	57	5
	172		HIP 15	104	7	35	38
	173		HIP 16	120	34	22	8
	174		HIP 17	98	16	36	22
	175		HIP 18	102	7	6	22
	176		HIP 19	99	37	21	4
	177		HIP 20	91	8	35	5
	178		HIP 21	88	12	11	5
	179		HIP 22	88	35	37	4
	180		HIP 23	136	7	53	22
Song	181		HIP s1VA	96	7	2	0
	182	*	HIP s1FA	96	7	2	4
	183		HIP s1VB	96	7	2	4
	184	*	HIP s1FB	96	7	2	4
	185		HIP s1VC	96	7	2	4
	186		HIP s1VD	96	7	2	4

	パターン番号	Fill	パターンネーム	推奨テンポ	使用キットNo.		
					DRUM A	DRUM B	BASS
Song	187		HIP s2VA	110	12	63	0
	188		HIP s2VB	110	12	0	4
	189	*	HIP s2FB	110	12	11	0
	190		HIP s2VC	110	12	11	4
	191		HIP s2VD	110	12	11	4
Song	192		HIP s3VA	112	2	1	0
	193		HIP s3VB	112	2	1	5
	194		DANC01	111	8	2	8
	195		DANC02	102	3	34	4
	196		DANC03	120	8	52	3
	197		DANC04	180	34	61	27
	198		DANC05	103	33	57	27
	199		DANC06	120	6	57	10
Song	200		DANCs1VA	110	37	36	22
	201	*	DANCs1FA	110	37	36	22
	202		DANCs1VB	110	37	34	22
	203	*	DANCs1FB	110	37	36	22
Song	204		DANCs2VA	120	7	31	4
	205	*	DANCs2FA	120	7	31	4
	206		DANCs2VB	120	7	31	4
	207	*	DANCs2FB	120	7	31	4
	208		HOUS01	120	34	60	27
	209		HOUS02	126	34	52	4
	210		HOUS03	120	37	8	8
	211		HOUS04	120	31	52	7
Song	212		HOUSs1VA	120	34	19	22
	213	*	HOUSs1FA	120	34	19	22
	214		HOUSs1VB	120	8	58	22
	215	*	HOUSs1FB	120	8	58	22
	216		TECH01	148	7	37	50
	217		TECH02	125	8	39	22
	218		TECH03	125	8	37	22
	219		TECH04	160	36	8	8
	220		TECH05	164	7	52	27
	221		TECH06	118	6	8	22
	222		TECH07	140	34	52	27
	223		TECH08	136	34	52	27
	224		TECH09	119	25	37	22
	225		TECH10	127	48	57	52
Song	226		TECHs1VA	135	8	36	8
	227	*	TECHs1FA	135	8	36	8
	228		TECHs1VB	135	8	37	8
	229	*	TECHs1FB	135	8	37	8
	230		DnB 01	163	42	0	2
	231		DnB 02	150	3	7	27
	232		DnB 03	150	34	7	27
	233		DnB 04	144	7	8	27
	234		DnB 05	154	12	37	5
	235		DnB 06	154	24	49	27
Song	236		DnB s1VA	150	7	34	5
	237	*	DnB s1FA	150	7	34	5
	238		DnB s1VB	150	47	46	27
	239	*	DnB s1FB	150	47	46	5
	240		TRIP01	120	34	7	5
	241		TRIP02	75	45	57	14
	242		TRIP03	101	47	50	13
	243		TRIP04	97	63	56	4

	パターン番号	Fill	パターンネーム	推奨テンポ	使用キットNo.		
					DRUM A	DRUM B	BASS
	244		AMB 01	106	8	50	21
	245		AMB 02	98	47	52	4
	246		AMB 03	157	46	7	27
	247		AMB 04	89	7	0	27
Song	248		AMB s1VA	114	7	57	8
	249	*	AMB s1FA	114	7	57	8
	250		AMB s1VB	114	3	7	27
	251	*	AMB s1FB	114	3	36	0
	252		BALD01	76	5	22	4
	253		BALD02	75	2	55	4
	254		BALD03	65	5	55	4
	255		BALD04	65	5	19	4
	256		BALD05	108	2	1	0
	257		BALD06	99	2	3	4
	258		BALD07	80	1	3	13
	259		BALD08	75	25	0	4
	260		BALD09	110	2	3	5
	261		BALD10	105	22	21	4
	262		BALD11T	112	15	0	4
Song	263		BALDs1VA	96	2	3	4
	264	*	BALDs1FA	96	2	3	4
	265		BALDs1VB	96	2	3	4
	266	*	BALDs1FB	96	2	3	4
	267		BLUS01	120	3	0	4
	268		BLUS02	72	21	2	4
	269		BLUS03	120	3	0	4
	270		BLUS04	111	21	28	4
	271		BLUS05	91	5	6	0
	272		BLUS06	105	31	21	5
Song	273		BLUSs1VA	136	16	0	1
	274	*	BLUSs1FA	136	16	0	1
	275		BLUSs1VB	136	16	0	1
	276	*	BLUSs1FB	136	16	0	1
	277		CNTR01	120	2	0	4
	278		CNTR02	120	0	2	5
	279		CNTR03	95	2	0	4
	280		CNTR04	115	45	0	0
Song	281		CNTRs1VA	118	16	0	5
	282	*	CNTRs1FA	118	16	0	5
	283		CNTRs1VB	118	16	0	5
	284	*	CNTRs1FB	118	16	0	5
	285		JAZZ01	102	9	21	5
	286		JAZZ02	100	2	58	4
	287		JAZZ03	110	40	7	5
	288		JAZZ04	125	3	61	5
	289		JAZZ05	110	40	27	5
	290		JAZZ06	123	19	59	5
	291		JAZZ07P	180	21	9	5
Song	292		JAZZs1VA	150	9	21	5
	293	*	JAZZs1FA	150	9	21	5
	294		JAZZs1VB	150	9	21	5
	295	*	JAZZs1FB	150	9	21	5
	296		SHFL01	125	3	0	4
	297		SHFL02	120	0	22	11
	298		SHFL03	122	3	19	22
	299		SHFL04	120	22	21	6
	300		SHFL05	120	3	21	3
Song	301		SHFLs1VA	115	3	6	2
	302		SHFLs1Va	115	3	6	2
	303	*	SHFLs1FA	115	3	6	2
	304		SHFLs1VB	115	3	6	2
	305	*	SHFLs1FB	115	3	6	2

	パターン番号	Fill	パターンネーム	推奨テンポ	使用キットNo.		
					DRUM A	DRUM B	BASS
	306		SKA 01	160	22	60	4
	307		SKA 02	141	2	3	0
	308		SKA 03	160	2	57	14
	309		SKA 04	144	2	0	4
	310		REGG01	132	21	57	4
	311		REGG02	161	3	0	4
	312		REGG03	129	3	50	5
	313		REGG04	150	3	0	4
Song	314		REGGs1VA	132	2	1	4
	315	*	REGGs1FA	132	2	1	4
	316	*	REGGs1VB	132	2	4	0
	317		REGGs1FB	132	2	1	4
	318		AFRO01	123	5	49	4
	319		AFRO02	98	50	56	13
	320		AFRO03	115	22	56	3
	321		AFRO04	111	22	49	5
	322		AFRO05	106	19	10	3
	323		AFRO06	92	57	56	4
	324		AFRO07	116	36	56	27
	325		AFRO08	106	57	56	5
Song	326	*	AFROs1VA	117	24	10	6
	327		AFROs1FA	117	24	10	6
	328	*	AFROs1VB	117	24	10	6
	329		AFROs1FB	117	24	10	6
	330		LATN01	116	9	21	4
	331		LATN02	130	9	21	4
	332		LATN03	118	2	10	4
	333		LATN04	88	10	10	4
	334		LATN05	109	1	57	4
	335		LATN06	150	3	2	5
	336		LATN07	141	19	10	4
	337		LATN08	112	9	3	4
	338		LATN09	104	22	10	4
	339		LATN10	100	49	57	5
	340		LATN11	78	10	56	4
	341		LATN12	109	22	56	0
Song	342	*	LATNs1VA	126	9	0	4
	343		LATNs1FA	126	9	0	4
	344	*	LATNs1VB	126	9	0	4
	345		LATNs1FB	126	9	21	4
Song	346	*	LATNs2VA	112	3	0	5
	347		LATNs2FA	112	3	0	5
	348	*	LATNs2VB	112	3	0	5
	349		LATNs2FB	112	3	0	5
	350		MidE01	112	2	56	4
	351		MidE02	122	2	56	5
	352		MidE03	122	16	49	4
	353		MidE04T	112	57	2	5
Song	354	*	MidEs1VA	118	19	57	4
	355		MidEs1FA	118	19	57	4
	356	*	MidEs1VB	118	19	50	4
	357		MidEs1FB	118	19	50	4

	パターン番号	Fill	パターンネーム	推奨テンポ	使用キットNo.		
					DRUM A	DRUM B	BASS
	358		INTRO01	---	3	6	14
	359		INTRO02	---	22	21	0
	360		INTRO03	---	11	21	14
	361		INTRO04	---	16	21	1
	362		INTRO05	---	3	21	0
	363		INTRO06	---	3	21	0
	364		INTRO07	---	22	21	0
	365		INTRO08	---	6	0	2
	366		INTRO09	---	3	21	0
	367		INTRO10	---	3	21	0
	368		INTRO11	---	3	21	0
	369		INTRO12	---	9	21	39
	370		COUNT	---	3	21	0
	371		INTRO14	---	2	1	4
	372		INTRO15	---	9	21	5
	373		INTRO16	---	3	0	0
	374		INTRO17	---	40	21	1
	375		INTRO18	---	3	21	0
	376		INTRO19	---	3	0	0
	377		ENDING01	---	3	0	0
	378		ENDING02	---	3	21	0
	379		ENDING03	---	3	21	1
	380		ENDING04	---	3	0	0
	381		ENDING05	---	9	21	5
	382		ENDING06	---	3	21	1
	383		ENDING07	---	9	21	4
	384		Grv Arp1	PAD 2	0	0	12
	385		Grv Arp2	PAD 4	0	0	12
	386		Grv Drm1	PAD 1	42	40	0
	387		Grv Drm2	PAD 5	6	0	0
	388		Grv Drm3	PAD 7	7	0	0
	389		Grv Drm4	PAD 8	7	8	0
	390		Grv Perc	PAD 6	14	0	0
	391		Grv Bas1	PAD13	0	0	5
	392		Grv Bas2	PAD 9	0	0	4
	393		Grv Bas3	PAD12	0	0	34
	394		Grv Bas4	PAD11	0	0	2
	395		Grv Pad	PAD10	0	0	51
	396		GrvSnrFl	PAD 3	4	0	0
	397		METRO4/4	---	2	55	0
	398		METRO3/4	---	2	55	0
	399		All Mute	---	0	0	0

Preset Song PAD PARAMETER 初期値

SONG00	ROCK tmpl	120BPM		KEY=E	
PAD No	PtnA	DrumB	Bass	Transp	Next
PAD 1	358	358	358	0	3
PAD 2	28	28	28	5	2
PAD 3	28	28	28	0	3
PAD 4	28	28	28	7	4
PAD 5	29	29	29	0	7 FILL
PAD 6	30	30	30	5	6
PAD 7	30	30	30	0	7
PAD 8	30	30	30	7	8
PAD 9	31	31	31	0	3 FILL
PAD10	28	28	28	-2	10
PAD11	379	379	379	0	3 FILL
PAD12	30	30	30	-2	12
PAD13	377	377	377	0	0

SONG01	HROKtmpl	115BPM		KEY=G	
PAD No	PtnA	DrumB	Bass	Transp	Next
PAD 1	360	360	360	3	3
PAD 2	56	56	56	6	2
PAD 3	56	56	56	3	3
PAD 4	56	56	56	8	4
PAD 5	57	57	57	3	7 FILL
PAD 6	58	58	58	6	6
PAD 7	58	58	58	3	7
PAD 8	58	58	58	8	8
PAD 9	59	59	59	3	3 FILL
PAD10	49	49	49	1	12
PAD11	58	58	None	3	11 FILL
PAD12	50	50	50	3	12
PAD13	378	378	378	3	0

SONG02	METLtmpl	128BPM		KEY=D	
PAD No	PtnA	DrumB	Bass	Transp	Next
PAD 1	365	365	365	-2	3
PAD 2	64	64	64	3	2
PAD 3	64	64	64	-2	3
PAD 4	64	64	64	5	4
PAD 5	65	65	65	-2	7 FILL
PAD 6	66	66	66	1	6
PAD 7	66	66	66	-2	7
PAD 8	66	66	66	5	8
PAD 9	67	67	67	-2	3 FILL
PAD10	65	65	66	-2	12 FILL
PAD11	64	64	None	-2	11
PAD12	63	63	66	-2	12
PAD13	380	380	380	-2	0

SONG03	TRSHtmpl	129BPM		KEY=D	
PAD No	PtnA	DrumB	Bass	Transp	Next
PAD 1	363	363	363	-2	3
PAD 2	72	72	72	3	2
PAD 3	72	72	72	-2	3
PAD 4	72	72	72	5	4
PAD 5	73	73	73	-2	7 FILL
PAD 6	74	74	74	1	6
PAD 7	74	74	74	-2	7
PAD 8	74	74	74	5	8
PAD 9	75	75	75	-2	3 FILL
PAD10	72	72	72	-2	12 FILL
PAD11	377	67	377	-2	11
PAD12	74	74	74	-2	12
PAD13	377	377	377	-2	0

SONG04	FUS tmpl	124BPM		KEY=C	
PAD No	PtnA	DrumB	Bass	Transp	Next
PAD 1	369	369	369	-4	3
PAD 2	88	88	88	-2	2
PAD 3	88	88	88	-4	3
PAD 4	88	88	88	-1	4
PAD 5	89	89	89	-4	7 FILL
PAD 6	90	90	90	11	6
PAD 7	90	90	90	8	7
PAD 8	90	90	90	1	8
PAD 9	91	91	91	-2	3 FILL
PAD10	386	386	None	-4	10
PAD11	386	None	None	-4	11
PAD12	386	386	88	-4	12
PAD13	378	378	378	-4	0

SONG05	R&B tmpl	130BPM		KEY=D	
PAD No	PtnA	DrumB	Bass	Transp	Next
PAD 1	364	364	364	-2	3
PAD 2	134	134	134	0	2
PAD 3	134	134	134	-2	3
PAD 4	134	134	134	1	4
PAD 5	135	135	135	-2	7 FILL
PAD 6	136	136	136	0	6
PAD 7	136	136	136	-2	7
PAD 8	136	136	136	3	8
PAD 9	137	137	137	-2	3 FILL
PAD10	131	131	131	1	10
PAD11	137	67	None	0	3 FILL
PAD12	131	131	131	4	12
PAD13	380	380	380	-2	0

SONG06	HIP tmpl	96BPM		KEY=E	
PAD No	PtnA	DrumB	Bass	Transp	Next
PAD 1	181	181	181	0	1
PAD 2	182	182	182	0	3 FILL
PAD 3	183	183	183	0	3
PAD 4	183	190	183	0	4
PAD 5	184	184	184	0	7 FILL
PAD 6	185	176	185	0	6
PAD 7	185	185	185	0	7
PAD 8	399	186	185	0	8
PAD 9	186	186	186	0	3 FILL
PAD10	158	158	183	0	10
PAD11	158	158	None	0	11
PAD12	158	158	185	0	12
PAD13	399	399	186	0	0

SONG09	JAZZtmpl	150BPM		KEY=Bb	
PAD No	PtnA	DrumB	Bass	Transp	Next
PAD 1	372	372	372	-6	3
PAD 2	292	292	292	-1	2
PAD 3	292	292	292	6	3
PAD 4	292	292	292	1	4
PAD 5	293	293	293	-6	7 FILL
PAD 6	294	294	294	-1	6
PAD 7	294	294	294	-6	7
PAD 8	294	294	294	1	8
PAD 9	295	295	295	-6	3 FILL
PAD10	285	285	285	-1	10
PAD11	285	285	285	6	11
PAD12	285	285	285	1	12
PAD13	381	381	381	6	0

SONG07	TECHtmpl	135BPM		KEY=F#	
PAD No	PtnA	DrumB	Bass	Transp	Next
PAD 1	221	221	221	2	1
PAD 2	219	221	221	2	3
PAD 3	226	226	226	2	3
PAD 4	226	228	226	2	4
PAD 5	227	227	227	2	7 FILL
PAD 6	221	226	226	2	6
PAD 7	228	228	228	2	7
PAD 8	228	234	228	2	8
PAD 9	229	229	229	2	3 FILL
PAD10	224	222	224	2	10
PAD11	224	224	224	2	11
PAD12	224	219	217	-1	12
PAD13	223	223	223	2	0

SONG10	LATNtmpl	126BPM		KEY=E	
PAD No	PtnA	DrumB	Bass	Transp	Next
PAD 1	343	343	None	0	3
PAD 2	342	342	342	1	2
PAD 3	342	342	342	0	3
PAD 4	342	342	342	3	4
PAD 5	343	343	343	0	7 FILL
PAD 6	344	344	344	1	6
PAD 7	344	344	344	0	7
PAD 8	344	344	344	3	8
PAD 9	345	345	None	0	3 FILL
PAD10	342	342	342	5	10
PAD11	345	None	None	0	3 FILL
PAD12	344	344	344	5	12
PAD13	383	383	383	0	0

SONG08	METLtmpl	136BPM		KEY=A	
PAD No	PtnA	DrumB	Bass	Transp	Next
PAD 1	361	361	361	5	3
PAD 2	273	273	273	10	2
PAD 3	273	273	273	5	3
PAD 4	273	273	273	0	4
PAD 5	274	274	274	5	7 FILL
PAD 6	275	275	275	10	6
PAD 7	275	275	275	5	7
PAD 8	275	275	275	0	8
PAD 9	276	276	276	5	3 FILL
PAD10	44	44	44	10	10
PAD11	44	44	44	5	11
PAD12	44	44	44	0	12
PAD13	377	377	377	5	0

SONG11	RAGGtmpl	135BPM		KEY=F#	
PAD No	PtnA	DrumB	Bass	Transp	Next
PAD 1	371	371	371	0	3
PAD 2	314	314	314	3	2
PAD 3	314	314	314	0	3
PAD 4	314	314	314	5	4
PAD 5	315	315	315	0	7 FILL
PAD 6	316	316	316	3	6
PAD 7	316	316	316	0	7
PAD 8	316	316	316	5	8
PAD 9	317	317	317	0	3 FILL
PAD10	314	314	314	-2	10
PAD11	312	312	None	0	3 FILL
PAD12	316	316	316	-2	12
PAD13	378	378	378	0	0

MIDI Implementation

```
1. Recognized Messages

   Status   1st    2nd      Description
  ---------------------------------------------------------------------------------
   8nH      kk     vv       Note Off  kk: note number
                                      vv: velocity will be ignored
   9nH      kk     00H      Note Off  kk: note number
   9nH      kk     vv       Note On   kk: note number
                                      vv: velocity
   BnH      07H    vv       Channel Volume     vv: volume value
   BnH      10H    vv       Channel Panpot     vv: panpot value
   BnH      11H    vv       Channel Expression vv: expression value
   BnH      51H    vv       Channel JamPitch   vv: JamPitch value
   BnH      52H    vv       Channel JamPan     vv: JamPan value
   BnH      53H    vv       Channel JamSound   vv: JamSound value
   BnH      78H    xx       All Sounds Off
   BnH      79H    xx       Reset All Controllers
   BnH      7BH    xx       All Notes Off
   CnH      pp              Program Change     pp: program number
   EnH      bl     bh       Pitch Bender   bh: bender value high
                                           bl: bender value low will be ignored
   F2H      sl     sh       Song Position Pointer  shsl: song position
   F3H      ss              Song Select  ss: song number
   F8H                      Timing Clock
   FAH                      Start
   FBH                      Continue
   FCH                      Stop


2. Transmitted Messages

   Status   1st    2nd      Description
  ---------------------------------------------------------------------------------
   8nH      kk     40H      Note Off  kk: note number
   9nH      kk     vv       Note On   kk: note number
                                      vv: velocity
   BnH      07H    vv       Channel Volume     vv: volume value
   BnH      51H    vv       Channel JamPitch   vv: JamPitch value
   BnH      52H    vv       Channel JamPan     vv: JamPan value
   BnH      53H    vv       Channel JamSound   vv: JamSound value
   BnH      78H    00H      All Sounds Off
   BnH      79H    00H      Reset All Controllers
   BnH      7BH    00H      All Notes Off
   CnH      pp              Program Change     pp: program number
   F2H      sl     sh       Song Position Pointer  shsl: song position
   F3H      ss              Song Select  ss: song number
   F8H                      Timing Clock
   FAH                      Start
   FBH                      Continue
   FCH                      Stop


3. System Exclusive Messages

  1) Identity Request : Recognized Only

    Byte    Description
   ------------------------------------------------------------------------
    F0H     System Exclusive Message Status
    7EH     Universal System Exclusive non real time header
    cc      MIDI Channel 00H - 0FH
    06H     Sub ID #1 : General Information
    01H     Sub ID #2 : Identity Request
    F7H     End Of Exclusive


  2) Identity Reply : Transmitted Only

    Byte    Description
   ------------------------------------------------------------------------
    F0H     System Exclusive Message Status
    7EH     Universal System Exclusive non real time header
    cc      MIDI Channel 00H - 0FH
    06H     Sub ID #1 : General Information
```

```
02H     Sub ID #2 : Identity Reply
52H     Manufacturer : ZOOM Corporation
26H     Machine ID low  : RT-323
00H                high :
00H     Family ID low
00H     Family ID high
rr      Revision     1st digit in ASCII code
rr      Revision    10th digit in ASCII code
rr      Revision   100th digit in ASCII code
rr      Revision  1000th digit in ASCII code
F7H     End Of Exclusive
```

3) All Kits Dump

```
Byte    Description
--------------------------------------------------------------------------
F0H     System Exclusive Message Status
52H     ZOOM Corporation
cc      MIDI Channel of DrumA , 00H-0FH
26H     RT-323
26H     All Kit Dump
        data    All kit data
F7H     EOX
```

4) Sequence Dump

```
Byte    Description
--------------------------------------------------------------------------
F0H     System Exclusive Message Status
52H     ZOOM Corporation
cc      MIDI Channel of DrumA , 00H-0FH
26H     RT-323
27H     Sequence Dump
        data    Sequence data
F7H     EOX
```

Note: All sequence in user area will be cleared and replaced when this message is received.
Empty patterns/songs should not be sent.

5) System Dump

```
Byte    Description
--------------------------------------------------------------------------
F0H     System Exclusive Message Status
52H     ZOOM Corporation
cc      MIDI Channel of DrumA , 00H-0FH
26H     RT-323
28H     System Dump
        data    System data
F7H     EOX
```

4. Recordable Messages

```
Status   1st    2nd      Description
----------------------------------------------------------------------------------
8nH      kk     vv       Note Off  kk: note number
                                   vv: velocity will be ignored
9nH      kk     00H      Note Off  kk: note number
9nH      kk     vv       Note On   kk: note number
                                   vv: velocity
AnH      kk     vv       Polyphonic Key Pressure kk: note number
                                                 vv: pressure value
BnH      cc     vv       Control Change  cc: control number 0-119
                                         vv: control value
BnH      78H    xx       All Sounds Off
BnH      79H    xx       Reset All Controllers
BnH      7BH    xx       All Notes Off
CnH      pp              Program Change     pp: program number
DnH      vv              Channel Pressure   vv: pressure value
EnH      bh     bl       Pitch Bender   bh: bender value high
                                        bl: bender value low will be ignored
```


MIDI Implementation Chart

[MultiTrack Rhythm Machine] Date :15.DEC.2000
Model RhythmTrack RT-323 MIDI Implementation Chart Version :1.00

Function ...		Transmitted	Recognized	Remarks
Basic Channel	Default Changed	1-16,OFF 1-16,OFF	1-16,OFF 1-16,OFF	Memorized See Note1
Mode	Default Messages Altered	3 x ******************	3 x	
Note Number	 True voice	0-127 ******************	0-127	
Velocity	Note ON Note OFF	o x	o x	
After Touch	Key's Ch's	x x	x x	
Pitch Bend		x	o	MS7bits
Control Change		 80 81 82 83 	7 10 80 81 82 83 120 121	Volume Panpot JAM VOLUME JAM PITCH JAM PAN SOUND CHANGE All Sounds Off Reset All Ctrls
Prog Change	 True #	o 0-127 ******************	o 0-127	
System Exclusive		o	o	
System Common	Song Pos Song Sel Tune	o o x	o o x	
System Real Time	Clock Commands	o o	o o	
Aux Mes-sages	Local ON/OFF All Notes OFF Active Sense Reset	x x x x	x o o x	
Notes		No transmitted messages.		

Mode 1 : OMNI ON, POLY   Mode 2 : OMNI ON, MONO   o : Yes
Mode 3 : OMNI OFF, POLY   Mode 4 : OMNI OFF, MONO   x : No

索引

英文字

ア

カ

サ

タ

ハ

マ

ラ